



## インターネット スタートガイド

- インターネットとは ●インターネットチュータで学ぶ
- 初めてインターネットに接続する
- インターネットエクスプローラを使う ●インターネットメールを使う
- インターネットニュースを使う ●契約プロバイダと接続する
- インターネット接続の設定を変更する
- インターネット上で会議する
- インターネットを効率よく活用する ●ホームページを調べる

NECパーソナルコンピュータ

PC-9800シリーズ

PC-98<sup>21</sup>C233/C166

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
  - ・ 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは本機のみでご使用ください。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Net Meetingは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

JavaはSun Microsystems, Inc.の登録商標です。

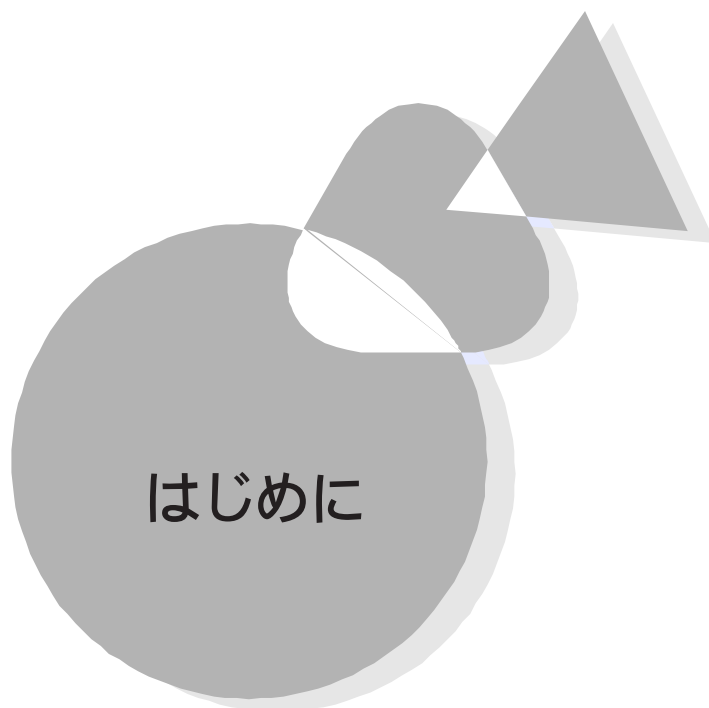
ShockwaveはMacromedia社の登録商標です。

その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

**BN771A**



## はじめに

本機には、インターネットを利用するためのさまざまなアプリケーションが添付されており、購入したその日から使いはじめることができるようになっています。

本書は、本機でインターネットを使い始めるにあたって必要な準備や基本的な使い方から説明しています。

はじめから順番に読んでいけば、インターネットの使い方が理解できるようになっています。

インターネットを初めてお使いになる方は、必ずはじめからお読みください。また、すでにお使いになったことのある方は、必要な箇所のみお読みください。

1997年6月 初版

1997年7月 2版

# このマニュアルの構成

このマニュアルは、次の内容で構成されています。

なお、このマニュアルは次の機種を対象にしています。

- ・ PC-9821C233/V
- ・ PC-9821C166/D



## Part 1 初めてのインターネット

---

初めてインターネットに触れる方のために、インターネットの簡単な紹介や、インターネットへの接続方法を説明しています。



## Part 2 インターネットを使いこなす

---

WWWブラウザ、電子メール、ネットニュースを使ってインターネットを利用する方法について説明しています。



## Part 3 さらに使いこなす

---

インターネットの効率的、有効的な利用方法について説明しています。



## 付録 ジェットサーファーについて

---

次の情報については、本機に添付されている次のマニュアルを参照してください。

- ・ Windows 95の基本操作について知りたい  
『かんたんスタートガイド』および『Microsoft Windows 95ファーストステップガイド』
- ・ いろいろなアプリケーションを使ってみたい  
『CEREBを使いこなそう』
- ・ Windows 95以外のOSを使いたい  
『再セットアップガイド』
- ・ システムを再セットアップしたい  
『再セットアップガイド』
- ・ MS-DOSモードで使いたい  
『ステップアップガイド』
- ・ ハードウェアの設定について知りたい  
『ステップアップガイド』

## ソフトウェアの最新情報のお知らせ

製品の最新情報、ソフトウェアのアップデートサービスの情報（ソフトウェアの強化・修正情報、モジュールの入手情報）を、FAXサービス、パソコン通信、インターネットでご案内しております。

- ・ NECパソコン情報FAXサービス  
FAX 東京：(03)3769-9821  
大阪：(06)304-9821
- ・ パソコン通信  
PC-VAN NECパソコン情報 (J NECPC)  
NIFTY-Serve NEC Information Center Forum (GO FNECINFO)
- ・ インターネット  
98 Information URL <http://www.nec.co.jp/98/>  
パソコンインフォメーションセンターROBO URL <http://info98db.nec.co.jp/>  
パーソナルマルチメディアサービスBIGLOBE URL <http://www.biglobe.ne.jp/>

# このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には、次のような意味があります。




してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性もあります。



参考にしていただきたいことを説明しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

本機	PC-9821 本体と、ディスプレイやキーボードなど、本体に接続されている周辺機器を含む、システム全体を指します。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まない、PC-9821を指します。
CD-ROMドライブ	PC-9821C233/Vでは、DVD-ROMドライブを、PC-9821C166/Dでは、CD-ROMドライブを指します。
Windows	Windows 95を指します。
MS-DOS	MS-DOS <sup>®</sup> 全般を指します。 特に必要な場合は、バージョン名を記載します。
MS-DOSモード	Windows 95のMS-DOSプロンプトの状態を指します。
[ XXX ]	[ ]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックス、ボタンなどの名前を表しています。例：[ OK ]ボタン
	キーボードのキーは、枠で囲んで表記しています。

MS-DOSのコマンド書式で使用されている記号には、次のような意味があります。

< >	この中の項目は、必ず入力します。
[ ]	この中の項目は、必要に応じて入力します。
	この記号で区切られた項目のうち、どれか一つを入力します。

記載されているアプリケーションなどの製品の正式名称は、以下のとおりです。

本文中の表記	正式名称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System

アプリケーションを起動する方法は、CEREBメニューからの操作方法を説明しています。

[ 居間 ]グループ	CEREBメニューのグループを指しています。
[ 書斎 ]グループ	
[ プレイルーム ]グループ	
[ インターネットお気に入り ]グループ	
[ インターネット&パソコン通信 ]グループ	
[ 書庫 ]グループ	

本文の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。

## 安全にお使いいただくために

### ⚠警告

本機に添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

# 目次

はじめに	
このマニュアルの構成 .....	iv
このマニュアルの表記について .....	vi

## Part 1 初めてのインターネット

インターネットとは .....	2
インターネットについて .....	2
インターネットのサービス .....	5
インターネットチュータで学ぶ .....	10
インターネットチュータ .....	10
インターネットチュータを見る .....	12
インターネットチュータの終了 .....	21
初めてインターネットに接続する .....	22
はじめの前に .....	22
BIGLOBEと契約する～BIGLOBEサインアップナビ .....	24
インターネットに接続する～インターネットエクスプローラ .....	35
インターネットに接続するための詳細な設定を行う ～インターネット接続 .....	41
英語のページを見る～翻訳アダプタ .....	48

## Part 2 インターネットを使いこなす

インターネットエクスプローラを使う ～Microsoft Internet Explorer .....	52
ページを表示する .....	52
情報を入手する .....	56
インターネットメールを使う1～Microsoft Exchange .....	58
インターネットメール .....	58
インターネットメールを使う2～Microsoft Internet Mail .....	62
インターネットメール .....	62
インターネットニュースを使う～Microsoft Internet News .....	67
ニュースグループ .....	67
契約プロバイダと接続する .....	72
[インターネット接続]を使う .....	72





## Part 3 さらに使いこなす

インターネット接続の設定を変更する	80
アクセスポイントを変更する	80
再セットアップ後に設定する	80
[パスワードの保存]チェックボックスを有効にする	80
インターネット上で会議する～Microsoft NetMeeting	83
利用環境を設定する	83
電話で話す	88
インターネットを効率よく活用する	
～インターネットアクセスマネージャ	90
利用環境を設定する	91
インターネットへの基本的な接続	96
設定した時間・料金を超えた時、アラームを表示させる	98
使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する	101
あらかじめ登録されているURLにアクセスする	102
ホームページを整理する	103
ブラウザと同じURLのリストに整理する	108
オートパイロットを利用する	112
自動的にホームページを取得する	119
オートパイロット結果を削除する	123
自動的にファイルを取得する	123
アクセスポイントに電話をかける	125
自動的にアクセスポイントを変更する	127
通信記録(ログファイル)を見る	130
回線接続直後にメールやニュースを読み込む	133



## 付録

## ジェットサーファーについて

ホームページを調べる～ジェットサーファー	136
ジェットサーファーをインストールする	137
ジェットサーファーをご使用になる前に	142
ホームページを分析して結果を表示する	143
文字列を検索したページをブラウザに表示する	146
分析したページからファイルをダウンロードする	147



## Part 1

# 初めてのインターネット

ここでは、初めてインターネットに接続する方のために、本書だけでなく、添付の「チュートリアルCD-ROM」に含まれている「インターネットチュート」も利用してインターネットについて詳しく学んでもらうためのものです。さらに、本機でインターネットに接続するもっとも簡単な方法と、本機にインストールされている「翻訳アダプタ」の基本的な使い方、そしてインターネットを利用するのに便利なその他のアプリケーションソフトウェアを説明しています。

# インターネットとは

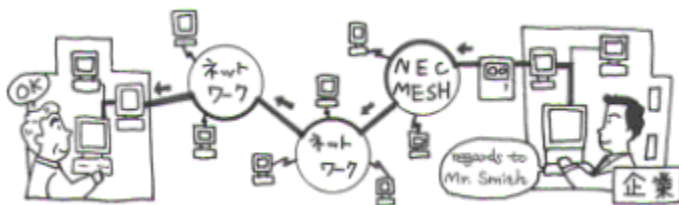
## インターネットについて.....

コンピュータとコンピュータをつないだものをコンピュータネットワーク(単にネットワークともいう)といいます。インターネットは、世界中に存在するネットワークどうしが相互に接続された、世界最大のコンピュータネットワークです。

はじめは大学などの学術機関や政府機関など、一部の人たちがオープンな研究活動のために利用する学術ネットワークでした。今では世界中の人たちが、公のことからプライベートなことまで、バラエティーあふれる情報を交換するコミュニケーションの場となっています。



インターネット上で公開されている情報は、インターネットを構成するいくつかのネットワークを経由して届きます。その際に情報が通る経路は、より早く安全に届けられるようネットワークをつなぐコンピュータによって自動的に選択されます。したがって、もしある1つのネットワークに障害が発生しても、情報を正常に伝達できる経路を探して、確実に届くようになっています。



コンピュータどうしが接続して情報をやり取りするときのきまりを「プロトコル」といいますが、インターネットでは、情報の特徴に応じてさまざまなプロトコルが使われています。そして、どのプロトコルを使って情報をやり取りするかによって、WWW、電子メール、NetNews、FTP、Telnetなどさまざまなサービスが提供されています。例えばWWWでは「http」というプロトコルを使って接続することにより、文字や画像、音声、動画など

の情報をやりとりできます。また、FTPでは、FTPというプロトコルを使うことにより、ファイルをやり取りできます。

このように、インターネットを利用するときには、やり取りしたい情報の特徴に応じてサービスを使い分けることになります。

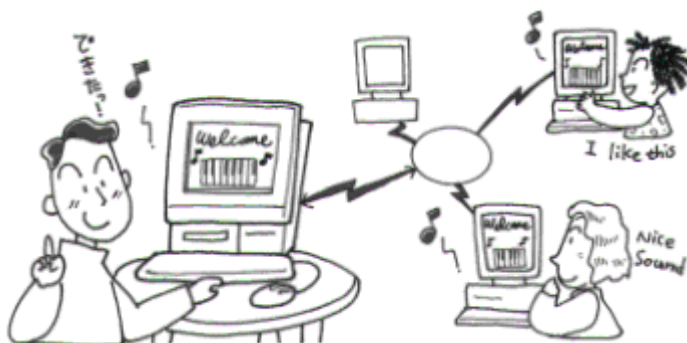
## インターネットの活用シーン

### < 世界各地に情報発信 >

インターネットを経由すると、世界中へ向けて情報を発信できます。

例えば、文字や音声、画像、動画を送受信できる機能を持つWWWでは、企業や公共機関の案内や情報の提供、求人広告、商品の紹介や販売、同じ趣味を持つ人へ向けての情報提供、自作の文章や音楽などの公開など、さまざまな形で情報発信が行われています。

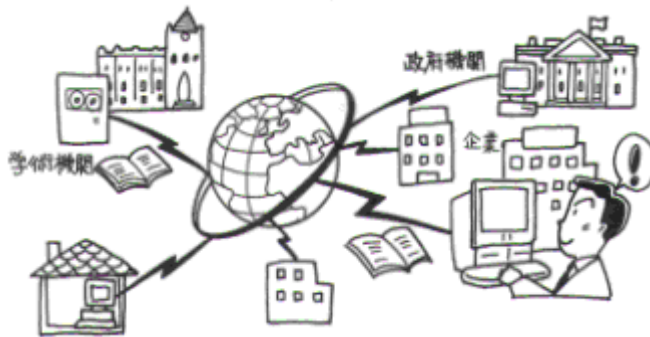
このほか、特定の人に手紙を送りたいときは電子メールを、あるテーマについて世界の人に向けて意見を述べたり、情報を提供したいときはNetNewsを、というように自分が発信したい情報の特徴に応じて適切なサービスを利用します。



### < 最新情報を入手する >

インターネットでは、居ながらにして常に世界の最新情報を入手できます。インターネット上には、世界中にさまざまな情報提供の場が存在していて、学術情報や各国の政策といった貴重な情報も最新のもの入手できます。

また、アプリケーションソフトの試供版やバージョンアップ用のソフトウェアなども手に入ります。これらの情報は、「URL」や「IPアドレス」といわれる情報提供の場所を示す住所がわかれば、簡単に入手できます。



### < オンラインショッピング >

インターネットは、画像や音声といったデータを簡単におくることができるだけでなく情報を双方向にやりとりすることができます。その利点をいかしたのがオンラインショッピングです。オンラインショッピングでは、インターネットで商品カタログを見ながらその場で商品を注文できます。

本機では、電話回線に接続してインターネットを利用することができます。オンラインショッピングには欠かせない商品カタログのデータを受け取ることができます。

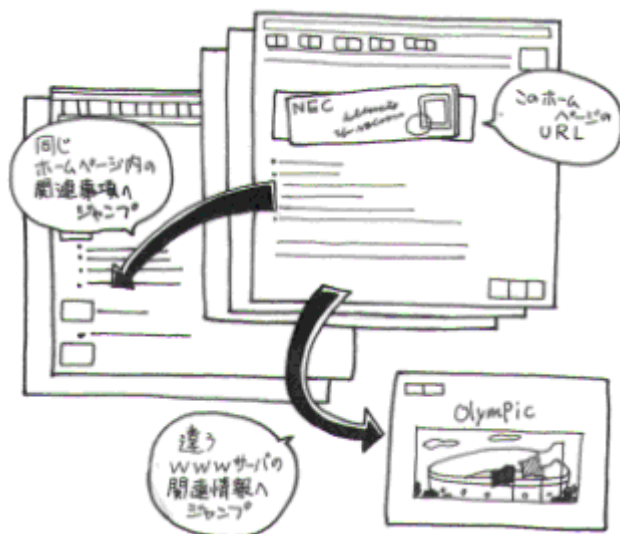
# インターネットのサービス.....

ここでは、インターネットで人気のWWWをはじめ、インターネットで提供される各種のサービスについて説明します。

## WWW ~ WWWサーバにアクセスする

WWW(World Wide Web)では、世界各地の公共機関や企業の広報から個人の趣味まで、形態も目的もさまざまな幅広い情報が提供されています。また、文字や画像だけでなく、音声や動画も扱えますので、インターネットで世界へ向けて情報を発信するメディアとして人気を集めています。

WWWの情報は「ページ」という形で提供され、まるで本のページを読むような感覚で画面に表示して読むことができるのが特徴です。また、世界中(World Wide)のインターネットにあるページがクモの巣(Web)のように互いに結びついていて、1つのページから関連する別のページを呼び出して次から次へとページをみていくことができます。



### ホームページについて

WWWで提供される情報のページは「Webページ」と呼ばれます。Webページは通常、関連する情報を扱う複数のページが集まってひとまとまりのWebページ群を作っています。このWebページ群を「Webサイト」といい、Webサイトの1ページ目にあつてWebサイト全体の目次の役割を果たすページを「ホームページ」といいます。ホームページはWebサイトを代表するページですから、画像がふんだんに使われ、魅力あるデザインのものが数多く公開され、話題になっています。そんなところから、今ではホームページがWebサイトや、Webページと同じ意味で使われるようになってきました。

## ブラウザについて

WWWのWebページを見るためには、ブラウザと呼ばれるソフトが必要です。

WWWのWebページは、世界各地で運営されているWWWサーバ(WWWでの情報提供をサービスするコンピュータ)に蓄積されています。ブラウザを使ってこのWWWサーバ内にあるWebページにhttpというプロトコルで接続すると、Webページの内容を手元のコンピュータの画面に表示して読むことができます。

本機には、標準で「インターネットエクスプローラ」というブラウザがインストールされています。インターネットエクスプローラの利用方法は、「Part 2 インターネットを使いこなす」をご覧ください。

## URLについて

WWWのWebページに接続するには、URL(Uniform Resource Locator)と呼ばれるWebページの所在地を示すものを指定します。

Webページでは、ページ内の文字や絵をクリックすると別の情報へジャンプすることができますが、これらの文字や絵は、このURLをキーボードから入力しなくても、関連する情報へ簡単に移動できるようにしたものです。

### URLの例

- NECのwwwサーバのURL  
http://www.nec.co.jp/
- 98 INFORMATIONのURL  
http://www.nec.co.jp/98/



URLの書式は、次のようなしくみになっています。

http://www.nec.co.jp/japanese/product/personal/index.html

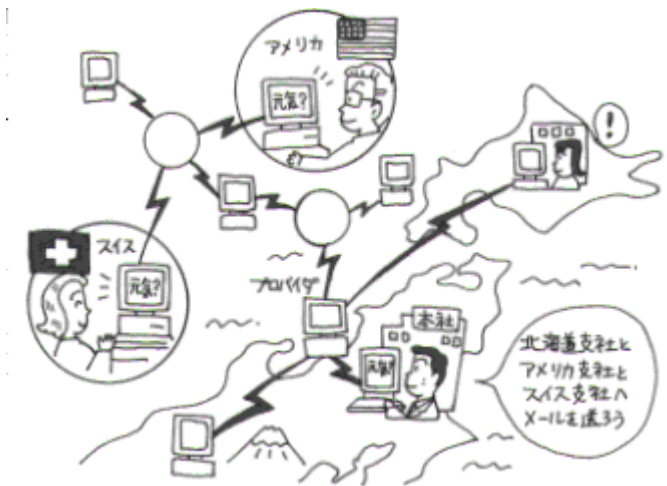
プロトコル    サーバのドメイン名    パス名( Webページのサーバ内でのありか )

前述のように、WWWを利用するには、WWWサーバにhttpというプロトコル(情報をやり取りする方法)を用いて接続します。そこで、URLの一番始めには、この接続方法であるhttpを記述します。次に、どのWWWサーバに接続するかをドメイン名で指定し、さらに、そのWWWサーバ内にあるどのWebページに接続するかをパス名で指定します。

URLの詳細については、Part 2の「ページを表示する」の「URL(アドレス)を入力してページを表示する」をご覧ください。

## 電子メール ～メッセージを送受信する

インターネットで特定の相手(ひとりまたは大勢)とメッセージのやり取りをする機能を「電子メール」といいます。電子メールでは、インターネットに接続している人となら誰とでも、いつでも自由にメッセージを送ったり、受けたりすることができます。世界中に向けて迅速にメッセージを送ることができるのが利点です。また、パソコン通信ネットワークの中には、インターネットとの電子メールの交換ができるものもあります。



### 電子メールアドレス

電子メールでメッセージを送るときにも、手紙やはがきを送るときと同じように相手の宛先が必要です。電子メールの宛先のことを「電子メールアドレス」といいます。電子メールアドレスは、次のようにユーザ名とドメイン名であらわされます。ドメイン名は、電子メールを利用するユーザが属しているネットワークの所在地をあらわします。

電子メールアドレスの例

yamada@SALES.AAAAAA.co.jp

ユーザの名前

ドメイン名



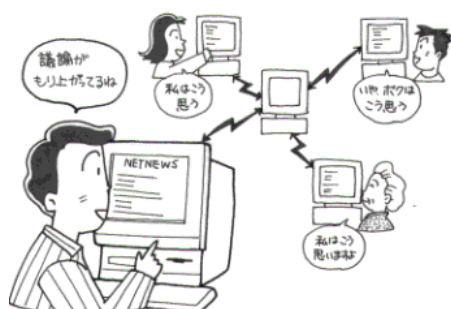
電子メールアドレスでは、大文字と小文字が区別されます。



## NetNews ~ 電子会議で情報交換する

パソコン通信の電子掲示板(BBS)と同じような形式で、さまざまな分野について意見や情報の交換ができるのがNetNewsです。電子メールとは異なり、不特定多数の相手に向けて情報を発信できます。また、パソコン通信の電子掲示板に参加できるのは、同じパソコン通信のネットワークに加入している人に限られますが、NetNewsにはインターネットに接続していれば誰でも参加できますので、インターネットに接続している世界中の人と情報交換できます。

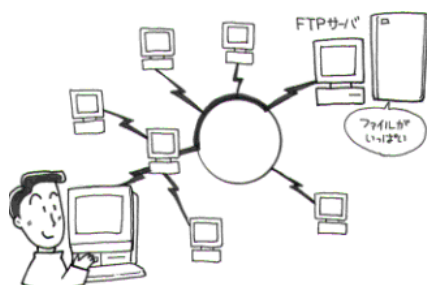
NetNewsでは、科学、社会、趣味などのテーマ別に、さらに趣味なら映画、音楽などのグループが用意されており、それぞれの分野に興味を持つ参加者によって議論が展開されています。また、フリーソフトウェアや画像の交換が行われているニュースもあります。



## FTP ~ ファイルを転送する

FTP(File Transfer Protocol)とは、インターネット上でFTPというプロトコルを使ってファイルをやり取りできるサービスです。FTPでは、ソフトウェア、画像、官公庁広報資料など、さまざまなファイルがFTPサーバ(ファイルを保管し、FTPでのファイル転送サービスを行うコンピュータ)によって提供されています。利用者(FTPクライアントという)は、FTP専用のソフトウェアを使ってFTPサーバに接続し、どんなファイルが保管されているかを確認したり、希望するファイルを自分のコンピュータに送ってもらったりすることができます。

FTPサーバに保管されているファイルは、通常FTPサーバの管理者に利用許可(アカウント)をもらわないと利用できませんが、特に利用許可がなくても誰でも利用できる「anonymous(アノニマス:匿名の)FTP」と呼ばれるFTPサーバもあります。anonymous FTPでは、フリーソフトウェアなどの収集や、コンピュータメーカーによるソフトウェアのバージョンアッププログラムの配布などが行われています。



## Archie ~ サーバにあるファイルを探す

前述のFTPのサービスを使って自分の欲しいファイルを手に入れるためには、欲しいファイルの正確なファイル名と、どのFTPサーバにそのファイルがあるかがわかっていなければなりません。しかし、世界中に張りめぐらされているインターネットのネットワーク上にある数多くのFTPサーバから自分が欲しいファイルを探し出すのは、大変な作業です。そこで、自分が欲しいファイルのありかを探し出してくれるArchieというサービスが行われています。

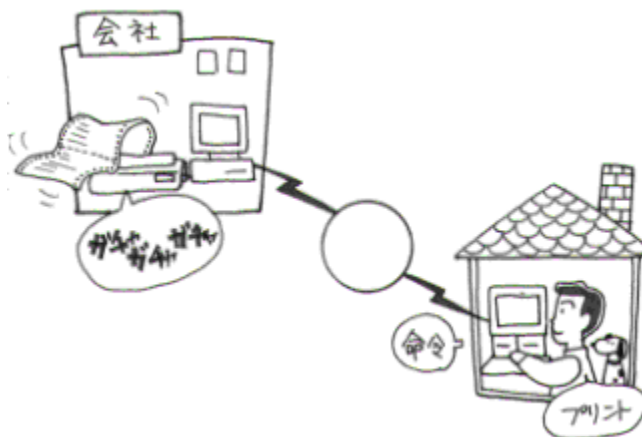
Archieでは、ファイルがどのFTPサーバに保管されているかの情報が「Archieサーバ」と呼ばれるコンピュータに蓄積されており、Archieサーバに接続して欲しいファイルの名前(正確でなくてもよい)を指定すると、そのファイルがどのFTPサーバにあるかを教えてくれます。

## Telnet ~ 遠隔アクセスをする

手元にあるコンピュータから、インターネットを通じて遠くにある別のコンピュータに接続し、そのコンピュータを遠隔操作できるサービスです。例えば、自宅のパソコンから会社のコンピュータに接続し、操作することができます。

米国の連邦議会図書館や大学の図書館などの蔵書データベースのように、誰でも自由に利用できるコンピュータもありますが、多くの場合FTPと同じように利用許可(アカウント)が必要になります。例えば、民間の商用データベースでは、事前にユーザー登録をして利用許可をもらうことにより、Telnetでデータベース検索を行えます。

また、パソコン通信の中にもTelnetを利用して、インターネット経由で接続できるようになっているものもあります。





# インターネットチュータで学ぶ

本機には、インターネットが簡単にわかる「インターネットチュータ」が添付されています。  
「インターネットチュータ」は「チュートリアルCD-ROM」に入っています。  
「インターネットは初めて」「インターネットについてよくわからない」という方は、ご覧ください。

## インターネットチュータ.....

### インターネットチュータの画面

前画面を見る 次画面を見る

インターネット  
エクスプローラ

この部分を利用すると、インターネットを簡単に利用できます。インターネットへ接続した後、ご覧ください。

ようこそ 98インターネットの世界へ

初めてのインターネット



インターネットチュータの操作や注意事項を説明しています。必ずお読みください。



インターネットについて知ることができます。また、インターネットを疑似体験できます。初めての方はこのページから見てください。



インターネットについての基礎的なことを説明しているコーナーです。インターネットに接続されていなくてもすべて見るができます。



インターネットを疑似体験できるコーナーです。インターネットに接続されていなくても見るができます。



このコーナーを使うと、簡単にインターネットの人気のあるサーバに接続することができます。インターネット接続後にご覧ください。



インターネットに接続するときに必要な基本的なことを説明しているコーナーです。



広告のページです。

# インターネットチュータを見る.....


実際にインターネットを始める前に、インターネットについて理解するために、ここでは次の順でインターネットチュータを見ていきます。




## インターネットチュータを始める

用意するもの ・ チュートリアルCD-ROM

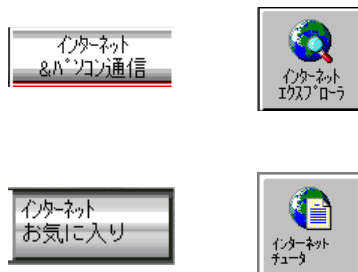
- 1 本体の電源をONにします。

 電源をONにしてもうまくいかない場合は、『困ったときにお読みください』をご覧ください。

- 2 チュートリアルCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

 CD-ROMのセットのしかたは、『かんたんスタートガイド』をご覧ください。

- 3 [インターネット&パソコン通信]グループの[インターネットエクスプローラ]または、[インターネットお気に入り]グループの[インターネットチュータ]をクリックします。





「インターネットエクスプローラ」が起動して、スタート画面が表示されたら、「初めてのインターネット」をクリックします。



「初めてのインターネット」にマウスポインタをあわせ、マウスポインタが手の形になったらクリックする

この状態で、「インターネットチュータ」を始めることができます。ここでは、一緒に「はじめに」から見てみましょう。

#### 4 「はじめに」をクリックします。



ここにマウスポインタをあわせ、マウスポインタが手の形になったらクリックする

「はじめに」の画面が表示されます。



スクロールボタンをクリックする、またはスクロールバーをドラッグすることで、続きの画面を見ることができる

**5** 「はじめに」をよく読んでください。

スクロールボタンをクリックして続きを見てください。ここに「インターネットチュータ」についての詳しい説明があります。

インターネットチュータの操作中にわからないことがあったら、このページを開いて見るようにしてください。

**6** 最後まで読み終わましたら画面の終わりに表示される「ホームページへ」をクリックします。



この部分をクリックする

次の「インターネットチュータ」のホームページ画面が表示されます。



スクロールボタンをクリック、またはスクロールバーをドラッグすると画面がスクロールして、画面の続きを見ることができる

スクロールして、画面の続きを見てください。インターネットについての項目がいくつか並んでいます。



## 「インターネットって何だろう」を見る

### 7 「インターネットって何だろう」をクリックしてください。



この四角で囲まれた内側をクリックする

「インターネットって何だろう」の目次の画面が表示されます。



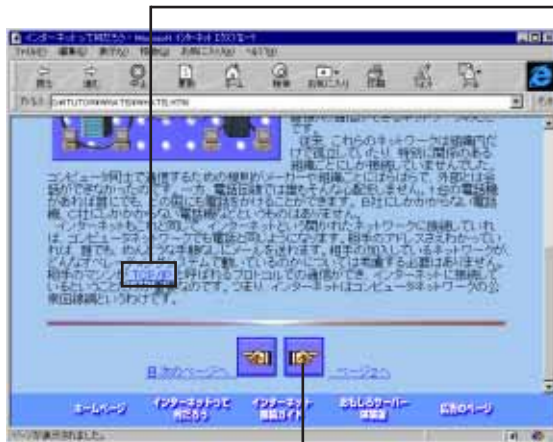
読みたい項目にマウスポインタをあわせてマウスポインタが手の形に変わったたらクリックする

インターネットについて基本的なことから知りたい方は、「インターネットって何だろう」をクリックしてその部分からお読みください



スクロールボタンをクリックする、またはスクロールバーをドラッグすることで、続きの画面を見ることができる

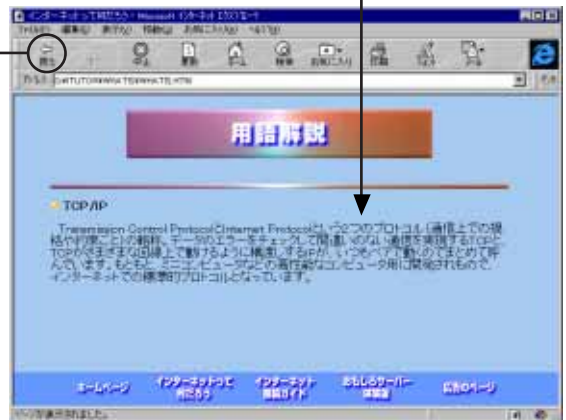
スクロールして読み進んでいくと、文章中に文字の色が違う部分があります。その部分をクリックすると、その部分を追加説明した画面になります。



色の違う部分には追加の説明が付いている(この部分は用語説明)にこの部分にマウスポインタをあわせ、マウスポインタが手の形に変わったらクリックする

このページを読み終えたら、「ページ2へ」をクリックして次のページへ

もとの画面に戻るにはここをクリックする



このページを読み終えたら「ページ2へ」をクリックして次のページを表示してください。  
この要領で画面の指示通りに読み進んでいくと、最後の「他のネットに入れるの?」まで読み進むことができます。



## 「インターネット接続ガイド」を見る

- 8 下部のメニューから「インターネット接続ガイド」をクリックしてください。



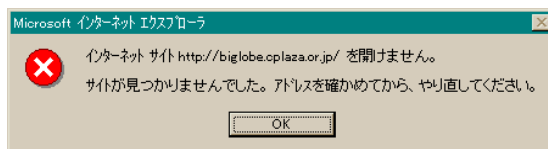
インターネット接続ガイドをクリックする

次の「インターネット接続ガイド」の目次の画面が表示されます。



この後は、同様にして自由に読み進んでいってください。

いろいろな場所をクリックしていると、ときどき次のような注意が表示されることがあります。



これは、まだ本機が実際にインターネットに接続されていないことを意味しています。この注意が表示されるページはインターネット接続後にご覧ください。クリックするとこの注意が表示される部分かどうかを見分けるには次のようになります。

クリックできる部分の上にマウスポインタをおくと、マウスポインタが手の形に変わると同時に、画面の下の方にメッセージが表示されます。



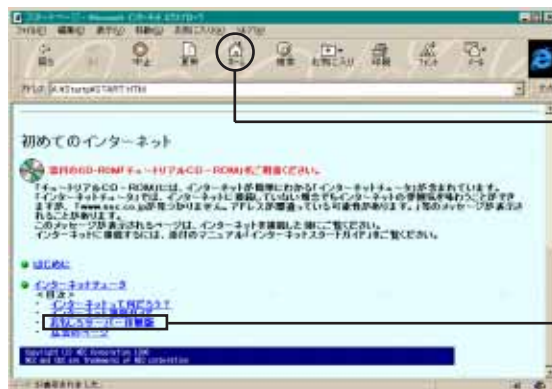
メッセージに「ショートカット-Q: ¥ ~ 」で始まるものが表示されていれば大丈夫

その部分に「ショートカット-Q: ¥ ~ 」で始まるものが表示されていれば、CD-ROMに入っている情報を読みに行くので、上記のメッセージは表示されません。それ以外の場合はインターネットに接続して読みに行くので、本機が接続されていない場合は、上記のメッセージが表示されます。

## 「おもしろサーバー体験版」を見る

このインターネットチュートには、まだインターネットに接続していない人にもインターネットを疑似体験することができるコーナーが設けられています。

**9** スタートの画面を表示して、「おもしろサーバー体験版」をクリックします。



「ホーム」をクリックするとスタートの画面にもどる

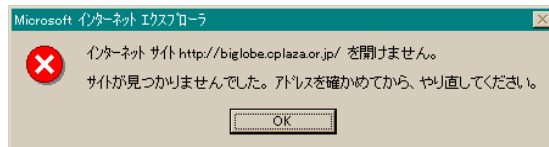
「おもしろサーバー体験版」をクリックする

次の「おもしろサーバー体験版」の画面が表示されます。



見たいページをクリックしてください。

ただし、読み進んでクリックしていると、本機がまだインターネットに接続されていない場合、先ほどと同じ注意のメッセージが表示される場合があります。



この注意が表示されるページはインターネット接続後にご覧ください。

## 広告のページを見る

「広告のページ」では「バザールでござーる 壁紙&スクリーンセーバ」のようなコーナーが用意されています。



## その他のページを見る

インターネットチュータには、「イエローページ」「NECのページ」を用意しています。これらのページは、インターネットに接続してデータを見ることができるようになっています。インターネット接続後にご覧ください。

### イエローページ



インターネット上のいろいろなホームページへのリンクを集めたページです。インターネットサーフィンの出発点としてご利用ください。

### NECのページ




NECが提供しているホームページに簡単に接続することができます。



なお、接続先サイトの事情（サーバのクローズ、アドレス変更、ページの削除など）により、つながらない場合があります。あらかじめご了承ください。

# インターネットチュータの終了.....

- 1 [インターネットエクスプローラ]の画面の一番右上の  ボタンをクリックします。これでインターネットチュータが終了します。



# 初めてインターネットに接続する

## はじめる前に.....

ここでは、初めてインターネットに接続するために必要なプロバイダとの契約および設定について、本機に搭載されたオンラインサインアップソフト「BIGLOBEサインアップナビ」を用いて説明します。既に契約済みのプロバイダがある場合のインターネットへの設定方法については「Part 2 インターネットを使いこなす」の「契約プロバイダと接続する」をご覧ください。



「BIGLOBEサインアップナビ」とは、NECのプロバイダであるBIGLOBEと簡単に契約するためのソフトです。

インターネットを始めるには、まず、ネットワークと本機をつなぎます。  
それには、次の準備が必要です。

### 回線の準備

本機をインターネットというネットワークにつなげるためには回線が必要です。  
回線には、電話回線とISDN回線の2種類があります。  
本機をお使いの場合、あらかじめ、FAXモデムボードが搭載されているため、電話回線を使って、インターネットに接続できます。

### プロバイダとの契約～オンラインサインアップと契約の申込み

プロバイダとは、インターネットにあなたのコンピュータをつなげてくれる会社です。あなたのコンピュータは、回線（INSネット64や通常の電話回線）を経由し、プロバイダを通じてインターネットと接続されます。  
プロバイダと契約すると、プロバイダは、回線で接続したコンピュータにIPアドレスや電子メールアドレスを割り当てます。  
プロバイダは、それぞれ独自にサービス内容や料金体系をもっています。



BIGLOBEとは

「BIGLOBE」は、インターネットとパソコン通信を融合し、発展させた新しいスタイルのネットワークサービスです。  
インターネットをフル活用できるのはもちろん、パソコン通信サービスPC-VANから受け継いだ豊富なメニューもIDひとつでお楽しみ頂けます。

他のプロバイダと比較したBIGLOBEの特徴

- ・ インターネットもパソコン通信もひとつのIDで利用可能
- ・ お手頃料金で利用可能
- ・ 365日、24時間のユーザサポート(BIGLOBEカスタマーサポート)
- ・ 国内最大級のアクセスポイントの設置
- ・ 利用者の利用勝手を考えた入会コースをご用意
- ・ ホームページ「BIGLOBE CYBER PLAZA」を自ら運営。最新技術を駆使したコンテンツを日々提供!!

「BIGLOBE」の入会コースとしては、以下の4種類があります(コース内容は予告なく変更することがありますのでご注意ください)。

#### ばりばり15コース

BIGLOBEが提供するインターネットサービスとパソコン通信サービスのフル機能をお手頃な料金でご利用いただけるコースです(旧ばりばり/らくらくコース)。

#### ばりばり50コース

インターネットもパソコン通信ももっとばりばり使いたいという方にお得な長時間利用コースです。

#### わいわいコース

パソコン通信もインターネットも使った分だけという従量制のコースです。  
パーソナルホームページやメールングリストもご利用頂けます。

#### るんるんコース

BIGLOBE以外のインターネット接続会社と契約されている方にインターネットコンテンツサービス「BIGLOBE CYBER PLAZA」の有料メニューをご利用頂くためのコースです。ホットなオンラインマガジンをお楽しみください。

詳しくは本体添付の『おいでまし - ト』および、本体インストールソフト「BIGLOBEサインアップナビ」の説明をご覧ください。

# BIGLOBEと契約する ～BIGLOBEサインアップナビ・・・・・・・・・・

それでは、実際にインターネットに接続してみましょう。初めてインターネットに接続するためには次の手順を行います。

- ・ BIGLOBEと契約する
- ・ インターネットに接続する

ここでは「BIGLOBEサインアップナビ」でのオンラインサインアップの方法について説明します。

## (1) サインアップナビの準備

- ・ オンラインサインアップとは  
あなたのコンピュータから、回線を使って、インターネットのプロバイダ(この場合はBIGLOBE)と契約する方法をオンラインサインアップといいます。
- ・ オンラインサインアップの条件  
オンラインサインアップは、次の条件を満たしている方に限らせていただきます。
  - ・ 18歳以上の方
  - ・ 本人名義のクレジットカードでBIGLOBE利用料金が決済できる方  
使用できるカード...VISA JCB DC UC 日本信販 MC(ミリオンカード) AMEX ダイナース オリエント  
その他のマスターカード、バンクカード、セゾンカード
  - ・ BIGLOBEサービス会員規約に同意される方



次の場合には、本機添付の『BIGLOBEおいでまシート』の契約申込書に必要な事項を記入の上、お申し込みください。

- ・ 18歳未満の方
  - ・ 本人名義のクレジットカードをお持ちでない方
  - ・ オンラインサインアップがうまくいかなかった方
- ・ 準備するもの
    - ・ クレジットカード(本人名義のもの)
    - ・ 本機に添付の『BIGLOBEおいでまシート』
    - ・ メモと筆記用具





## (2) オンラインサインアップの起動



いったんオンラインサインアップを中断し、再度オンラインサインアップをやり直すと、操作手順や表示されるメッセージが本マニュアルの記述と異なる場合があります。

この場合は、画面に表示されるメッセージに従って作業を進めてください。

Part 1

初めてのインターネット

- 1 電源をONにしてWindows 95を起動させます。
- 2 [BIGLOBEサインアップナビ]を起動します。次のいずれかの方法で起動してください。
  - ・ [インターネット&パソコン通信]グループの[設定/サインアップ]フォルダの[BIGLOBEサインアップナビ]をクリック。
  - ・ [スタートメニュー]-[プログラム]-[インターネット&パソコン通信]-[設定/サインアップ]-[BIGLOBEサインアップナビ]をクリック
  - ・ Windows 95のデスクトップの画面から[BIGLOBEサインアップナビ]アイコンをダブルクリック
- 3 [BIGLOBEサインアップナビ]の画面が表示されますのでメッセージをよくお読みになったあと、[次へ]ボタンをクリックしてください。



クリックする

- 4 サインアップ開始の画面が表示されますので、注意事項をよくお読みになったあと、[次へ]ボタンをクリックしてください。



クリックする



[ 登録内容確認 ] ボタンは次の場合にお使いください。

- ・ 取得した情報を確認する場合
- ・ BIGLOBE サインアップナビでの入会手続きは終了したが、アクセスポイントの設定をしていない場合

## 5 サインアップセンターの電話番号と使用モデムの選択画面が表示されます。サインアップセンターの電話番号と使用モデムを以下のように設定してください。

はじめてインターネットに接続する場合は、このボタンをクリックしてダイヤルを設定する



サインアップセンターの電話番号(電話回線)を一覧から選択する

使用するFAXモデムを一覧から選択する



ご使用になるモデムを本機のFAXモデムボード以外のモデムに変更する場合は、事前にハードウェアセットアップウィザードを完了しておいてください。サインアップセンターとの接続ができなかった場合は、[ ダイヤル設定変更 ] ボタンをクリックし、市外局番、ダイヤル方法などを設定して、通信が正しく行われるように変更してください。また、[ モデム設定変更 ] ボタンをクリックし、モデムの設定を確認してください。

## 6 本機ではじめてインターネットを利用する場合は、[ ダイヤル設定変更 ] ボタンをクリックしてください。はじめてでない場合は、手順9に進んでください。

## 7 次の画面が表示されるので、必要事項を指定してください。



本機をお使いの場所の市外局番を入力してください(先頭の0は入力しません)

お使いの電話回線を指定してください

どちらかわからない場合は、NTTにお問い合わせください

## 8 指定が終わったら、[ OK ] ボタンをクリックしてください。手順5の画面に戻ります。

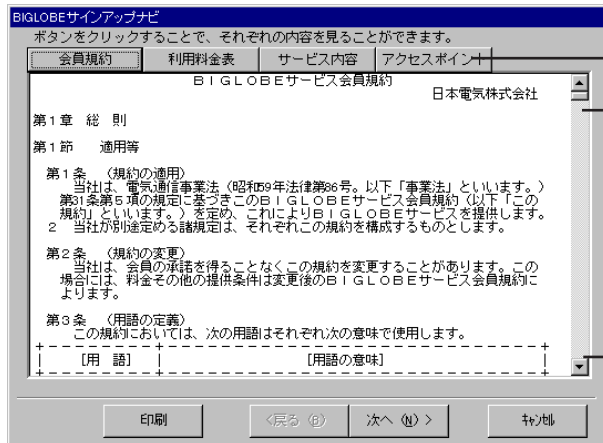


## 9 [ 設定完了 ] ボタンをクリックしてください。

オンラインサインアップセンターへの接続が開始され、BIGLOBEに関する各種の情報が表示されます。



センターが混み合っていて、うまく接続できない場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って再度やりなおしてください。



それぞれの情報を表示するには、各情報のタブをクリックする

各画面で画面のスクロールボタンをクリックすると文章の上下の内容が表示される

この画面では、次の情報を表示します。プリンタが利用可能な[ 印刷 ] ボタンをクリックしてプリントアウトできます。

会員規約	「BIGLOBE サービス会員規約」が表示されます。
利用料金表	BIGLOBE での料金体系が表示されます。
サービス内容	BIGLOBE が提供するサービス内容です。
アクセスポイント	BIGLOBE に接続するためのアクセスポイント( 電話をかける場所) の一覧です。

### (3) サインアップの開始


- 1 各種の情報を読み終えたら[ 次へ ] ボタンをクリックします。
- 2 次の画面が表示されますので[ はい ] ボタンをクリックしてください。



- 3 BIGLOBE のコース選択画面が表示されますので、画面中央に表示されるガイドにしたがってコース名を一覧から選択してください。なお、本マニュアルは[ ぱりぱり ] 15コース を選択した場合を例にして説明します。



**4** コースを選択したら「次へ」ボタンをクリックしてください。さまざまな情報を入力する画面が表示されます。

 詳細については、BIGLOBEサインアップナビ内の記述または「おいでまシート」をご覧ください。コース変更はサインアップ後インターネット上で行うことができます。

#### (4) ユーザ情報

**1** ユーザ情報を入力する画面が表示されます。設定方法に従い入力します。

氏名等  
 姓 漢字(㉿)  名 漢字(㉿)   
 姓 ローマ字(㉿)  名 ローマ字(㉿)   
 性別  男(㉿)  女(㉿)  
 生年月日(㉿)  年  月  日

自宅住所  
 郵便番号(㉿)   
 都道府県(㉿)   
 市区(㉿)  町(㉿)   
 町番地(㉿)   
 電話番号(㉿)

入力ガイド  
 あなたの名字を全角で入力してください。(12文字以内)  
 例) 日電  
 次の項目に移動するには、キーボードでTABキーを押すか、入力欄にマウスで矢印(↑)  
 (マウスポインタ)を位置づけ、マウスの左ボタンを押して(クリックして)ください。



項目	設定方法	
氏名等	漢字	氏名を姓(苗字)と名(名前)に分けて、全角で入力します。
	ローマ字	氏名を姓(苗字)と名(名前)に分けて、半角の英字で入力します。
	性別	性別を選択します。
	生年月日	生年月日を入力します。
自宅住所	郵便番号	自宅の郵便番号を半角で入力します。
	都道府県	▼ボタンをクリックして、一覧から選択します。
	郡市区	▼ボタンをクリックして、一覧から選択します(政令指定都市の場合は市ではなく区が表示されます)。表示されない場合は直接入力してください。
	町村	▼ボタンをクリックして、一覧から選択します(郡市区で選択した都市によっては、選択不要の場合があります)。
	町番地	全角で入力します。
	電話番号	半角で入力します。

入力項目によって自動的に全角、半角の切りかえを行います。

## 2 すべて入力したら[次へ]ボタンをクリックします。

### (5) カード情報、メールアカウント等の入力

#### 1 クレジットカード情報や入会方法などを入力する画面が表示されます。設定方法に従い入力します。



あらかじめ入力されている優待ID、パスワードを書きかえたり、消去したりしないでください。

BIGLOBEサインアップナビ

クレジットカード

カードの種類(Q)

カードの番号(Q)

有効期限(Q)

入会方法

優待IDの使用(Q)  (有効期限) 1999/12/31

優待ID(L) necpc002 パスワード(P) nec002

インターネットメールのアカウント

第1希望(E)

第2希望(S)

第3希望(T)

入力ガイド

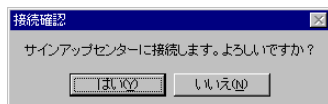
使用するクレジットカードを選択してください。  
なお、カード名義人は申込者ご本人に限らせていただきます。

<戻る(Q) 設定完了(Q) キャンセル

項 目		設定方法
クレジット カード	カードの種類	▼ ボタンをクリックして、一覧からお持ちのクレジットカードを選択します。
	カードの番号	クレジットカードの番号を半角で入力します。
	有効期限	クレジットカードの有効期限を半角で入力します。 例) 1999年3月までの場合 03/99
入会方法	優待IDの使用	あらかじめ入力されているので変更しないでください。
	優待ID	あらかじめ入力されているので変更しないでください。
	パスワード	あらかじめ入力されているので変更しないでください。
インターネット メールの アカウント	第1希望	メールアカウントを登録できます。メールアカウントとはインターネット上で電子メールを受け取る際に、お客様を識別するための記号です。本名と全く異なるものでもかまいません。 希望するメールアカウントを画面に表示される「入力ガイド」に従って、第1希望から第3希望まで入力してください。第2希望以降は省略可能ですが、第1希望で登録できない場合に備えて、第3希望まで入力することをおすすめします。 なお、登録後の変更はできませんのでご注意ください。
	第2希望	
	第3希望	

**2** すべて入力したら、[ 設定完了 ] ボタンをクリックします。

**3** 次の画面が表示されますので [ はい ] ボタンをクリックしてください。



オンラインサインアップサービスセンターと接続し、通信状態を表す画面が表示されます。しばらくお待ちください。

## (6) サインアップの終了

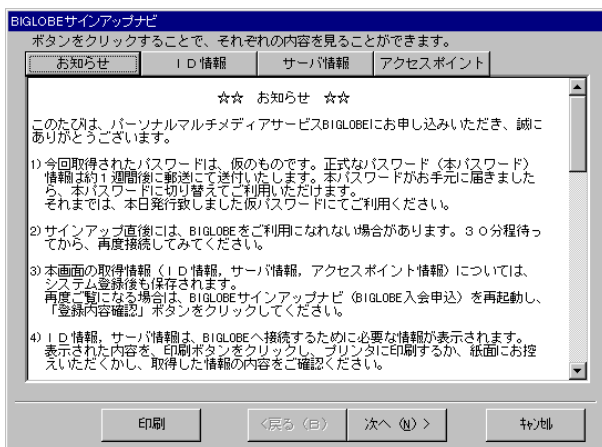
しばらくすると、サインアップが終了し、次の画面が表示されます。



**1** [ OK ] ボタンをクリックしてください。オンラインサインアップサービスセンターから取得した情報を表示します。

## (7) 情報の入手

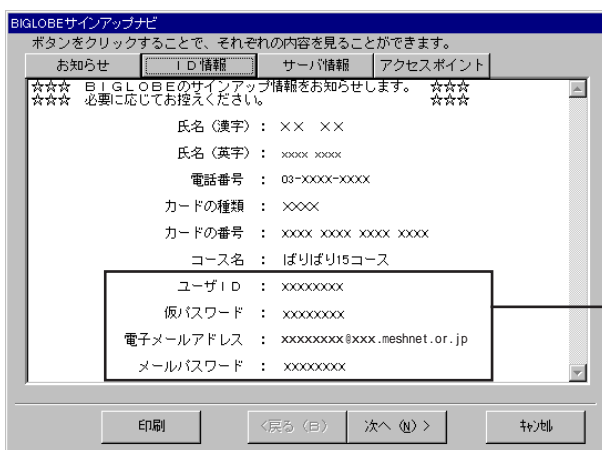
## 1 次の画面が表示されます。



## 2 表示されている画面([ お知らせ ]タブ)の内容をよくお読みください。よくお読みになったら、[ ID情報 ]タブをクリックします。

## 3 [ ID情報 ]タブの「登録情報」に表示されている次の内容を必ずメモしておいてください(プリンタが利用可能なら、メモするかわりに「印刷」ボタンをクリックしてプリントアウトしてください)。

- ・ ユーザID
- ・ 仮パスワード
- ・ 電子メールアドレス
- ・ メールパスワード



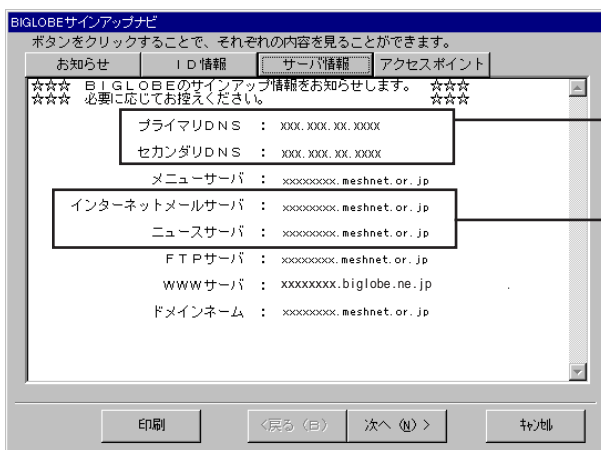
ユーザID、仮パスワードは「(5) カード情報、メールアカウント等の入力」での優待ID、パスワードと異なりますが問題ありません。

なお、この画面は、オンラインサインアップ終了後に「BIGLOBEサインアップナビ」を再起動して、「登録内容確認」ボタンをクリックしても表示されます。

4 メモしたら、[ サーバ情報 ]タブをクリックします。

5 [ サーバ情報 ]タブに表示されている次の内容をメモしてください（プリンタが利用可能なら、メモするかわりに[ 印刷 ]ボタンをクリックしてプリントアウトしてください）

- ・プライマリDNS
- ・セカンダリDNS
- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ



この画面は、オンラインサインアップ終了後に[ BIGLOBEサインアップナビ ]を再起動して、[ 登録内容確認 ]ボタンをクリックしても表示されます。

6 メモしたら、[ アクセスポイント ]タブをクリックします。

7 最寄りのアクセスポイントをメモしてください（プリンタが利用可能なら、メモするかわりに[ 印刷 ]ボタンをクリックしてプリントアウトしてください）

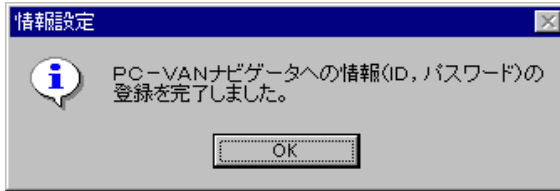


BIGLOBEサインアップナビは、自動的に最寄りのアクセスポイントを検索しますが、検索がうまくいかなかったときにこの情報が必要になります。





- 8 メモしたら、[ 次へ ] ボタンをクリックします。
- 9 [ 情報設定 ] 画面が表示されますので、[ OK ] ボタンをクリックしてください。  
PC-VANナビゲータがインストールされていれば、IDやパスワードの情報を設定します。



## (8) アクセスポイントの設定

アクセスポイントを設定します。

- 1 接続先名と使用モデム名とアクセスポイントを設定後、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



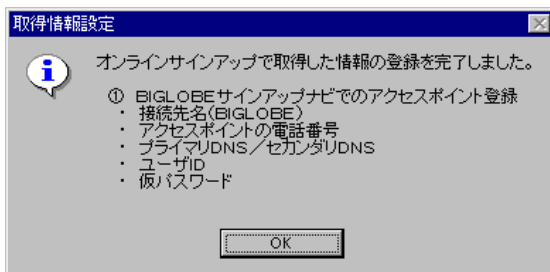
このボタンをクリックして、一覧から最寄りのアクセスポイントを選択する

項目	設定方法	
アクセスポイントの設定	接続先名	BIGLOBEが表示されていることを確認します。
	モデム名	▼ ボタンをクリックして、一覧からモデム名を選択してください。
	アクセスポイント	▼ ボタンをクリックして、一覧からアクセスポイントを選択してください。電話回線に対応した最寄りのアクセスポイントを選択します。

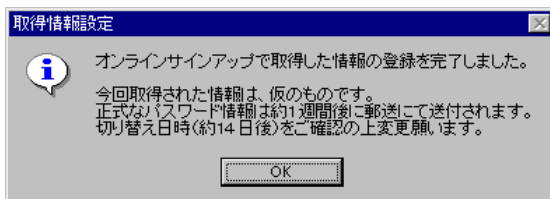
**2** [取得情報設定]画面が表示されますので、確認後[はい]ボタンをクリックします。



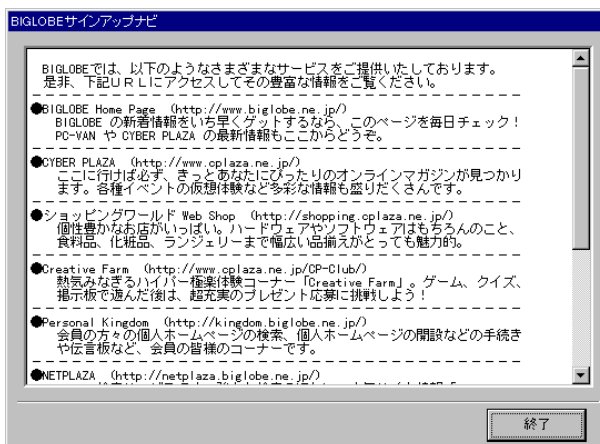
**3** 次の画面が表示されますので、[ OK ]ボタンをクリックしてください。



**4** 次の画面が表示されますので、[ OK ]ボタンをクリックしてください。



**5** BIGLOBEのご紹介の画面が表示されますので、読まれた方は[ 終了 ]ボタンをクリックしてください。





オンラインサインアップ中に「コンピュータを再起動しますか」というメッセージが表示されても「はい」ボタンをクリックしないでください。

これで、インターネットに接続するための設定が完了しました。



- ・ サインアップ直後にはBIGLOBEサービスをまだご利用できません。この場合30分程待ってから再度接続してみてください。
- ・ サインアップで取得したパスワードは仮のものです。仮パスワード期間中はご利用になれないサービスがありますのでご了承ください。正式なパスワード情報(会員証)は約1週間後に郵送にて送付いたします。切り替え日時(約14日後)をご確認の上、変更願います。  
なお、切り替え日時前でも、会員証がお手元に届き次第、正式なパスワードにてご利用いただけます。

## インターネットに接続する ～インターネットエクスプローラ.....

インターネットに接続するための設定が完了したら、実際に接続してみましょう。  
ここではインターネットに接続して、「98 INFORMATION」のページを見ます。

### (1) インターネットエクスプローラの起動

- 1** [インターネットエクスプローラ] を起動します。以下のいずれかの方法で起動します。
- ・ [インターネット&パソコン通信]グループの[インターネットエクスプローラ] をクリック
  - ・ [スタート]メニュー - [プログラム] - [インターネット&パソコン通信] - [インターネットエクスプローラ] をクリック
  - ・ デスクトップ上の[インターネット] アイコンをダブルクリック



[インターネットお気に入り]グループの[NECグループ]フォルダの[98インフォメーション] をクリックすると、直接98Informationのページを見ることができます。  
手順4へ進んでください。

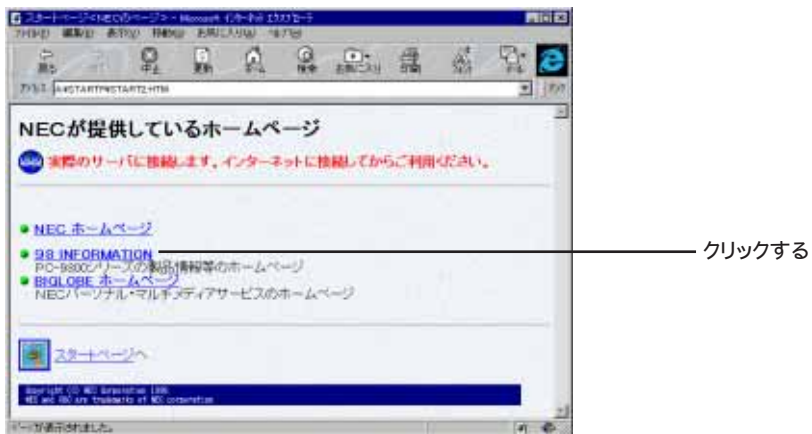


デスクトップ画面から[インターネット] アイコンをダブルクリックして起動すると、インターネット接続ウィザードが起動する場合があります。その場合、デスクトップ画面上の[インターネット] アイコンからインターネットエクスプローラを起動するためには、「インターネットに接続するための詳細な設定を行う～インターネット接続」の設定を先に行ってください。

- 2** [インターネットエクスプローラ]が起動して、「ようこそ98インターネットの世界へ」のページが表示されます。[ NECのページ ]をクリックします。



- 3** 次の画面が表示されますので、[ 98 INFORMATION ]をクリックします。



[ 接続 ]画面が表示されます。

- 4** パスワードが入力されていない場合は、あなたのパスワードを入力してください。入力したら、[ ダイアルのプロパティ ]ボタンをクリックします。



既にPC-VANのユーザIDを持っており、BIGLOBEサインアップをしないでインターネットに接続(ダイヤルアップIP接続)する場合、各項目を入力する際には以下の点に注意してください。

- ・ [ ユーザー名 ]  
PC-VANのユーザIDを小文字で入力してください。

- ・ [ パスワード ]  
ダイヤルアップIP接続用のパスワードは、PC-VANへ接続する際のパスワードとは異なります。  
はじめてダイヤルアップIP接続される場合は、会員証に書かれている本パスワードを入力してください。  
本パスワードで接続できない場合は、BIGLOBEカスタマーサポートへお問い合わせください。
- ・ [ 電話番号 ]  
アクセスポイント一覧の「ダイヤルアップIP接続(じっくり接続)」用の電話番号を入力してください。  
なお、PC-VAN接続(無手順接続)するときの電話番号ではインターネット接続(ダイヤルアップIP接続)はできません。  
最新のアクセスポイント一覧は、以下の方法で入手できます。
  - ・ PC-VAN上で入手  
PC-VANメインメニューから  
「会員のみなさまへ」「アクセスポイント一覧」「PC-VANアクセスポイント」を選択する
  - ・ FAX情報サービスから入手  
FAXにて下記にダイヤルし、音声ガイドに沿ってボックスナンバー [ 0400# ] を指定して ボックスメニュー一覧 をまず入手してください。  
東京:03-5445-2437    名古屋:052-569-1626  
金沢:0762-34-6570    大阪:06-920-4113  
福岡:092-533-1087

パスワードを入力



[ 接続 ] 画面で [ ダイヤルのプロパティ ] ボタンをクリックして、所在地情報を設定する手順は、初めてインターネットに接続する場合のみ必要です。2回目以降は、この手順は必要ありませんので手順7に進んでください。



本機では、ご購入時にはインターネットに接続する際の[ 接続 ]画面の[ パスワードの保存 ]チェックボックスは選択できません。

[ パスワードの保存 ]チェックボックスを有効にする方法については「Part 3 さらに使いこなす」の「インターネット接続の設定を変更する」をご覧ください。

- 5** [所在地情報]画面が表示されますので、[市外局番]にご使用になる場所の市外局番(東京の場合、3(先頭の0は入力しません))とダイヤル方法を入力してください。

- 6** [所在地情報]の画面で、[ OK ]ボタンをクリックします。

- 7** [接続]画面で、[ 接続 ]ボタンをクリックします。

次の画面が表示されます。



- ・接続に失敗した場合は、回線が混んでいることが考えられますので、しばらく時間を置いてから、もう一度 接続 ボタンを押してみてください。
- ・通信速度は、接続先のサーバや通信回線の状況によって接続するごとに変わります。

## 8 「98 INFORMATION」のページが表示されます。



インターネットエクスプローラのタイトルバー


実際の画面とは異なります

後は、マウスポインタが手の形になるところをクリックすれば、いろいろなページが表示されます。インターネットをお楽しみください。

インターネットエクスプローラの使い方については、「Part 2 インターネットを使いこなす」で説明します。

## (2) インターネットエクスプローラの終了(接続の終了)

ここでは、インターネットエクスプローラの終了方法と、接続の終了について説明します。

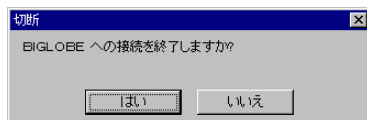
**1** [インターネットエクスプローラ]の右上のボタンをクリックします。



このボタンをクリックする

[インターネットエクスプローラ]が終了します。

**2** [切断]画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。



接続が終了(切断)しました。



接続を終了しないと、回線の使用料等の料金がかかり続けますので、ご注意ください。



# インターネットに接続するための詳細な設定を行う ～インターネット接続・・・・・・・・・・・・・・・・

[インターネット接続]を用いると、「BIGLOBEサインアップナビ」によって設定されたインターネットに接続するための詳細設定を確認することができます。  
また、Microsoft Exchangeを使う場合など、必要に応じて詳細設定を変更することもできます。

## 準備するもの

[インターネット接続]では、次の情報が必要になります。[BIGLOBEサインアップナビ]でメモした次の情報を用意しておきます。

- ・ ユーザID、仮パスワード、電子メールアドレス
- ・ インターネットメールサーバ
- ・ プライマリDNS
- ・ セカンダリDNS



BIGLOBEカスタマーサポートより郵送されてくる会員証を見ながら設定する場合は、次のように読みかえて設定してください。

- |                  |           |
|------------------|-----------|
| ・ ユーザー名( ユーザID ) | ユーザ ID    |
| ・ パスワード          | (本)パスワード  |
| ・ メールアドレス        | 電子メールアドレス |
| ・ メールパスワード       | パスワード     |

メモを忘れた場合も、[BIGLOBEサインアップナビ]を再起動して、[登録内容確認]ボタンをクリックすることで、ID情報やアクセスポイントを確認することができます。

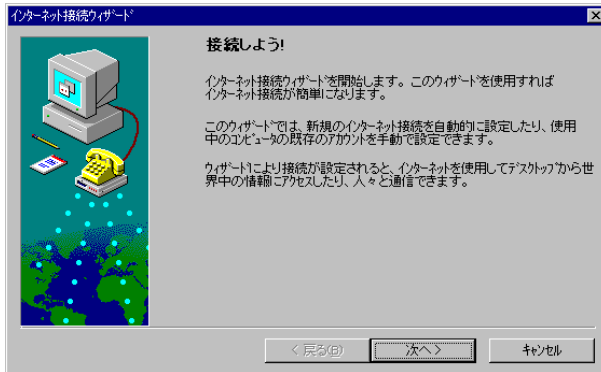
## [インターネット接続]の起動

**1** [インターネット接続]は、次の方法で起動します。

- ・ [インターネット&パソコン通信]グループの[設定/サインアップ]フォルダの[インターネット接続]をクリック
- ・ [スタート]メニュー - [プログラム] - [インターネット&パソコン通信] - [設定/サインアップ] - [インターネット接続]をクリック

これ以降で、前の画面に戻って設定を変更したい場合は、[戻る]ボタンをクリックしてください。

## 2 [次へ] ボタンをクリックしてください。



[次へ] ボタンをクリックしたときに、[インターネット接続ウィザード] の画面が  
かくれてしまうことがあります。その場合には画面下のタスクバーにある  
インターネット接続ウィザード をクリックしてください。[インターネット接続ウィザード]  
の画面が表示されるようになります。

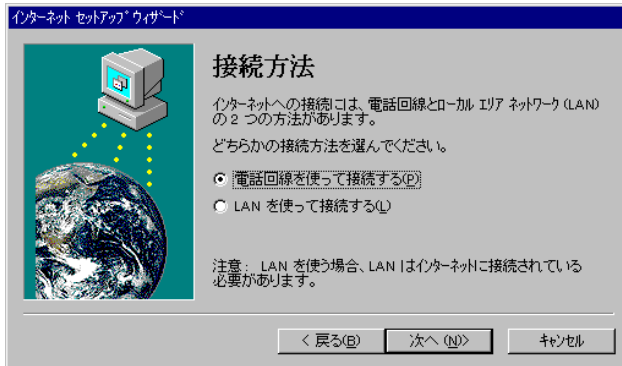
## 3 次の画面が表示されますので [手動] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



## 4 次の画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。



- 5 [ 接続方法 ] 画面が表示されます。ここで [ 電話回線を使って接続する ] が選択されていることを確認して、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



手順6 ~ 9は表示されない場合があります。

- 6 [ 接続方法 ] 画面が表示されます。ここで [ 既にほかのサービスプロバイダのアカウントがある ] が選択されていることを確認して、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



- 7 [ インターネットメール ] 画面が表示されますので、ここで [ 行う(推奨) ] を選択して [ 次へ ] ボタンをクリックします。



- 8 [ファイルのインストール]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 9 [モデムの選択]画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 10 [サービスプロバイダ情報]画面が表示されます。サービスプロバイダ名の一覧から [BIGLOBE] をクリックします。選択したプロバイダが表示されているのを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



ここをクリックするとサービスプロバイダ名の一覧が表示される

- 11** [ 電話番号 ]の画面が表示されます。BIGLOBEの最寄りのアクセスポイントの電話番号が表示されていることを確認したら、[ 次へ ]ボタンをクリックします。



市外局番と電話番号を確認する

- 12** [ ユーザー名とパスワード ]画面が表示されます。オンラインサインアップで入手したあなたのユーザ名(ユーザID)と仮パスワードを入力します。表示されていないときは、入力してください。入力したら、[ 次へ ]ボタンをクリックします。



CAPSキー、カナキーが押されていないことを確認してユーザ名と仮パスワードを入力する

- 13** [ IPアドレス ]画面が表示されます。[ インターネットサービスプロバイダが自動的に割り当てる ]が選択されていることを確認して、[ 次へ ]ボタンをクリックします。



ここが選択されていることを確認する

- 14** [ DNSサーバーアドレス ]画面が表示されます。[ DNSサーバー ]にオンラインサインアップで入手したプライマリDNSのアドレスが表示されていることを確認してください。また、[ 別のDNSサーバー ]にもオンラインサインアップで入手したセカンダリDNSのアドレスが表示されています。

もし、入手したものと違う場合は、正しいアドレスを入力してください。



- 15** 正しいアドレスが入力されていることを確認して、[ 次へ ]ボタンをクリックします。

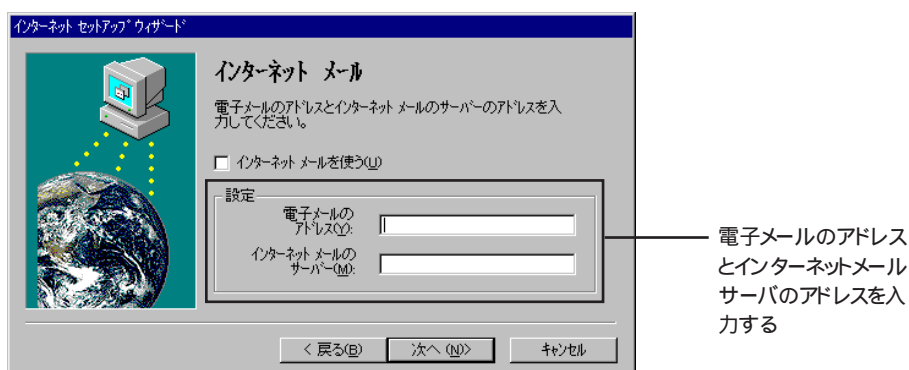
- 16** [ インターネットメール ]画面が表示されます。インターネットメールを利用する場合は [ インターネットメールを使う ]のチェックボックスをクリックして、チェックをつけます。また、次のことを入力します。

[ 電子メールのアドレス ]

オンラインサインアップで入手した「電子メールアドレス」

[ インターネットメールのサーバー ]

オンラインサインアップで入手した「インターネットメールサーバ」



ここでのインターネットメールの設定はMicrosoft Exchangeに反映されませんが、Microsoft Internet Mailには反映されません。

## 17 入力したら、[ 次へ ] ボタンをクリックします。

[ Windows Messaging のプロファイル ] 画面が表示されます。インターネットメール用に使用するプロファイルを新規に作成しますので、[ インターネットメールの設定 ] が選択されていることを確認して、[ 新規作成 ] ボタンをクリックします。



上記の [ Windows Messaging のプロファイル ] の画面が表示されなかった場合は手順19にすすんでください。

## 18 入力したら、[ 次へ ] ボタンをクリックします。



[ 設定完了 ] 画面の前に、[ Exchange プロファイル ] 画面が表示される場合があります。この場合は、[ 次へ ] ボタンをクリックして、画面の指示にしたがってください。

## 19 [ 設定完了 ] 画面が表示されます。[ 完了 ] ボタンをクリックしてください。



# 英語のページを見る～翻訳アダプタ .....

インターネットでいろいろなページをみていくと、外国のホームページや、英語で書かれているページにたどりつくことがあります。このような場合でも、本機にインストールされている翻訳アダプタを使って、簡単に日本語に翻訳できます。



[ 翻訳アダプタ ヘルプ ] を起動すると、[ 翻訳アダプタ ] を使った翻訳の方法や注意事項を見ることができます。[ 翻訳アダプタ ヘルプ ] は、[ 書庫 ] グループのヘルプフォルダの[ 翻訳アダプタ ヘルプ ] をクリックして起動します。お使いになる前にご覧ください。

## 翻訳を行う

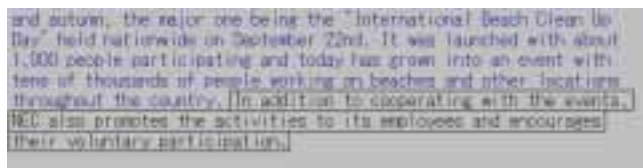
**1** [ 翻訳アダプタ ] を起動します。以下のいずれかの方法で起動してください。

- ・ [ インターネット&パソコン通信 ] グループから [ 翻訳アダプタ ] をクリック
- ・ [ スタート ] メニュー - [ プログラム ] - [ インターネット&パソコン通信 ] - [ 翻訳アダプタ ] をクリック

次のようなウィンドウが表示されます。



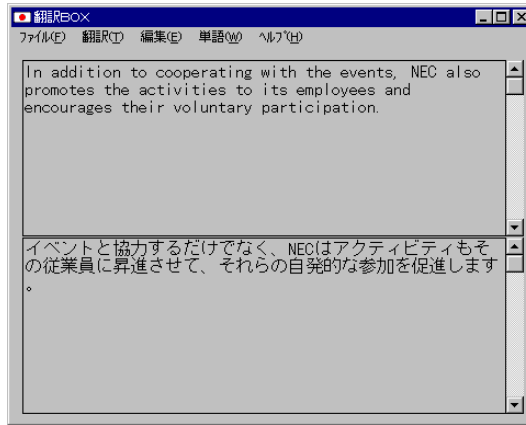
**2** インターネットのホームページや、他のアプリケーション上の翻訳したい文字列をマウスドラッグ(マウスの左ボタンを押しながらマウスを動かす)で選択します。選択する文字列は複数文を含んでいてもかまいません。





### 3 マウスの右ボタンをクリックします。

しばらくすると、[ 翻訳BOX ] の上段に原文、下段に訳文が表示されます。



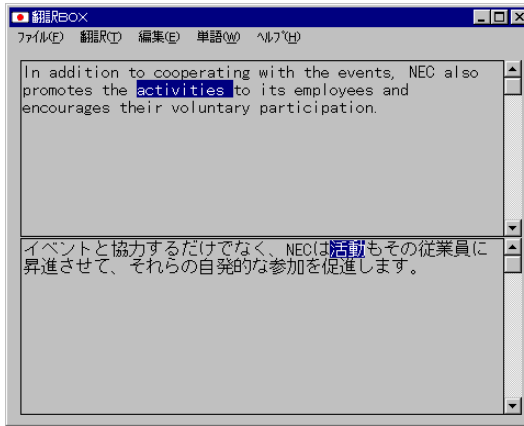
## 訳語を置換する

翻訳結果を修正したい場合は、他の訳語候補を表示したり、訳語の置換を行うことができます。

- 1 [ 翻訳BOX ] の置換したい訳語 (下の図では activities ) をダブルクリックします。
- 2 マウスの右ボタンをクリックして、訳語の候補を表示します。  
[ 辞書BOX ] に訳語の候補が表示されます。



- 3** [辞書BOX]の訳語を選択して、マウスの左ボタンをダブルクリックします。ここでは、「活動」をダブルクリックします。  
[翻訳BOX]の「アクティビティ」が「活動」に変わります。



置換した結果は、次回の翻訳に反映されません。翻訳時に使用する訳語を変更したい場合は、翻訳用辞書を編集する必要があります。  
辞書の編集については、ヘルプをご覧ください。

## [ 翻訳アダプタ ]を終了する

- 1** [ 翻訳アダプタ ]の [ Quit ] ボタンをマウスの左ボタンでクリックします。



このボタンをクリックする



- [ はい ] ボタンをクリックします。  
[ 翻訳アダプタ ] が終了します。



## Part 2

# インターネットを 使いこなす

ここでは、本機にインストールされているインターネットエクスプローラを利用する方法について説明しています。

また、「BIGLOBE」以外のプロバイダと接続する方法も説明しています。

# インターネットエクスプローラを使う ～ Microsoft Internet Explorer

ここでは、インターネットエクスプローラの基本的な使い方について説明します。



インターネットエクスプローラのさらに詳しい使用方法については、インターネットエクスプローラのヘルプをご覧ください。

## ページを表示する.....

インターネットエクスプローラに表示されたページの上にマウスポインタを移動すると、マウスポインタが手の形に変わります。このとき、マウスをクリックすると、他のページに移動できます。

ほとんどの場合、境界線に色のついたグラフィックや下線のついた色付きの文字の場所にマウスポインタを移動すると、マウスポインタが手の形に変わります。そのままクリックするとそのページに移動します。

また、URL (アドレス) を直接入力して特定のページに移動することもできます。

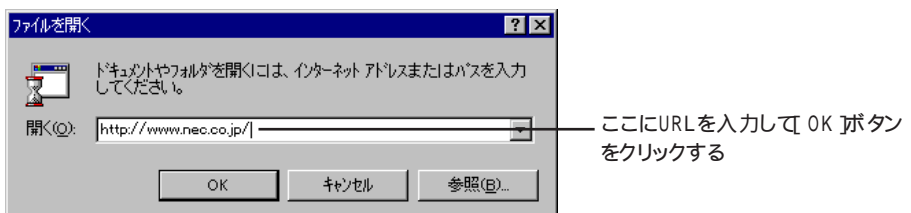
## URL(アドレス)を入力してページを表示する

次の2つの方法があります。

- ・ ツールバーの下の[ アドレス ]にURLを入力する



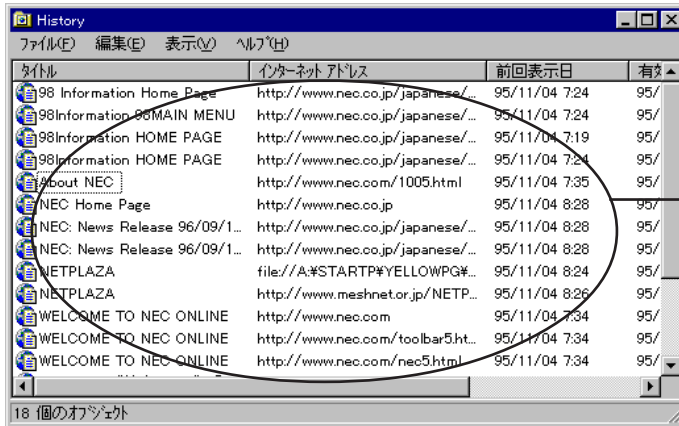
- ・ [ ファイル ]メニューの[ 開く ]をクリックして、URLを入力する



以前にインターネットに接続している場合は、[ 開く ]の ▾ ボタンをクリックすると、以前に移動したページのリストが表示されます。

## 以前に表示したページに戻る

- 1 [移動]メニューの[履歴のフォルダを開く]をクリックします。
- 2 一覧から、戻りたいページのアイコンをダブルクリックします。



この中から戻りたいページを選択する



履歴のフォルダの中のすべてのアイコンを削除する手順については、次のとおりです。

- 1 [表示]メニューの[オプション]をクリックします。
- 2 [オプション]画面で [ページ] タブをクリックします。
- 3 [履歴のクリア] ボタンをクリックします。

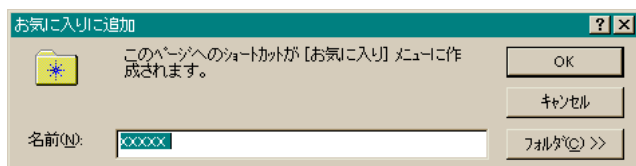
しかし、すべてのアイコンを削除できない場合があります。そのような場合は、次の手順で行います。

- 1 [移動]メニューの[履歴のフォルダを開く]をクリックします。
- 2 [History]画面で [編集]メニューの[すべて選択]をクリックします。
- 3 [ファイル]メニューの[削除]をクリックします。

## 好きなページを登録する

インターネットを探索していると、気に入ったホームページを発見したり、自分の興味のある事柄に関するホームページを発見することがあります。このようなときには、好きなホームページのURL(アドレス)を登録しておけば、いつでも見ることができます。登録の方法は次の通りです。

- 1 目的のページを表示します。
- 2 [お気に入り]メニューの[お気に入りに追加]をクリックします。
- 3 [お気に入りに追加]画面で名前を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[お気に入り]メニューに追加されますので、これをクリックすればいつでもこのページを表示できます。また、CEREBメニューの[インターネットお気に入り]グループにも自動的にアイコン登録され、以後そのアイコンをクリックすればこのページを表示できます。

## スタートページを表示する

本機では[インターネットエクスプローラ]を起動すると「ようこそ 98インターネットの世界へ」が表示されます。このように[インターネットエクスプローラ]を起動したときに最初に表示されるページをスタートページといいます。

### スタートページに戻る

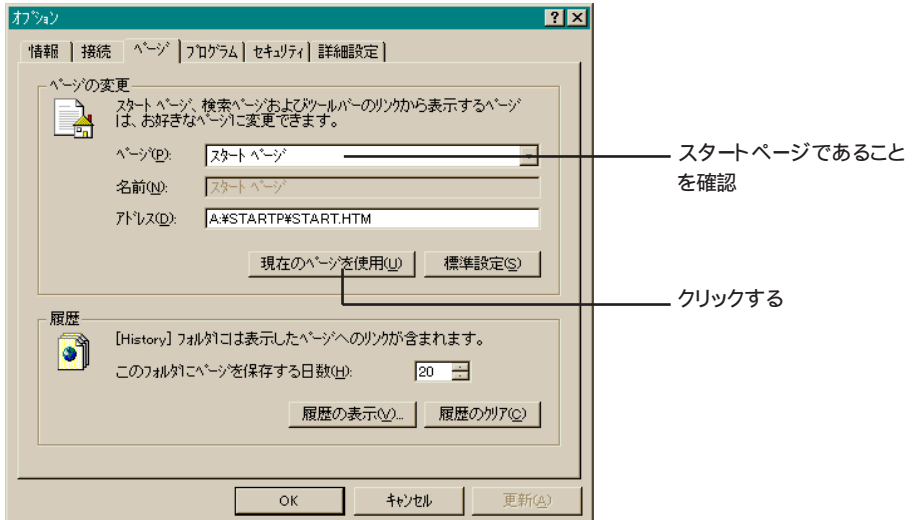
- 1 [ツールバー]の[戻る]ボタンをクリックします。  
スタートページを「ようこそ 98インターネットの世界へ」から、別のページに変更したい場合は、次の手順で行います。

### スタートページを変更する

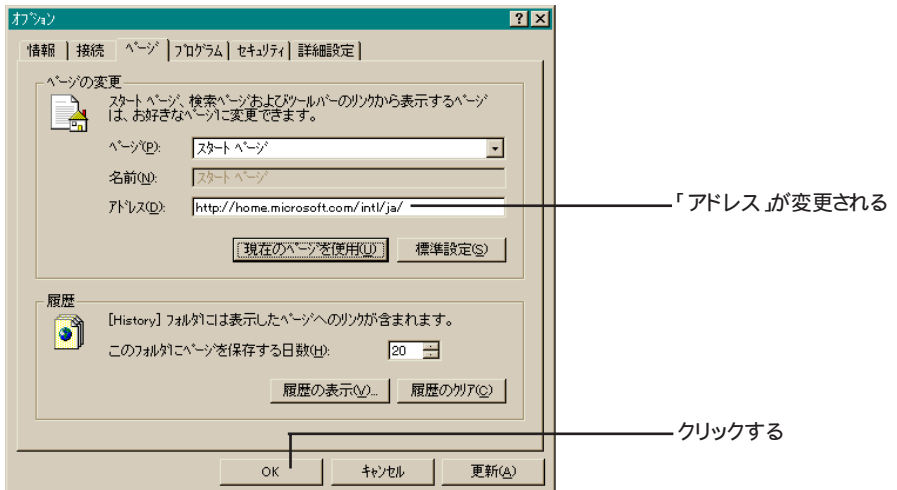
- 1 スタートページに設定したいページを表示します。
- 2 [表示]メニューの[オプション]をクリックします。



**3** [オプション]画面で[ページ]タブをクリックします。



**4** [ページ]が「スタートページ」であることを確認して、[現在のページを使用]ボタンをクリックします。  
[ページ]の下の[アドレス]が変わります。



**5** [OK]ボタンをクリックします。  
これで、次に[インターネットエクスプローラ]を起動すると、設定したページがスタートページになります。

## スタートページを元に戻す

スタートページを「ようこそ98インターネットの世界へ」に戻す場合は、次の手順で行います。

- 1 [表示]メニューの[オプション]をクリックします。
- 2 [オプション]画面で[ページ]タブをクリックします。
- 3 [ページ]が「スタートページ」であることを確認して、[アドレス]に次のように入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。

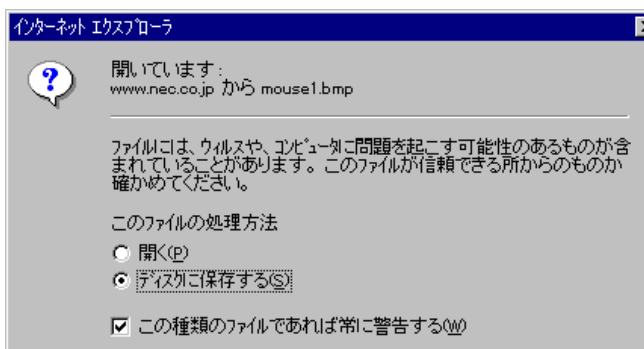
A: ¥STARTP¥START.HTM

## 情報入手する.....

インターネットを探索していて、入手したい情報(画像やサウンドファイル、プログラムなど)があったら、それを自分のコンピュータに保存することができます。

### 情報を保存する

- 1 保存したい情報があるページを表示します。
- 2 保存する情報をクリックします。
- 3 インターネット上のファイルを開く際に、次のメッセージが表示されます。



これは、コンピュータウイルスなどから、コンピュータを守るための警告で、ファイルの種類(BMPファイルやEXEファイルなど)により、表示されます。

ほとんど、そのまま開いたり、保存しても問題ありませんが、ネットワーク上のファイルを手入れする場合は、コンピュータウイルスに感染する可能性がありますので、十分注意してください。



定期的にウイルスチェックをすることをおすすめします。



- 4 「ディスクに保存する」を選択して[ OK ]ボタンをクリックします。
- 5 [ ファイル名を付けて保存 ]の画面でファイル名や保存する場所を入力して、[ 保存 ]ボタンをクリックします。

#### 例 画像データをファイルとして保存する場合

- 1 保存する画像のところにマウスポインタをおいて、右クリックします。  
表示されたメニューから[ 名前を付けて画像を保存 ]をクリックします。
- 2 [ 名前を付けて保存 ]ダイアログボックスが表示されますので、保存先を選んで、ファイル名をつけて保存してください。

# インターネットメールを使う 1 ~ Microsoft Exchange

ここでは、Microsoft Exchangeの基本的な使い方について説明します。



Microsoft Exchangeのさらに詳しい使用方法については、Microsoft Exchangeのヘルプをご覧ください。

## インターネットメール.....

### Microsoft Exchangeとは

Microsoft Exchangeを使って電子メールの送信メッセージ、ファイルの整理ができます。

### メールを使うための設定を行う



本機でインターネットメールを使用するには、[インターネット接続]でインターネットメールを使うよう設定する必要があります。

[インターネット接続]での設定については、Part 1の「初めてインターネットに接続する」の「インターネットに接続するための詳細な設定を行う~インターネット接続」をご覧ください。

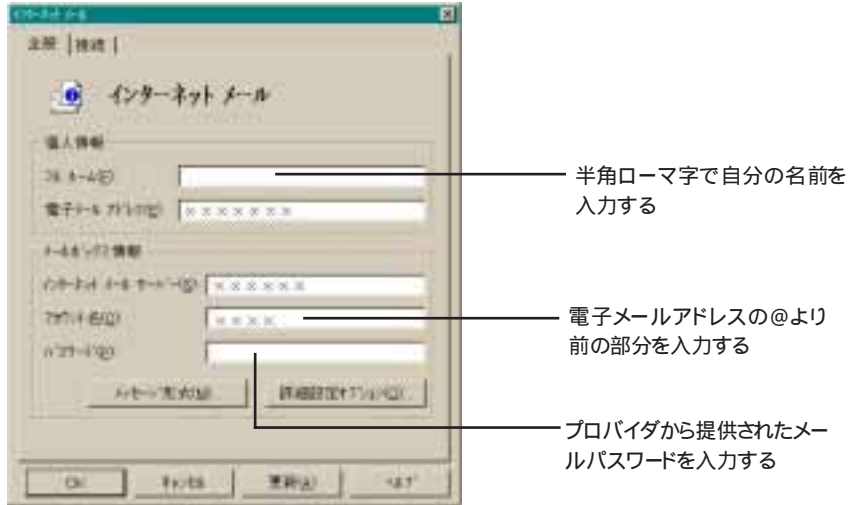
- 1 [書庫]グループの「ユーティリティフォルダ」の「コントロールパネル」をクリックします。または、[スタート]メニューの「設定」にある「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 [コントロールパネル]から「メールとファックス」を左ダブルクリックして起動します。
- 3 [インターネットメールの設定のプロパティ]画面で「インターネットメール」を選択して、[プロパティ]ボタンをクリックします。



クリックする

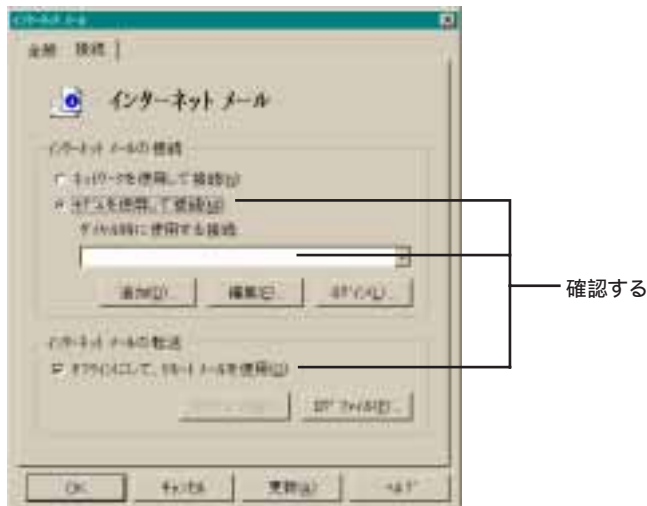


#### 4 [インターネットメール]の[全般]画面で次のことを入力します。



その他の項目は、インターネットセットアップウィザードで設定した内容が入力されていますが、正しく入力されていない場合は、入力しなおしてください。

#### 5 [接続]タブをクリックして、表示された画面で次の確認をします。



- ・ [モデムを使用して接続]が選択されていること
- ・ [ダイヤル時に使用する接続]にインターネットセットアップウィザードで選択した接続先が入力されていること
- ・ [オフラインにして、リモートメールを使用]にチェックが付いていること  
設定されていない場合は正しく設定しなおしてください。

#### 6 [OK]ボタンをクリックします。

- 7** [インターネットメールの設定のプロパティ]画面で、[OK]ボタンをクリックします。メールを使うための設定が完了しました。

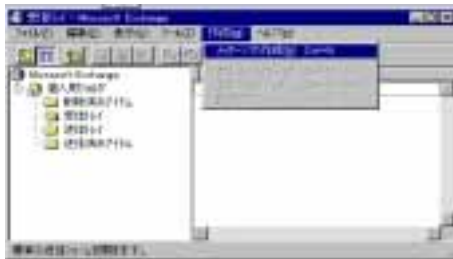
## メールを送る

インターネットでメールを送受信するにはMicrosoft Exchangeを使います。まず、自分宛てにメールを送ってみましょう。

- 1** [Microsoft Exchange]を起動します。以下の方法で起動してください。
- ・ [スタート]メニュー - [プログラム] - [Microsoft Exchange] をクリック
- 2** 初めて[Microsoft Exchange]を起動したときは、次の画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



- 3** [Microsoft Exchange]が起動したら、[作成]メニューの[メッセージの作成]を選択します。



- 4** 表示された画面でメッセージを作成します。[宛先]にはメールを送りたい相手のメールアドレスを入力します。ここでは自分のメールアドレスを入力してみましょう。また、[件名]にはメッセージの内容がわかるような題名を入力します。あとはメッセージを作成します。



- 5** メッセージを作成したら、メッセージを作成した画面の [ファイル] メニューから [送信] を選択します。  
作成したメールは [Microsoft Exchange] の [送信トレイ] に保存されます。

- 6** インターネットに実際に送信するには、[Microsoft Exchange] の [ツール] メニューから [サービス] を指定して [配信] を選択してください。  
プロバイダに接続して、新着メールを確認すると同時に、メールが送信されます。



インターネットメール以外のサービスが追加されている場合は、[ツール] メニューから [サービス] を指定して [配信] - [インターネットメール] を選択してください。

## メールを読む

自分宛てに届いたメールを読むには次の手順を行います。

- 1** [Microsoft Exchange] の [ツール] メニューから [配信] - [インターネットメール] を選択します。  
プロバイダに接続して、メールを受信します。しばらくお待ちください。



インターネットメール以外のサービスが追加されている場合は、[ツール] メニューから [サービス] を指定して [配信] - [インターネットメール] を選択してください。

- 2** 受信したメールは [Microsoft Exchange] の [受信トレイ] に入りますので [受信トレイ] を表示し、読みたいメールをダブルクリックします。

# インターネットメールを使う2 ~Microsoft Internet Mail

ここでは、Microsoft Internet Mailの基本的な使い方について説明します。



Microsoft Internet Mailのさらに詳しい使い方については、Microsoft Internet Mailのヘルプをご覧ください。

## インターネットメール.....

### Microsoft Internet Mailとは

Microsoft Internet Mailを使うと、インターネットに接続している人々と電子メールメッセージを交換することができます。

### メールを使うための設定を行う

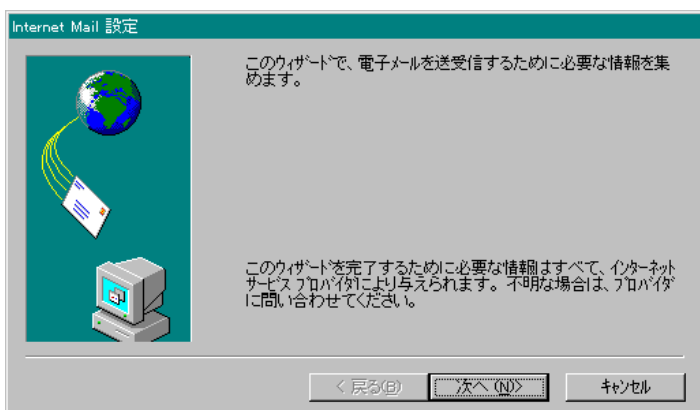


本機でインターネットメールを使用するには、[インターネット接続] または [BIGLOBEサインアップナビ] でインターネットメールを使うよう設定する必要があります。

[インターネット接続]での設定については、Part 1の「初めてインターネットに接続する」の「インターネットに接続するための詳細な設定を行う~インターネット接続」をご覧ください。

### 1 インターネットメールを起動します。以下のいずれかの方法で起動してください。

- ・ [インターネット&パソコン通信]グループの [Internet Mail] をクリック
- ・ [スタート]メニュー - [プログラム] - [インターネット & パソコン通信] - [Internet Mail] をクリック



### 2 [次へ] ボタンをクリックしてください。



- 3** [Internet Mail設定]画面で名前とプロバイダから与えられた電子メールアドレスを入力し、正しければ「次へ」をクリックします。

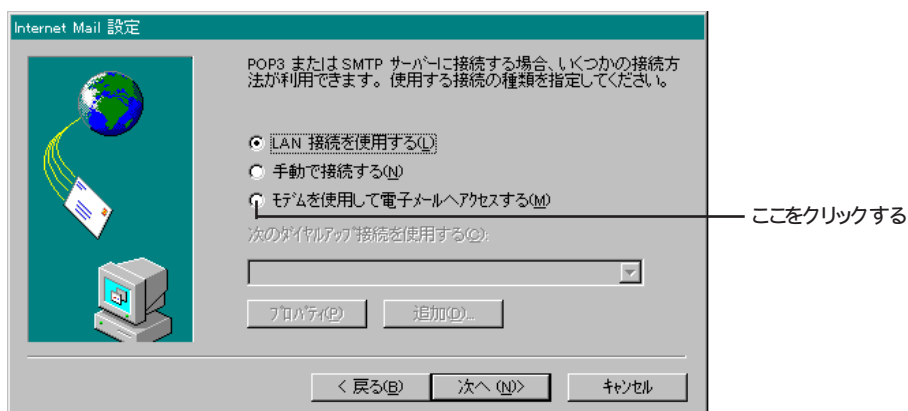
半角カタカナは  
使用しないでく  
ださい

ここにプロバイ  
ダから提供され  
たメールアドレス  
を入力する

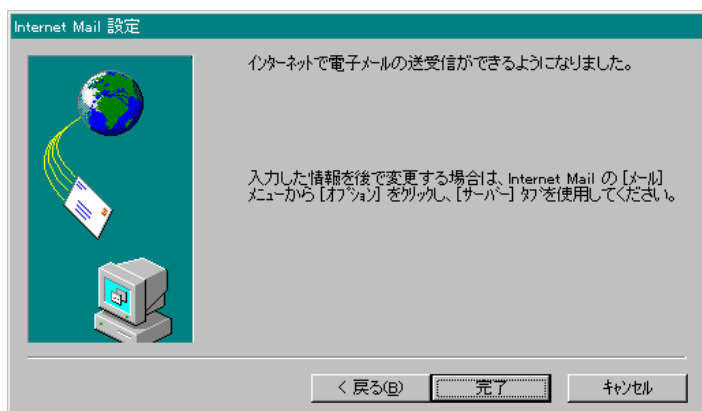
- 4** 電子メールを送受信するためにメールサーバー名をそれぞれ入力し、「次へ」をクリックします。

- 5** 受信サーバーに接続するために、プロバイダから与えられた電子メールアドレスとメールアドレスとパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

- 6** サーバーへの接続方法を選択します。ここでは[モデムを使用して電子メールへアクセスする]を選択し、どのダイヤルアップ接続を使用するのか選択して[次へ]をクリックします。



- 7** 以上で電子メールの送受信ができるようになりました。[完了]ボタンをクリックします。

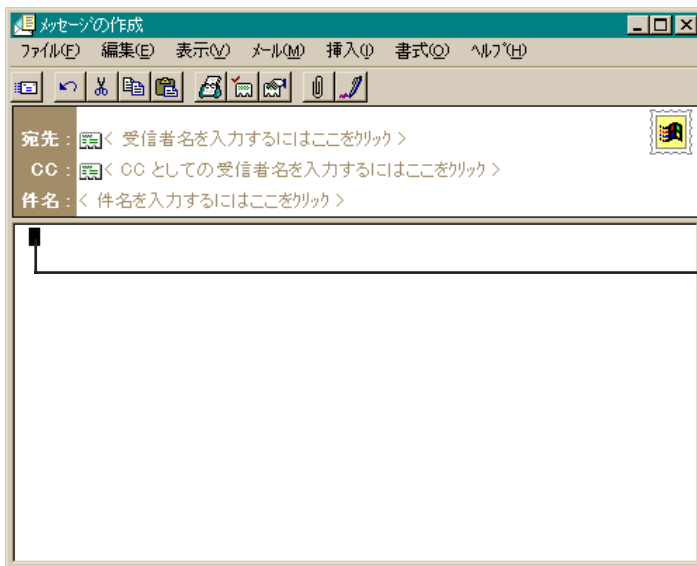




## メールを送る

インターネットでメールを送受信するには Microsoft Internet Mail を使います。

- 1 [インターネット&パソコン通信]グループにある[Internet Mail]をクリックします。  
[Internet Mail]の画面が表示されます。
- 2 [メール]メニューの[メッセージの作成]をクリックします。



- 3 [宛先]ボックスにメッセージの送り先の名を入力します。複数の名前を指定する場合は、半角のセミコロン (;) で区切ります。  
メッセージのコピーをほかの人に送る場合は[CC]ボックスに送り先の名を入力します。複数の名前を指定する場合は、半角のセミコロン (;) で区切ります。
- 4 [件名]ボックスにメッセージのタイトルを入力します。
- 5 メッセージの本文を入力します。



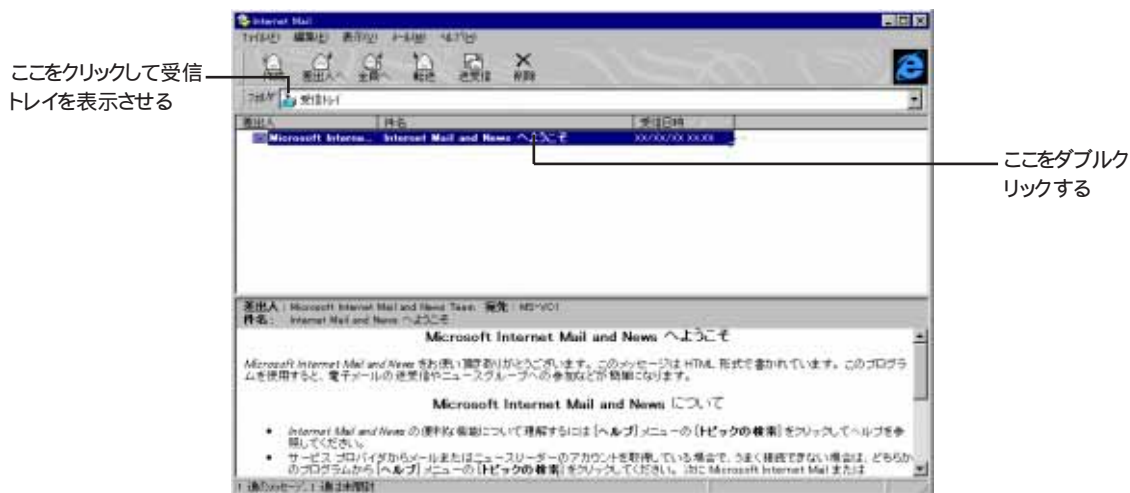
メッセージにファイルを添付するには[挿入]メニューの[添付ファイル]をクリックし、添付するファイルを指定します。

- 6 メッセージを作成したら[ファイル]メニューの[送信]をクリックします。作成したメールは送信トレイに入ります。
- 7 [メール]メニューの[送受信]をクリックします。  
プロバイダに接続して新着メールを確認すると同時に、メールが送信されます。

## メールを読む

自分宛てに届いたメールを読むには次の操作をします。

- 1** [メール]メニューの[送受信]をクリックします。プロバイダに接続してサーバに届いた自分宛のメールが受信されます。
- 2** メッセージの内容を別のウィンドウに表示したい場合は、メッセージ一覧で目的のメッセージをダブルクリックします。



- 3** プレビューウィンドウにメッセージを表示したい場合はメッセージ一覧で目的のメッセージをクリックします。

# インターネットニュースを使う ～ Microsoft Internet News

ここでは、Microsoft Internet Newsの基本的な使い方について説明します。



Microsoft Internet Newsのさらに詳しい使い方については、Microsoft Internet Newsのヘルプをご覧ください。

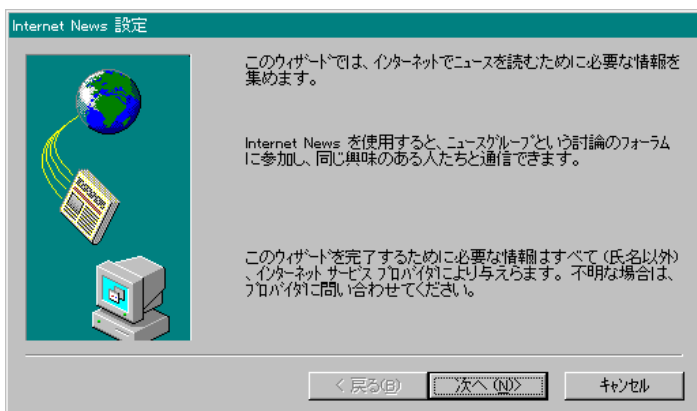
## ニュースグループ.....

インターネットエクスプローラでニュースグループ (NetNews) に接続して、さまざまな意見や情報の交換をすることができます。

### ニュースグループを読むための設定をする

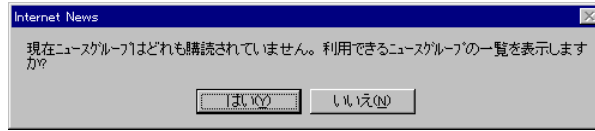
**1** [ Internet News ] の設定をします。以下のいずれかの方法で起動してください。

- ・ [ インターネット & パソコン通信 ] グループの Internet News をクリック
- ・ [ スタート ] メニュー - [ プログラム ] - [ インターネット & パソコン通信 ] - [ Internet News ] をクリック





すでに「Internet News」の設定が終了している場合は、次の画面が表示される場合があります。



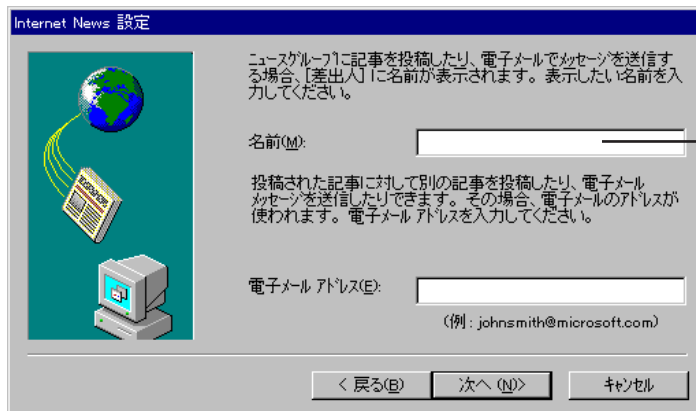
「はい」ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。



ユーザーIDとパスワードを入力して「OK」ボタンをクリックしたら、以降の「ニュースグループを読む」の手順に進んでください。

**2** 「Internet News設定」画面が表示されたら「次へ」をクリックします。

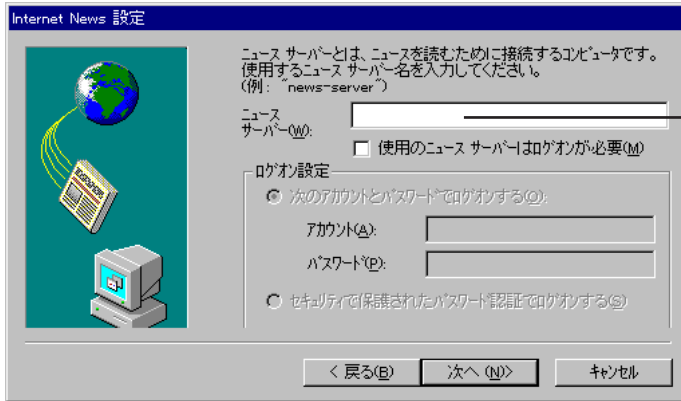
**3** 「差出人」の名前と電子メールアドレスを設定します。表示したい名前、プロバイダから与えられた電子メールアドレスをそれぞれ入力し、「次へ」をクリックします。



半角カタカナは使用しないでください



**4** ニュースを読むためのニュースサーバ名を入力し、[ 次へ ] をクリックします。



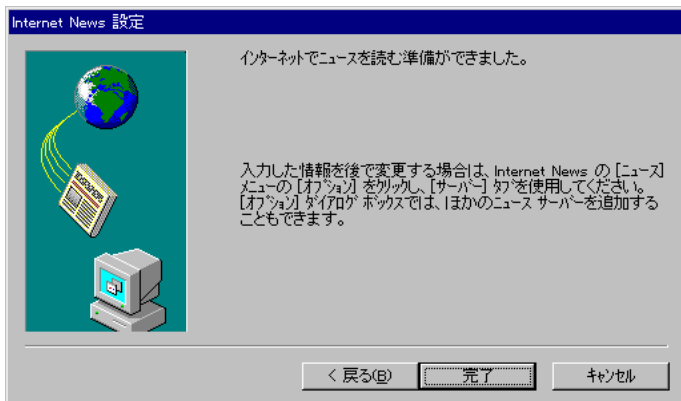
ここにサービスプロバイダからもらったニュースサーバのアドレスを入力する

**5** サーバーへの接続方法を選択します。ここでは、[ モデムを使用してニュースグループにアクセスする ] を選択し、どのダイヤルアップ接続を使用するか選択して、[ 次へ ] をクリックします。



ここをクリックする

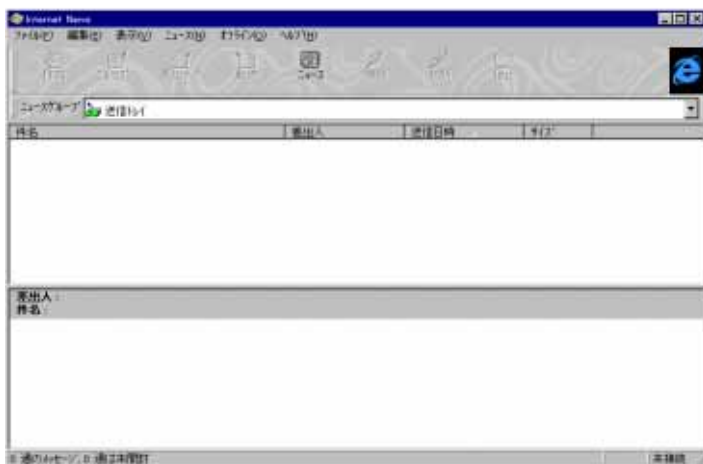
**6** これでインターネットでニュースを読む設定ができました。[ 完了 ] をクリックします。



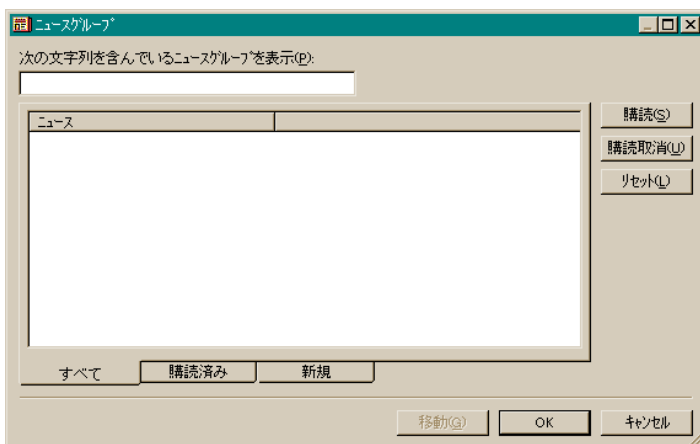
**7** この後、インターネットに接続し、利用できるニュースグループの一覧をダウンロードします(しばらく時間がかかります)

## ニュースグループを読む

- 1 [ スタート ]メニューの[ プログラム ]-[ インターネット&パソコン通信 ]にある [ Internet News ]をクリックします。  
[ Internet News ]の画面が表示されます。



- 2 画面で [ ニュース ]メニューの [ ニュースグループ ]をクリックします。



- 3 [ ニュース サーバー ]ボックスが表示された場合は、サーバーをクリックします。



名前に特定の文字列が含まれているニュースグループを検索するには、[ 次の文字列を含んでいるニュースグループを表示 ]ボックスに目的の文字列を入力します。

- 4 購読するニュースグループをクリックし、[ 購読 ]ボタンをクリックします。  
ニュースグループの購読を取り消すには、目的のニュースグループをクリックし、[ 購読取消 ]ボタンをクリックします。  
購読するニュースグループを選択し終わったら、[ OK ]ボタンをクリックします。

- 5 ニュースグループで読みたいグループを選択します。
- 6 読みたい記事の件名をクリックします。

## 記事を投稿する

- 1 [ Internet News ]の画面で[ ニュース ]メニューの [ ニュースグループへのメッセージ作成 ] をクリックします。



- 2 ほかのニュースグループにメッセージを投稿する場合は[ ニュースグループ ]ボックスに名前を入力します。複数の名前を指定する場合は、半角のセミコロン (;) で区切ります。



投稿するニュースグループを一覧から選ぶには、メッセージ ウィンドウで[ ニュース ]メニューの [ ニュースグループの選択 ] をクリックします。次に、左の一覧で目的のニュースグループをクリックし、[ 追加 ] ボタンをクリックします。左の一覧には、左下の[ 購入ニュースグループのみを表示する ]アイコンをクリックして購読しているニュースグループだけを表示することも、すべてのニュースグループを表示することもできます。

- 3 [ 件名ボックス ]に件名を入力します。
- 4 メッセージの本文を入力します。
- 5 [ ファイル ]メニューの [ メッセージの投稿 ] をクリックします。

# 契約プロバイダと接続する

本機には、NECの「BIGLOBE」と契約するための「BIGLOBEサインアップナビ」があらかじめ用意されています。

しかし、既にBIGLOBEや他社プロバイダと契約している場合などは、そのプロバイダと接続することもできます。

ここでは、契約済のプロバイダと接続する場合の設定について説明します。



プロバイダに接続する前に、事前に接続するプロバイダとオンラインサインアップ、または書類契約を行って、接続に必要な情報（ユーザー名、パスワード、メールアドレスなど）をもらってからプロバイダへの接続を行ってください。

## [インターネット接続]を使う.....

契約済のプロバイダと接続する場合は、[インターネット接続]を使用します。

### ・準備するもの

[インターネット接続]を使用して、プロバイダと接続する場合は、次の情報が必要になります。

これらの情報はプロバイダと契約すると、プロバイダから提供されます。あらかじめ用意しておいてください。

- ・ プロバイダの名前
- ・ プロバイダのアクセスポイントの電話番号
- ・ あなたのID(ユーザー名)とパスワード
- ・ DNSサーバーアドレス
- ・ 電子メールのアドレスおよびメールサーバーのアドレス

## インターネット接続の起動

**1** 電源をONにしてWindows 95を起動させます。

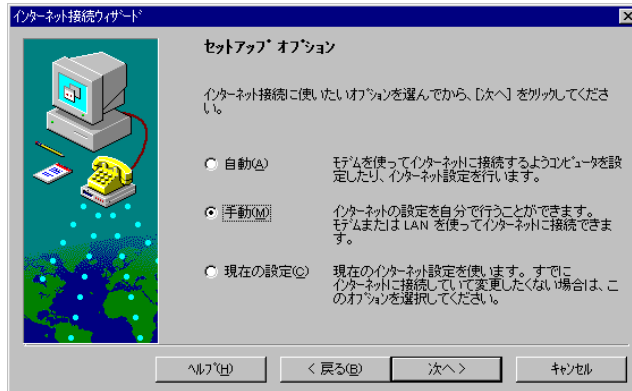
**2** [インターネット接続]を起動します。次の方法で起動してください。

- ・ [インターネット&パソコン通信]グループの[設定/サインアップ]フォルダの[インターネット接続]をクリック
- ・ [スタート]メニュー-[プログラム]-[インターネット&パソコン通信]-[設定/サインアップ]-[インターネット接続]をクリック





- 3 [インターネット接続] が起動します。[次へ] ボタンをクリックしてください。
- 4 [セットアップオプション] 画面が表示されます。[手動] を選択し、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 5 次の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 6 [接続方法] 画面が表示されます。ここで [電話回線を使って接続する] を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。以降、画面の指示にしたがってください。



前の画面に戻って設定を変更したい場合は、[戻る] ボタンをクリックしてください。



手順7～10は表示されない場合があります。

- 7** [ 接続方法 ]画面が表示されます。ここで [ 既にほかのサービスプロバイダのアカウントがある ]が選択されていることを確認して、[ 次へ ]ボタンをクリックします。



- 8** [ インターネットメール ]画面が表示されますので、ここで [ 行う(推奨) ]を選択して [ 次へ ]ボタンをクリックします。



- 9** [ ファイルのインストール ]画面が表示されますので、[ 次へ ]ボタンをクリックしてください。





- 10** [モデムの選択]画面が表示されたら、**[戻る]**ボタンをクリックして、ご使用になられている内蔵FAXモデムボードを選択します。選択したモデムが表示されているのを確認して、**[次へ]**ボタンをクリックします。
- 11** [サービスプロバイダ情報]画面が表示されたら、ご利用のプロバイダの名称を入力してから、**[次へ]**ボタンをクリックします。



- 12** [電話番号]の画面が表示されたら、契約しているプロバイダのアクセスポイントの電話番号を、市外局番と市内局番に分けて入力します。また、**[国番号]**には**日本**を選択します。**[次へ]**ボタンをクリックします。



このボタンをクリックすると一覧が表示される

- 13** [ユーザー名とパスワード]画面が表示されたら、プロバイダから提供されたあなたのID(ユーザー名)とパスワードを入力してください。入力したら、[次へ]ボタンをクリックします。



- 14** [IPアドレス]画面が表示されます。[インターネットサービスプロバイダが自動的に割り当てる]が選択されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



- 15** [DNSサーバーアドレス]画面が表示されたら、プロバイダから指定されたDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。入力したら、[次へ]ボタンをクリックしてください。





- 16** [インターネットメール]画面が表示されます。インターネットメールを利用する場合は [インターネットメールを使う]のチェックボックスをクリックして、チェックをつけます。また、次のことを入力します。

[電子メールのアドレス]

プロバイダから提供されたメールアドレス

[インターネットメールのサーバー]

プロバイダから提供されたメールサーバーのアドレス



入力したら、[次へ]ボタンをクリックします。



ここでの設定は、Microsoft Exchangeに反映されますが、Microsoft Internet Mailには反映されません。

- 17** [Windows Messagingのプロファイル]画面が表示されます。インターネットメール用に使用するプロファイルを新規に作成しますので、[インターネットメールの設定]が選択されていることを確認して、[新規作成]ボタンをクリックします。



**18** プロファイルを入力したら、[ OK ] ボタンをクリックします。



上記の [ Windows Messaging のプロファイル ] の画面は、初めてインターネットセットアップウィザードを起動した場合は表示されません。

**19** [ Windows Messaging のプロファイル ] の画面が表示されます。[ 次へ ] ボタンをクリックします。



[ 設定完了 ] 画面の前に、[ Exchange プロファイル ] 画面が表示される場合があります。この場合は、[ 次へ ] ボタンをクリックして画面の指示にしたがってください。

**20** [ 設定完了 ] 画面が表示されます。[ 完了 ] ボタンをクリックしてください。



**21** これで、設定は完了です。「Windowsを再起動します」のメッセージが表示された場合は、[ はい ] ボタンをクリックしてください。Windowsが自動的に再起動します。

このあと [ ダイアルのプロパティ ] の設定が必要です。

「Part 1 初めてのインターネット」の「初めてインターネットに接続する」をご覧ください。

これで、インターネットに接続するための設定が完了しました。

[ インターネットエクスプローラ ] を起動して、インターネットをお楽しみください。



## Part 3

# さらに使いこなす

インターネットに接続する場合、お使いの環境に合わせて設定を変更することができます。また、インターネットを利用したさまざまなアプリケーションを使うこともできます。ここでは、本機でできるさまざまな設定やその他のアプリケーションの利用方法について説明しています。

# インターネット接続の設定を変更する

インターネットに接続する際の設定の変更方法について説明します。

## アクセスポイントを変更する.....

アクセスポイントを変更したい場合は次の手順で行います。

- 1** 「契約プロバイダと接続する」の「インターネット接続の起動」の手順1～6を実行します。
- 2** [電話番号]の画面でアクセスポイントに設定したい電話番号を入力してください。
- 3** 後は画面の指示にしたがってください。

## 再セットアップ後に設定する.....

インターネット接続の設定完了後に再セットアップを行って、Windows 95や本機に添付のアプリケーションを購入時の状態に戻した場合、再セットアップ後に、もう一度インターネット接続のための設定を[インターネット接続]で行う必要があります。

「Part 2 インターネットを使いこなす」の「契約プロバイダと接続する」をご覧ください。

## [パスワードの保存]チェックボックスを有効にする.....

本機では、ご購入時にはインターネットに接続する際の[接続]画面の[パスワードの保存]チェックボックスは選択できません。



[パスワードの保存] チェックボックスを有効にするには以下の手順を行ってください。



システムの再起動を行いますので、アプリケーション等をすべて終了してから行ってください。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [コントロールパネル] 中の [ネットワーク] をダブルクリックすると [ネットワーク] の画面が表示されますので、[ネットワークの設定] タブの [追加] ボタンをクリックします。
- 3 [ネットワーク構成ファイルの追加] 画面が表示されたら、[クライアント] を選択し、[追加] ボタンをクリックします。
- 4 [ネットワーククライアント選択] の画面が表示されたら、製造元に「Microsoft」、ネットワーククライアントに「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
- 5 [ネットワーク] の画面が表示されますので、「現在のネットワーク構成」の中に「Microsoft ネットワーククライアント」が追加されていることを確認します。
- 6 [ユーザ情報] タブをクリックして、[OK] ボタンをクリックします。



コンピュータ名、ワークグループ名は特に変更する必要はありません。

- 7 システム設定の変更画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックして、システムの再起動をします。  
ユーザー名とパスワードを設定していない場合は以下の手順の項番2から4を行ってください。

これで、[接続] 画面で [パスワードの保存] チェックボックスが選択できるようになります。

また、表示されてもユーザー名とパスワードを設定していない場合は、次の手順で、[Windows 95パスワード] の設定をしてください。

- 1 電源をONにしてWindows 95を起動させます。
- 2 [Windowsパスワードの入力] 画面が表示されたら、[ユーザー名] に名前を入力します。  
また、[パスワード] を指定する場合は、パスワードを入力します。



パスワードは特に指定する必要はありません。また、ここで入力するパスワードはプロバイダから入手したパスワードとは関係ありません。

パスワードを指定した場合は、Windows 95を起動するたびに、パスワードの入力画面が表示されますので、パスワードを忘れないようにしてください。

パスワードを指定しない場合はWindows 95を起動するたびにパスワードの入力画面は表示されません。

98Timerを使用する時など、Windows起動時にパスワードの入力画面を表示したくないときはパスワードを設定しないでください。

---

**3** [Windowsパスワードの入力]画面で[OK]ボタンをクリックします。

**4** 「パスワードをもう一度入力してください」のメッセージが表示されます。

手順2でパスワードを指定した場合は、もう一度入力して[OK]ボタンをクリックします。

手順2でパスワードを指定しなかった場合は、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

これで[接続]画面でパスワードの保存[チェックボックス]が選択できるようになります。

# インターネット上で会議する ~ Microsoft NetMeeting

ここでは、Microsoft NetMeeting(以降ネットミーティング)の基本的な使い方について説明します。



ネットミーティングのさらに詳しい使い方については、ネットミーティングのヘルプをご覧ください。

ネットミーティングは、インターネット上、ローカルエリアネットワーク(LAN)上、またはモデムを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。ネットミーティングでは主催者と複数の参加者との間で開く会議上で、次のようなやり取りができます。

- ・相手に電話をかけて話すことができる。
- ・会議の参加者全員で同じアプリケーションを共有することができる。
- ・会議の参加者全員にメッセージを送ることができる。
- ・会議の参加者全員で同時に会議内容に変更を加えることができる。



- ・インターネットで利用する場合は、事前にプロバイダとの接続を済ませて自分や会議に参加する人の電子メールやIPアドレスが利用できるようにしておいてください。また、会話する場合はTCP/IPプロトコルが利用できる状態にしておいてください。
- ・ローカルエリアネットワーク(LAN)で利用する場合は、事前に他のコンピュータとのネットワーク上の接続を完了して、自分や会議に参加する人のコンピュータ名を確認しておいてください。
- ・モデム経由で利用する場合は、事前に他のコンピュータとの回線の接続を完了して、自分や会議に参加する人の電話番号を確認しておいてください。
- ・ネットミーティングで会話する場合は、マイクが必要になりますので本機に接続してお使いください。

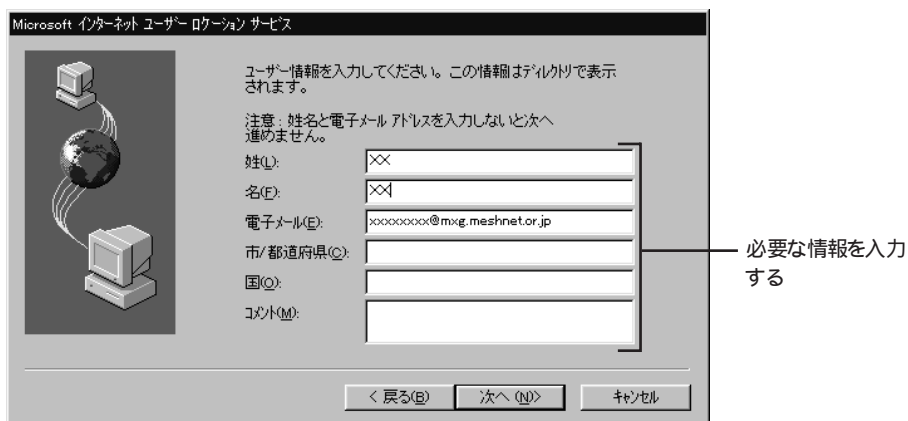
## 利用環境を設定する.....

初めてネットミーティングを起動すると「ネットミーティングセットアップウィザード」が起動して、ユーザ環境とオーディオ環境の設定を行います。

## ユーザ環境設定をする

初めてネットミーティングを起動すると、ユーザ環境の設定が開始されます。

- 1 電源をONにしてWindows 95を起動させます。
- 2 [Microsoft NetMeeting]を起動します。次の方法で起動してください。  
・[スタート]メニュー-[プログラム]-[Microsoft NetMeeting]をクリック
- 3 [Microsoft NetMeeting]のセットアップウィザードが起動します。[次へ]ボタンをクリックすると[Microsoft インターネットユーザーロケーションサービス]の個人情報を入力する画面が表示されます。



以下の情報を入力してください。

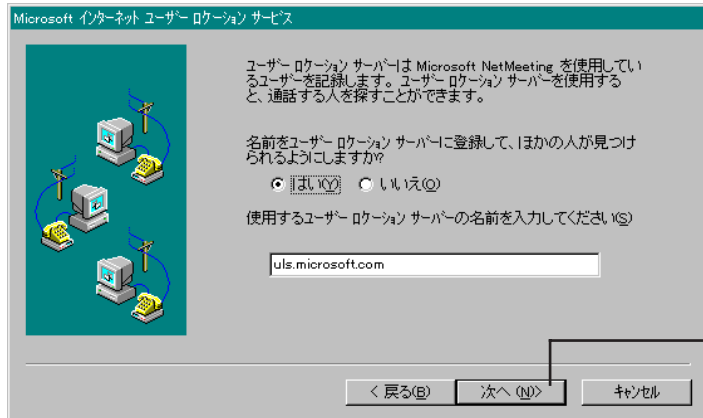
項目	内容
姓	自分の名字を入力します。
名	自分の名前を入力します。
電子メール	プロバイダから取得した電子メールのアドレスを入力します。 例：xxxxxxxx@mxg.meshnet.or.jp
市 / 都道府県	お住まいの都道府県名と市の名前を入力します。
国	ここでは“日本”を入力します。
コメント	自由にコメントを入力します。



ここではかならず姓名と電子メールアドレスを入力してください。




- 4** [次へ] ボタンをクリックしてください。  
ユーザーロケーションサーバーを設定する画面が表示されます。



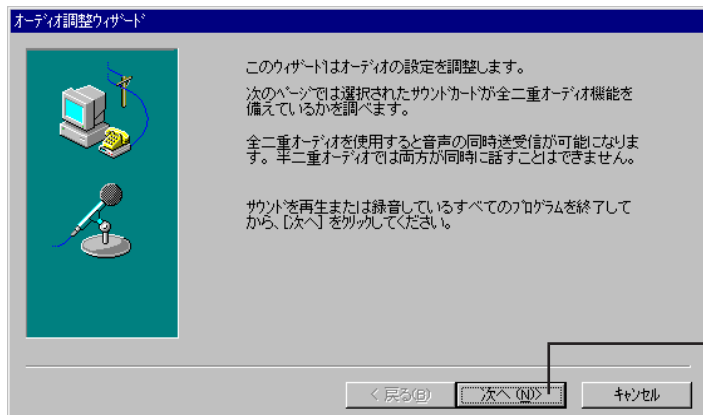
- 5** ユーザーロケーションサーバーの設定終了後、[次へ] ボタンをクリックします。  
オーディオ調整ウィザードが起動します。  
オーディオ調整ウィザードの設定方法については、次の「オーディオ調整ウィザードを使う」を参照してください。

## オーディオ調整ウィザードを使う

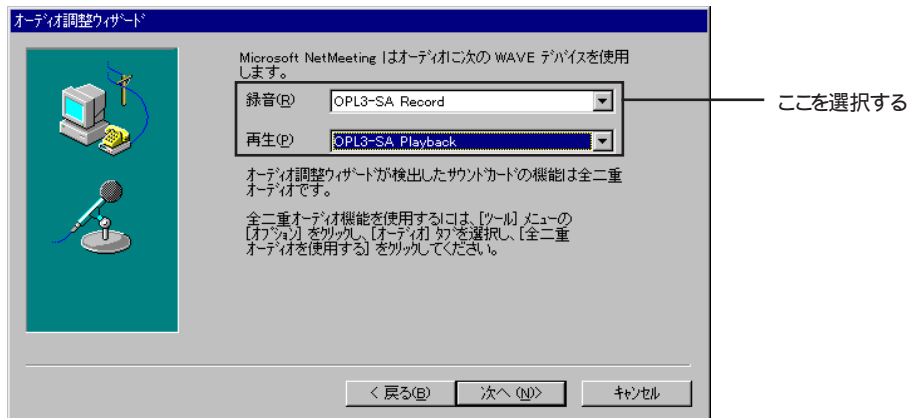
オーディオ調整ウィザードを実行して、電話を使用する際のWindows 95のオーディオの調整を行います。初めてネットミーティングを起動した場合は、ユーザ環境の設定後に自動的に起動します。

 オーディオ調整ウィザードを起動するには、[Microsoft NetMeeting]の画面の [ツール]メニューの[オーディオ調整ウィザード]を選択する方法もあります。

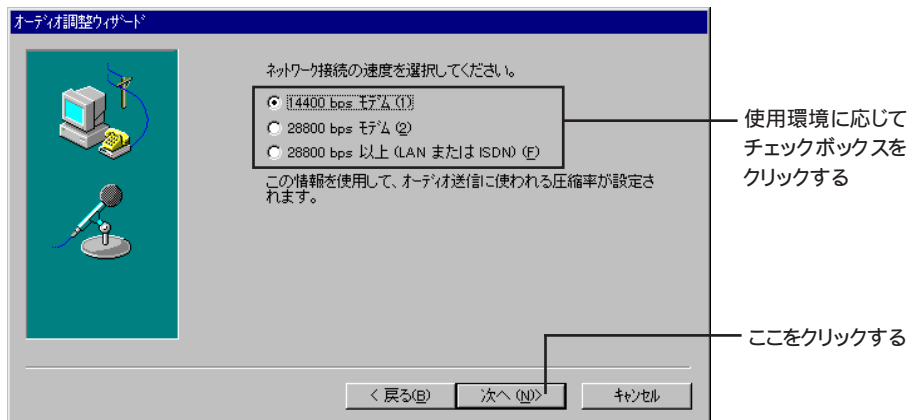
- 1** オーディオ調整ウィザードを起動します。  
[オーディオ調整ウィザード]画面が表示されます。



- 2** [次へ] ボタンをクリックします。  
WAVE デバイスの設定画面が表示されます。



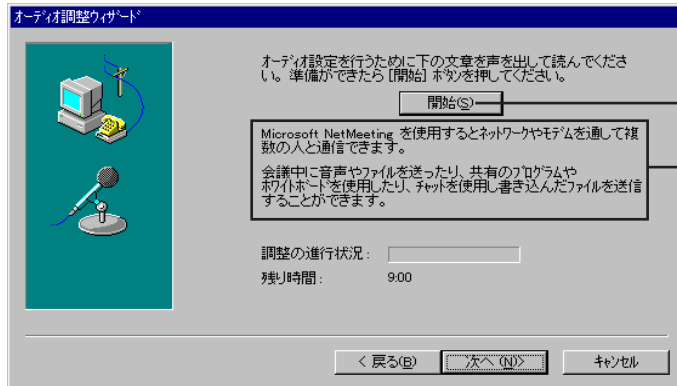
- 3** [録音][再生]のWAVEデバイスのリストから設定後、[次へ] ボタンをクリックします。ネットワーク接続速度設定画面が表示されます。



- 4** 利用するネットワーク接続の速度のチェックボックスをクリックした後、[次へ] ボタンをクリックします。  
オーディオ調整を行う画面が表示されます。



- 本機でご使用になる環境に応じて、ネットワーク接続の速度を選択してください。
- ・内蔵FAXモデムボード(33.6Kbps)、ローカルエリアネットワーク、ISDNボード、他の33.6Kbps以上のモデムをご利用の方は、[28800bps以上(LANまたはISDN)]を選択してください。
  - ・内蔵FAXモデムボード(28.8Kbps)、他の28.8Kbpsのモデムをご利用の方は、[28800bpsモデム]を選択してください。
  - ・他の14.4Kbpsのモデムをご利用の方は、[14400bpsモデム]を選択してください。

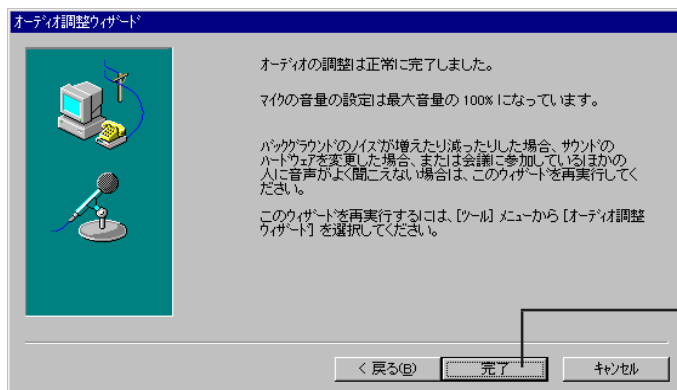


ここをクリックする

この文章を読み上げる

**5** マイクのスイッチをONにして、[ 開始 ] ボタンをクリックし、画面に表示されている文章を声に出して読んでください。オーディオの調整が開始されます。[ 調整の進行状況 ] が表示されます。

**6** オーディオの調整の終了後、[ 次へ ] ボタンをクリックします。オーディオの調整の完了を知らせる画面が表示されます。[ 完了 ] ボタンをクリックします。



ここをクリックする

これでオーディオ調整ウィザードが終了します。

全二重オーディオをご使用になる場合は、必ず次の設定を行ってください。

[ スタート ] メニューの [ 設定 ] から [ コントロールパネル ] をクリックし、[ マルチメディア ] のアイコンをダブルクリックします。

[ マルチメディアのプロパティ ] 画面が表示されますので、[ オーディオ ] タブの設定を次のようにします。

- ・ 再生の優先するデバイス: OPL3-SA Playback
- ・ 録音の優先するデバイス: OPL3-SA Record
- ・ 録音の優先する音質: 電話の音質

また、[ MIDI ] タブの [ MIDI 出力の単一の機器 ] を次のようにし、[ OK ] ボタンをクリックします。

- ・ MIDI 出力の単一の機器: YMF715 互換 FM Synthesizer

# 電話で話す.....

ネットミーティングでは、インターネット上で他のコンピュータに電話をかけて話すことができます。

## 電話をかける

- 1 話したい相手の通話先を「通話先」テキストボックスに入力、またはリストの一覧から選択します。




通話先の電子メールアドレス、IPアドレス、コンピュータ名、または電話番号を入力する

入力できる通話先は、次のとおりです。

- ・ インターネットを利用している場合  
電子メールアドレス 例：xxxxxxx@mxg.meshnet.or.jp  
IPアドレス 例：100.200.55.47
- ・ ローカルエリアネットワーク(LAN)を利用している場合  
コンピュータ名 例：P\_Methny
- ・ モデムで相手に直接接続して利用している場合  
電話番号 例：03-XXXX-XXXX(東京の場合)



話したい相手の通話先を短縮ダイヤルのショートカットにして、デスクトップなどに登録して簡単に電話をかけることもできます。短縮ダイヤルのショートカットの作成方法については、ヘルプを参照してください。

- 2  ボタンをクリックします。しばらくすると相手のコンピュータのベルが鳴り、相手が電話に出た場合は通話することができます。相手が電話に出た場合、マイクに向かって話してみてください。相手と自由に話すことができます。



[参加者]リストには接続した相手と自分の名前、接続状況、共有状況が表示されます。

相手が電話にでなかった場合、または相手が[XXからの電話を受信中]ウィンドウの[無視する]ボタンをクリックした場合は、回線が切れて、“通話先は通話を受け付けませんでした”というメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックしてください。



接続した相手先と自分  
が表示される

## かかってきた電話を受ける

- 電話がかかってくると、コンピュータのベルが鳴って、タスクバーのそばに[XXからの電話を受信中]ウィンドウが表示されます。電話を受けるには、[応答する]ボタンをクリックします。

かかってきた電話を受けない場合は、しばらく放っておくか、[無視する]ボタンをクリックします。電話回線が切れます。



電話を切る場合は、[通話]メニューの[回線を切る]を選択するか、[電話]ボタンをクリックします。[参加者]リストから参加者の名前がなくなります。



かかってきた電話を自動的に受けるには、以下の手順で行ってください。

- [ツール]メニューの[オプション]を選択します。  
[NetMeeting]のプロパティダイアログボックスが表示されます。
- 会議に参加していないときに自動的に電話を受ける場合は、[情報]タブの[会議に参加していない場合に自動的に応答する]チェックボックスをクリックしてオンにします。

会議に参加しているときに自動的に電話を受ける場合は、[情報]タブの[会議に参加している場合に自動的に応答する]チェックボックスをクリックしてオンにします。

- [OK]ボタンをクリックすると、かかってきた電話が自動的に受けられます。

# インターネットを効率よく活用する ～インターネットアクセスマネージャ

インターネットアクセスマネージャ( 接続管理 + オートパイロット 回線版 )( Windows95 版 )( Ver1.0 )には、以下の特徴があります。

## < 本製品の特長 >

### 接続時間管理・料金管理

インターネットアクセスにおいて、プロバイダと電話のおおよその使用時間・使用料金を自動的に計算し日単位・月単位で表示することができます。

あらかじめ設定しておいた接続時間・料金を超えたらアラーム通知を表示することができます。

表示される料金は目安です。実際の使用料と一致するものではありません。

### オートパイロット

指定したホームページを夜間等の電話料金が安い時間に自動巡回してデータをローカルディスクに格納することができます。その後、未接続の状態でも料金を気にせずに、しかもスピーディにホームページを見ることができます。

### オートダイヤル

あらかじめ指定しておいた接続先にワンタッチで自動接続・切断ができます。他に接続先を登録しておけばダイヤル先が混雑( ビジー )の際に自動的に次の接続先にダイヤルします。

### URL情報の登録・整理

URLに簡単なコメントを付けて登録することができます。チェックする頻度の高いURLを登録しておくことで便利です。フォルダを使って階層的にURL情報( URLとコメントを合わせた情報 )を整理することができます。

さらに本機では約100の著名なURLをあらかじめジャンルごとに登録しており、めんどろなURLの入力なしにマウスクリックだけでこれらのURLにアクセスすることができます。

### 使いやすい操作性

Windows95のエクスペローラと同様の画面、操作感覚で使用できます。また、ウィンドウサイズを最小化した場合には機能ボタンのみを集めた「ボタンバー」として使用することができます。

# 利用環境を設定する.....

インターネットアクセスマネージャの動作環境を設定します。起動後に次の事項を確認してください。

- ・ 接続先の確認
- ・ 接続先のユーザ名・パスワード、電話料金、プロバイダ料金の設定
- ・ WWWブラウザの確認

## 接続先を確認する

**1** インターネットアクセスマネージャを起動します。以下のいずれかの方法で起動してください。

- ・ [インターネット&パソコン通信]グループの[インターネットアクセスマネージャ]をクリック
- ・ [スタート]メニュー-[プログラム]-[インターネット&パソコン通信]-[インターネットアクセスマネージャ]をクリック

インターネットアクセスマネージャが起動して、[インターネットアクセスマネージャ]ウィンドウが表示されます。



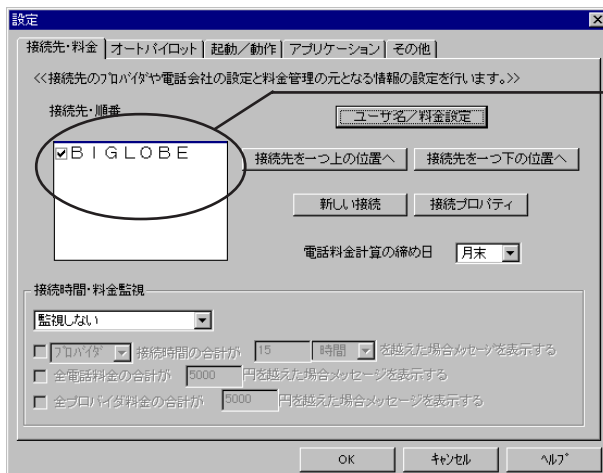
**2** メニューから[設定]をクリックします。

[設定]ダイアログボックスの[接続先・料金]タブが表示されます。

[接続先・順番]リストの中に、設定した「接続先」があることを確認します。

また、複数の接続先がある場合、全ての「接続先」があることを確認します。

Windows95のダイヤルアップネットワークに登録されている接続先が指定されているか確認します。



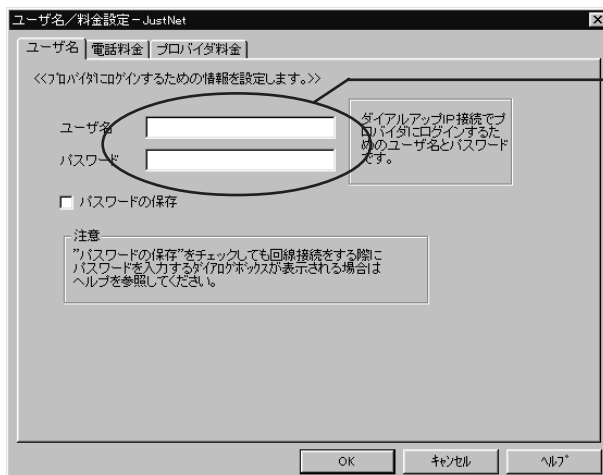
この中に「接続先」があることを確認する



ダイヤルアップネットワークは[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[ダイヤルアップネットワーク]を選択すると表示することができます。

## 各接続先の料金を設定する

- 1 [接続先・順番]リストの中の「接続先」をクリックして選択します。
- 2 [ユーザ名/料金設定]ボタンをクリックします。  
[ユーザ名/料金設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [ユーザ名]と[パスワード]に、接続先プロバイダの「ユーザ名」と「パスワード」が設定されていることを確認します。設定されていない場合は入力してください(次の画面の例ではユーザ名とパスワードが入っていません)



ユーザ名、パスワードが正しく入力されているか確認



出荷時の設定では「パスワードの保存」チェックボックスにチェックマークをつけても、パスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。「パスワードの保存」については「インターネット接続の設定を変更する」の「パスワードの保存」チェックボックスを有効にするをご覧ください。

**4** ユーザ名、パスワードの入力後、「電話料金」タブをクリックします。

**5** ここでは、電話料金の管理を行うために必要な「電話料金」の設定を行います。電話会社一覧および料金に関する項目の中から契約している電話会社の接続先までの距離・割引料金を選択します。



- ・ 接続先までの距離は電話帳などで調べてください。
- ・ 電話料金体系、割引料金は最新の情報を今一度、確認してください。



**6** 次に、「プロバイダ料金」タブをクリックします。

ここでは、プロバイダ料金の管理を行うために必要な「プロバイダ料金」の設定を行います。

**7** プロバイダの一覧の中から契約しているプロバイダを選択します。

ここで選択されたプロバイダの料金体系を自動的にインターネットアクセスマネージャに設定します。



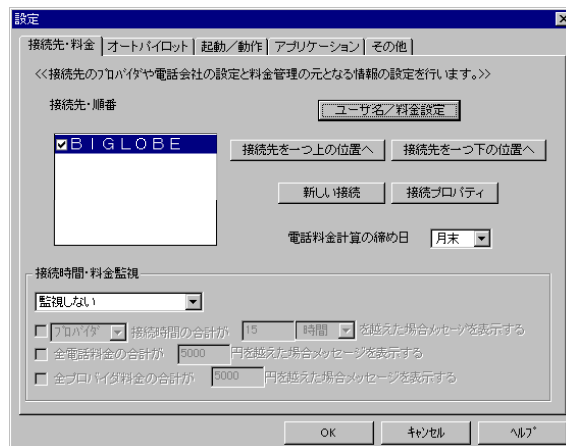
- ・ 一覧の中に契約しているプロバイダがない場合は、「プロバイダ」をクリックして「接続先」のプロバイダ名を入力して、下記の料金体系を設定します。
- ・ プロバイダの料金体系は変更されている可能性があります。最新の情報を今一度確認してください。

- 8** 最後に、[料金計算の締め日]の設定を行います。締め日の設定は、任意であり、必須ではありません。締め日はプロバイダ各社によって異なる“料金を計算する期間”を意味します。



例 4月分の料金 4月6日～5月5日までの使用料金の場合 締め日:5日

- 9** 締め日の設定が完了したら、[OK] ボタンをクリックします。
- 10** 次に表示される画面で[OK] ボタンをクリックします。
- 11** 再度、下記のような画面が表示されます。



- 12** この画面で今度は“電話料金の締め日”の設定を行います。設定の仕方は“プロバイダ料金の締め日”と同じです。
- 13** この後、[接続先・順番]リストにある他の“接続先”に関して、同様の手順で、ID、パスワード、電話料金、プロバイダ料金の設定を行います。これにより接続先ごとに料金管理ができます。



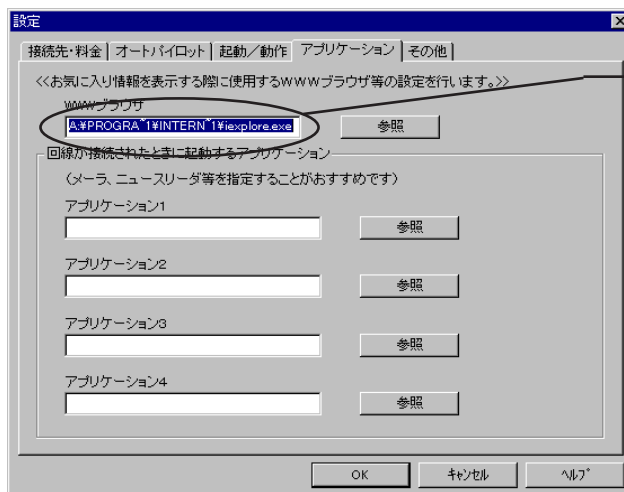
- ・プロバイダ・電話会社の料金設定が正しく設定されていない場合は、料金計算は正しく計算されませんので注意してください。
- ・プロバイダ・電話会社が料金改訂の場合は、お客様による再設定が必要になります。

**14** すべての接続先について設定が完了したら、[ OK ] ボタンをクリックしてください。

## WWW ブラウザを確認する

インターネットアクセスマネージャは、WWW ブラウザと密接に連携をとって動作します。したがって、連携をとるWWW ブラウザがインターネットアクセスマネージャに設定されている必要があります。

- 1** インターネットアクセスマネージャを起動します。メニューから [ 設定 ] を選択して [ アプリケーション ] タブをクリックします。



利用するWWWブラウザを確認する

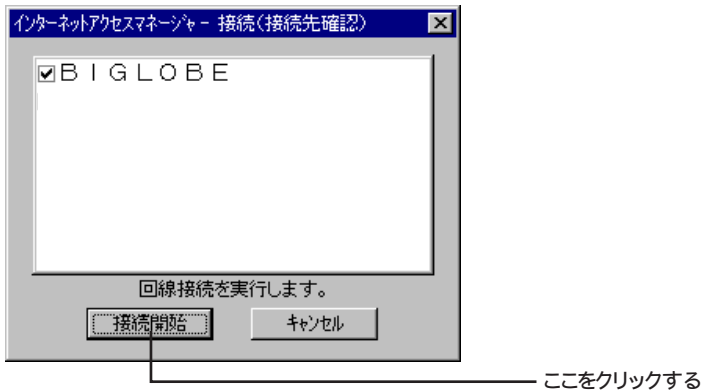
- 2** [ WWW ブラウザ ] にお使いのWWW ブラウザが登録されていることを確認してください。もし、登録されていない場合や別のWWW ブラウザを指定する場合は、[ 参照 ] ボタンをクリックしてWWW ブラウザの指定を行ってください。
- 3** WWW ブラウザの指定が終わったら、[ OK ] ボタンをクリックして [ 設定 ] ダイアログボックスを閉じます。

以上でインターネットアクセスマネージャの環境設定は終わりです。

# インターネットへの基本的な接続.....

インターネットへの効率的な使い方を説明する前に、プロバイダに電話をかけてインターネットに接続するための基本的な操作方法を説明します。各章の説明を読む前に以下の操作ができるか確認を行ってください。以降「プロバイダに電話をかけます」という説明がある場合は、以下の操作を行ってください。

- 1** インターネットアクセスマネージャを起動して、ツールバーの左端の「接続」ボタンをクリックします。
- 2** 回線接続の画面が表示されますので、「接続開始」ボタンをクリックしてください。



- 3** ユーザー名とパスワードについての画面が表示される場合は、パスワードを入力してください。

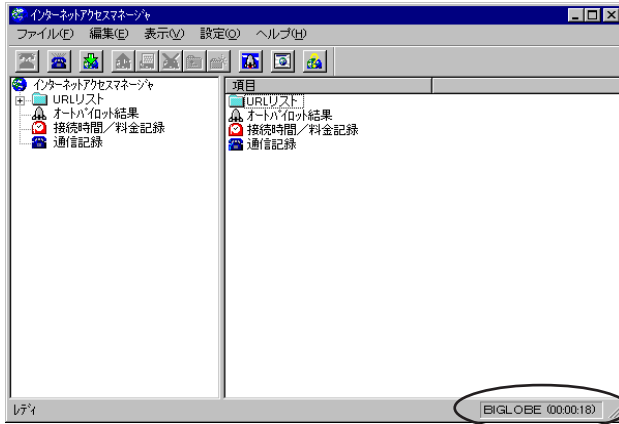


パスワードの保存については「Part 3 さらに使いこなす」の「インターネット接続の設定を変更する」の「パスワードの保存」チェックボックスを有効にする」をご覧ください。



- 4** 自動的にプロバイダに電話をかけてインターネットへの接続を行います。画面上で次のように表示されたらインターネットへの接続は完了です。次の最大画面とボタンバーの例では“BIGLOBE(00:00:18)”というように接続先名と接続時間を表示しています。

< 最大画面の場合 >



< ボタンバーの場合 >



設定ダイアログの「起動/動作」画面で、以下の2つの設定を行った場合は、WWWブラウザが2つ起動されます。

WWWブラウザを1つだけ起動したい場合は2つのうちどちらか1つだけを設定してください。

- ・ “インターネットアクセスマネージャの起動と同時に”で「回線を接続して、WWWブラウザを起動する」を選択する
- ・ 「回線接続後にWWWブラウザを起動する」をチェックする

## 設定した時間・料金を超えた時、アラームを表示させる.....

インターネットにかかる電話代やプロバイダ代を管理するには「接続管理」機能が便利です。

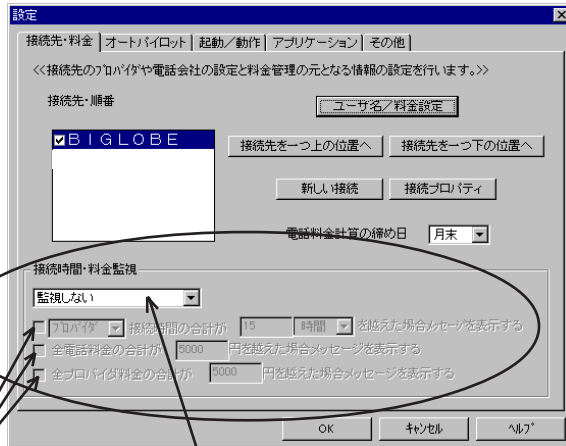
あらかじめ設定した時間や料金を越えると、アラームを表示するため、アラームが出るまでの間は時間や料金を気にしないでインターネットを利用できます。



- ・ 表示されるアラームは、インターネットアクセスマネージャで管理している時間・料金を元にして表示していますが、これらの時間・料金はおおよその目安です。実際に電話会社・プロバイダからの請求料金とは誤差が出る可能性があります。計算方式については「使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する」をご覧ください。
- ・ インターネットアクセスマネージャが起動していない時は、時間・料金の監視はできません。その場合にダイヤルアップネットワークなどから回線接続を行うと、時間・料金の計算、管理はできません。したがって、インターネットアクセスマネージャはWindows 95のスタートアップに登録することをお勧めします。なお、インターネットアクセスマネージャが起動されていればWindows 95のダイヤルアップネットワークから直接回線接続を行っても、時間の監視はできますが、回線接続はインターネットアクセスマネージャから行うことをお勧めします。
- ・ インターネットアクセスマネージャで管理している時間は、Windows 95のシステム時計に依存しています。時間・料金を正しく管理するためにはシステム時計が正しく設定されていることが必要です。ご利用になる前に[スタート]メニュー - [設定] - [コントロールパネル] - [日付と時刻]で現在の時刻が正しく設定されているか、今一度確認してください。なお、インターネットアクセスマネージャを起動している時はもちろん、起動していない時でも、システム時計は変更しないでください。
- ・ 特に電話料金はインターネット接続以外にも、通常の電話で使用されている場合がありますので、インターネットアクセスマネージャで管理している電話料金と実際に請求される料金が異なる場合がありますので、ご注意ください。また、インターネットアクセスマネージャで管理している電話料金は、基本料金・プッシュフォン回線使用料は含みません。
- ・ オートパイロット実行中はあらかじめ設定した時間もしくは料金を越えてもアラーム表示は行いません。オートパイロット終了後、次の回線接続時にアラーム表示を行います。

設定した時間・料金を超えた時、アラームを表示させる手順については、次のとおりです。

## 1 インターネットアクセスマネージャのメニューから[設定]を選択します。



監視する項目

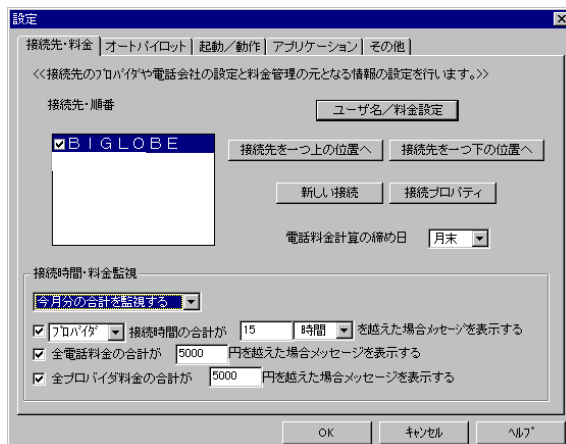
監視する単位

## 2 画面下部の[接続時間・料金監視]の中から以下の項目を設定します。

監視する単位： どういう単位で監視をするかリストボックスの中から選択します。  
今日/今週/今月(既定値は「監視しない」)

監視する項目： 監視をする項目のチェックボックスにチェックをして、その時間もしくは料金を決めます。なお、この項目は複数選択する事もできます。

次の例では、今月分のプロバイダ(BIGLOBE)の接続時間の合計が15時間を超えた場合と、全電話料金の合計金額が5,000円を超えた場合と、全プロバイダの利用料金が5,000円を超えた場合のすべての場合にそれぞれメッセージを表示します。



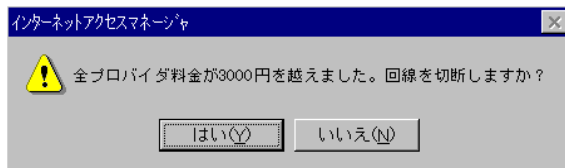


ここで、「今月分の合計を監視する」にした場合、電話会社とプロバイダの料金計算の締め日によって、監視する期間が異なりますのでご注意ください。

例

対象	締め日	監視する期間
プロバイダ	25日	前月の24日～今月の25日
電話会社	5日	前月の4日～今月の5日

- 3** 設定した値を超えると、以下のようなアラームのメッセージが表示されます。  
次の画面は「全プロバイダの合計が3000円を超えた場合」の設定の例です。



- 4** ここで、[はい]ボタンを選択すると、回線が切断されます。[いいえ]ボタンを選択すると、そのまま回線接続を続けますが、しばらくするとまた同じメッセージが表示されます。

## 使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を 確認する.....

インターネットの利用頻度が高い方のためには、その月にかかる電話料金やプロバイダ料金を概算する「接続管理」機能が便利です。

あらかじめ設定された料金体系に基づいて、電話料金・プロバイダ料金を自動的に計算してくれるので、マウスをクリックするだけで、おおよその料金が確認できます。



・「設定した時間・料金を超えた時、アラームを表示させる」の注意事項を参照してください。

・電話料金および、従量制プロバイダの料金計算方式についてインターネットアクセスマネージャでは電話料金および従量制プロバイダの料金を以下のように計算しています。1回の接続(回線接続から回線切断まで)の時間を計測し、課金単位で計算を行います。(端数は切り上げ)1ヶ月の料金は1ヶ月間(料金計算期間)の接続ごとの料金を合計した値となります。

例 60秒:10円の料金とすると1回の接続で90秒接続した場合、20円となる。

$$90\text{秒} = 60\text{秒} + 30\text{秒}$$

$$20\text{円} = 10\text{円} + 10\text{円}$$

したがって、実際のプロバイダ側での計算式が異なる場合は、料金も若干異なってくる場合があります。

使用した電話料金・プロバイダ料金の概算を確認する手順については、次のとおりです。

- 1 インターネットアクセスマネージャのツリービューの[接続時間 / 料金記録]アイコンをクリックします。プロバイダの料金合計と電話の料金合計が分かります。



**2** インターネットアクセスマネージャに登録してあるプロバイダごとの料金情報と電話料金の情報がリストビューに表示されます。

ツリービューの[プロバイダ名] (上記の例では mesh ; “7月分”) や[電話料金] をクリックすると以下のように、各月別の料金と各日別の料金が表示されます。



## あらかじめ登録されているURLにアクセスする...

本機のインターネットアクセスマネージャには、あらかじめ約100のジャンル分けされたURLが登録されています。

このため、わざわざURLを入力しなくてもマウスをクリックするだけで、ホームページにアクセスすることができます。

登録されているURLを利用する手順については、次のとおりです。

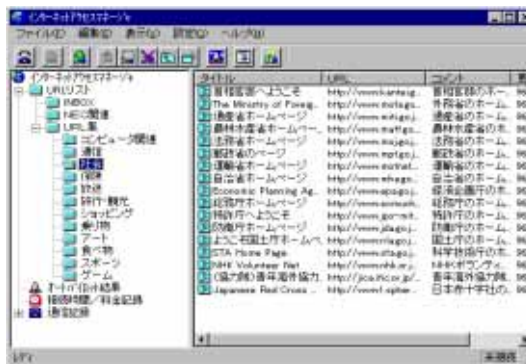


インターネットアクセスマネージャに登録されているURL集は1997年6月現在のもので、インターネット上の情報は日々変化しているため、目的のホームページのURLが変更されていたり、無くなっている場合もあります。

**1** インターネットアクセスマネージャのツリービューにある[URLリスト] - [URL集] をクリックします。

各フォルダにジャンル分けされたURLが表示されます。

好みのフォルダから好みのURLのタイトルをダブルクリックします。



**2** 自動的に回線接続を行いWWWブラウザにクリックしたタイトルのホームページが表示されます。

# ホームページを整理する.....

よくアクセスするホームページのアドレス(URL)を覚えておきたい場合や、ブラウザに登録したホームページを整理したい場合は、「URL情報の登録・整理」の機能が便利です。

「URL情報の登録・整理」には、次のような特長があります。

- ・ お気に入りのURLをフォルダを使って階層的に登録・整理することができる
- ・ 登録する際に簡単なコメントを付けることができるので整理する際に便利
- ・ 登録画面からダブルクリックで該当のURLをWWWブラウザに表示させることができる
- ・ Windows 95のエクスプローラと同様なウィンドウ画面と操作性

インターネットアクセスマネージャでは、タイトル、URL、コメントをまとめてURL情報と呼びます。



フォルダ名の長さは40文字までです。

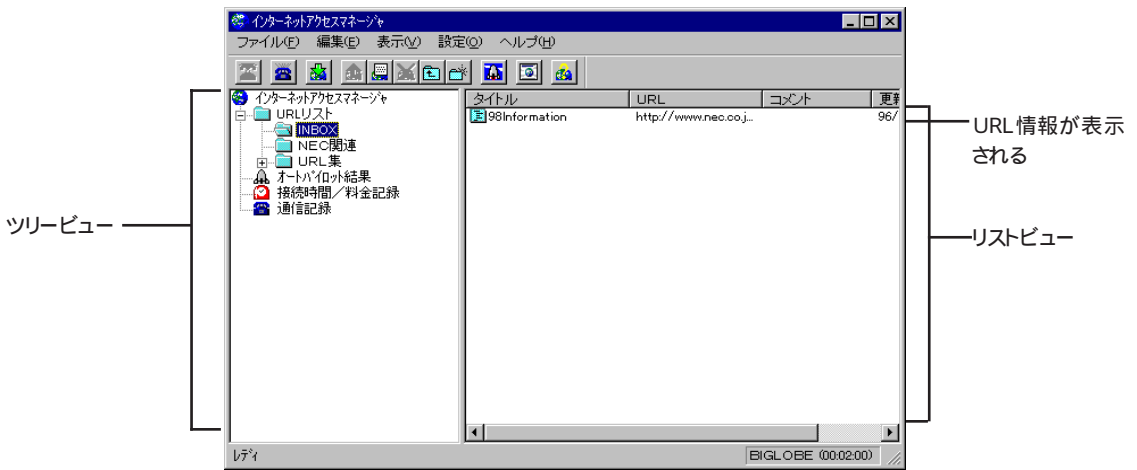
## URLを取り込む

- 1 WWWブラウザで登録をしたいURLを表示させます。



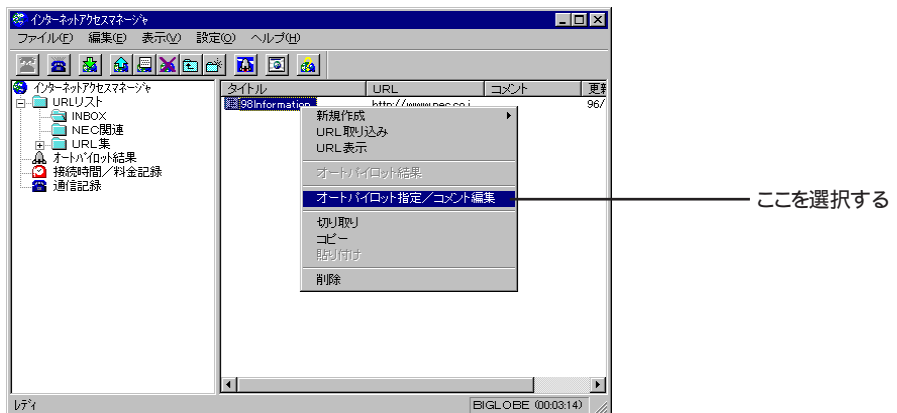
- 2** インターネットアクセスマネージャの「URL取り込み」ボタンをクリックします。WWWブラウザが現在表示している「URL情報」を「INBOX」フォルダに取り込みます。  
これでインターネットアクセスマネージャにURLを登録することができました。

- 3** 登録されているかを確認してみましょう。  
インターネットアクセスマネージャのツリービューの「URLリスト」フォルダをダブルクリックします。さらに「INBOX」フォルダをクリックすると、リストビューに上記の手順1で表示している「URL情報」とタイトルとURLアドレスが登録されていることが確認できます。



## URL情報にコメントを付ける

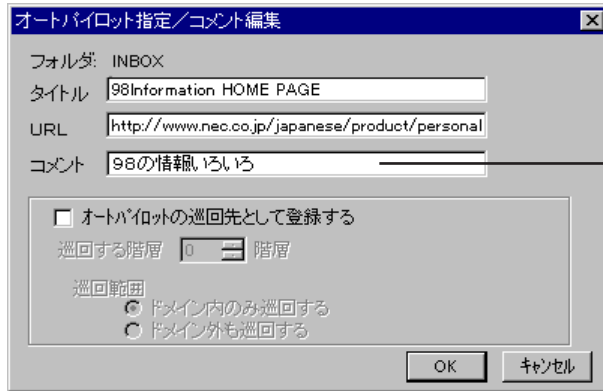
- 1** 登録した「URL情報」にコメントを付けます。  
リストビューの「URL情報」のタイトルを右クリックして、ポップアップメニューの「オートパイロット指定 / コメント編集」を指定します。「オートパイロット指定 / コメント編集」ダイアログボックスが表示されます。





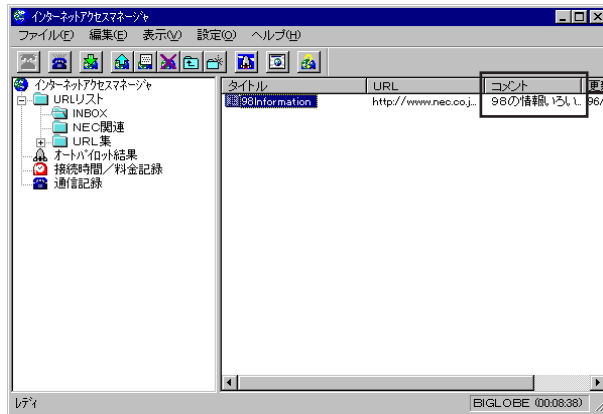


**2** [コメント]テキストボックスにコメントを入力します。



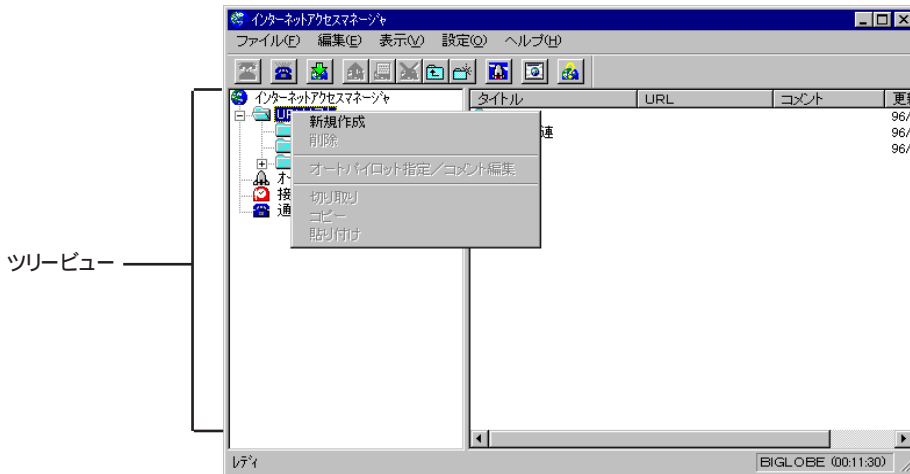
**3** [OK]ボタンをクリックします。

リビューの[コメント]リストにコメントが反映されたことを確認します。

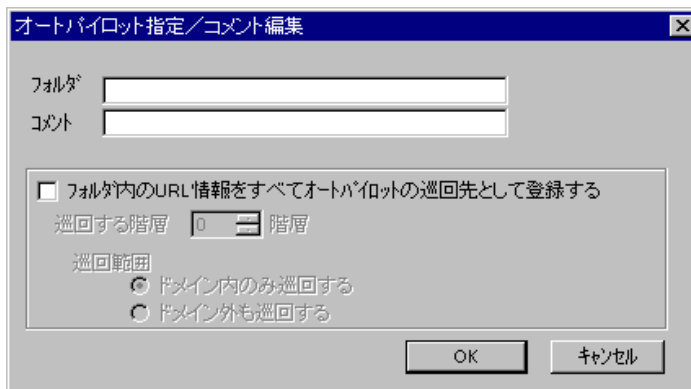


## フォルダを作成してURL情報を管理する

- 1 フォルダを新しく作成してURL情報を管理する方法を説明します。  
ツリービューの「URLリスト」フォルダを右クリックして、ポップアップメニューから「新規作成」を選択します。  
「オートパイロット指定 / コメント編集」ダイアログボックスが表示されます。



- 2 「フォルダ」テキストボックスにフォルダの名前を入力して(例として「趣味関連」と入力) OK ボタンをクリックします(必要に応じてコメントも入力してください)。ツリービューに新しいフォルダが作成されます。

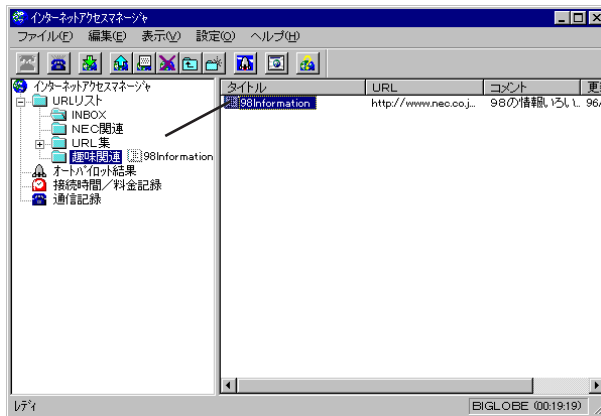




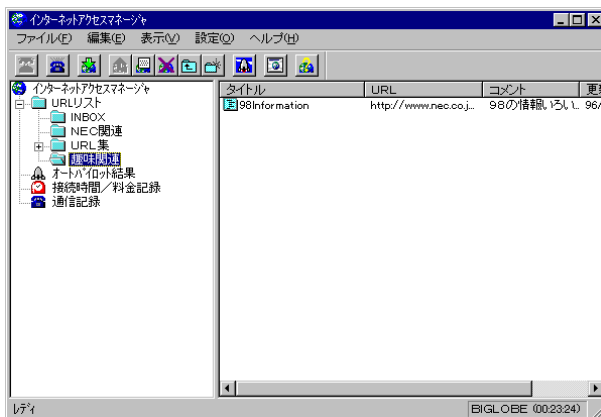
- 3** [ INBOX ]フォルダをダブルクリックして、リストビューに先ほど取り込んだ URL 情報 を表示させます。



- 4** リストビューの「 URL 情報 」をドラッグして、ツリービューの手順2で作成したフォルダにドラッグします。



- 5** ツリービューの手順2で作成したフォルダをクリックします。取り込んだ「 URL 情報 」が新しいフォルダに移動していることが分かります。



Part 3  
 かんたん使いこなし

# ブラウザと同じURLのリストに整理する.....

ブラウザの中のお気に入りのURLを登録、一元管理するには、「URLリストの反映」が便利です。

「URLリストの反映」では、WWWブラウザの管理しているお気に入りのURLをインターネットアクセスマネージャのURLリストにワンタッチで反映することができます。また、その逆にURLリストをフォルダごとWWWブラウザに反映することもできます。これによって、気に入ったURLを一元管理することができます。

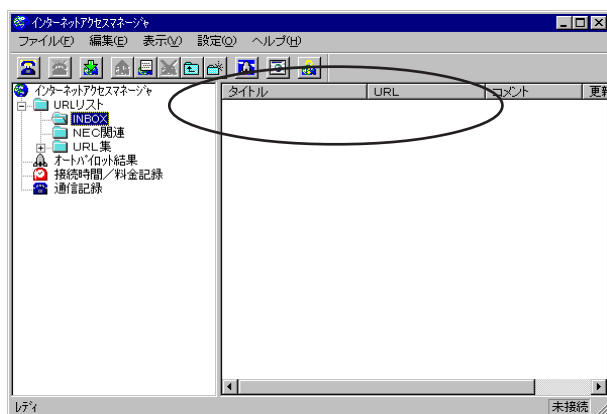


インターネットアクセスマネージャでは、新しく取り込んだURLは、いったん [ INBOX ] フォルダに格納します。したがって、WWWブラウザで管理しているお気に入りのURLを [ URLリスト ] フォルダに反映する際は、すべて [ INBOX ] フォルダの下に格納されます。  
( WWWブラウザ側がフォルダ構成になっている場合も、そのまま [ INBOX ] フォルダの下に格納します )

## WWWブラウザのお気に入りのページをURLリストに反映する

ここでは、WWWブラウザとしてInternet Explorerを例に説明します。

- 1 WWWブラウザを起動して、お気に入りのページの内容を事前に確認します。また、インターネットアクセスマネージャのURLリストの内容も確認します。
  - ・ 反映前のインターネットアクセスマネージャのURLリスト

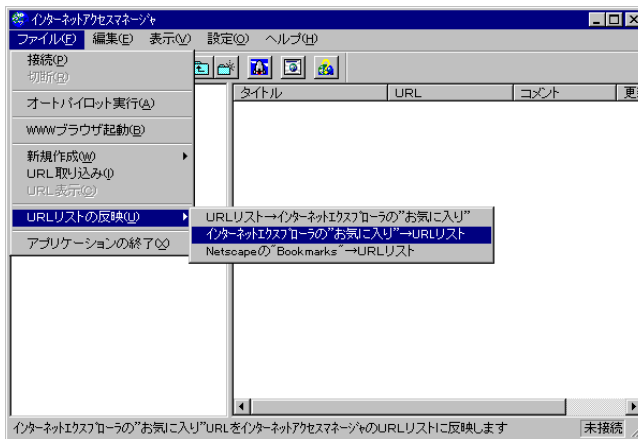


- ・ 反映前のInternet Explorerのお気に入りのページ



- 2 インターネットアクセスマネージャのメニューから[ ファイル ]-[ URLリストの反映 ] -[ インターネットエクスプローラの "お気に入り" URLリスト ] を選択します。

これで、WWWブラウザのお気に入りのページがURLリストに反映されました。

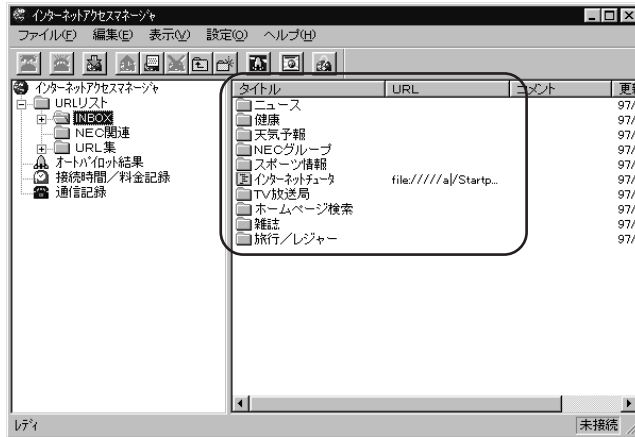


### 3 確認してみましょう。

インターネットアクセスマネージャのURLリストを見てください。

Internet Explorerにあったお気に入りのページがインターネットアクセスマネージャの「URLリスト」フォルダの「INBOX」フォルダに反映されていることが分かります。

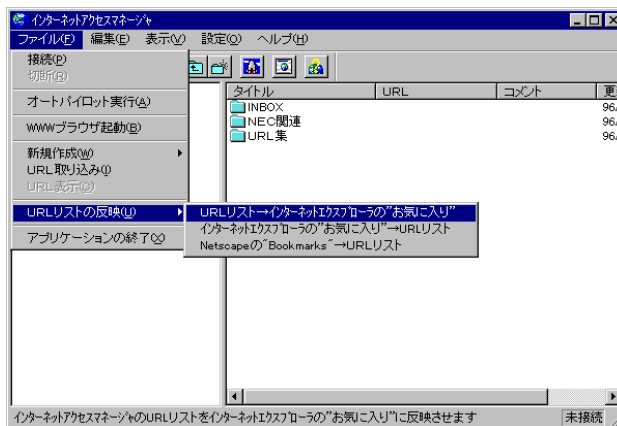
- ・ 反映後のインターネットアクセスマネージャのURLリスト



## URLリストをWWWブラウザのお気に入りのページに反映する

- 1 「WWWブラウザのお気に入りのページをURLリストに反映する」の手順1と同じように、お気に入りのページとURLリストの内容を確認します。
- 2 インターネットアクセスマネージャのメニューから「ファイル」-「URLリストの反映」-「URLリスト インターネットエクスプローラの「お気に入り」」を選択します。

これで、インターネットアクセスマネージャのURLリストがWWWブラウザのお気に入りのページに反映されました。



### 3 確認してみましょう。

WWWブラウザのお気に入りのページを開いて見てください。

インターネットアクセスマネージャのURLリストにあった、以下の3つのフォルダがWWWブラウザのお気に入りのページに反映されていることが分かります。

- a. INBOX
- b. NEC関連
- c. URL集

- ・ 反映後のインターネットアクセスマネージャのURLリスト



# オートパイロットを利用する.....

ユーザが行うWWWのページへのアクセス作業は、基本的には次のとおりです。

- ・ プロバイダに回線接続をする
- ・ WWWのページのURLを入力してアクセスする
- ・ ページ内の内容をチェックする

上記の作業方法では、同じページへアクセスする場合、面倒な作業が毎回繰り返されるだけでなく、電話代やプロバイダ料金もかかります。

「オートパイロット」では、ボタンをクリックするだけで、同じページへのアクセス作業を自動化すると同時に、あらかじめ指定されたURLを自動的に巡回してURLの内容をローカルのディスクにダウンロードします。これによって、次の効果があります。

- ・ ブラウザで表示するよりも短時間でチェックしたいURLの内容を入手することができる(電話代、プロバイダ代の節約)
- ・ ローカルのディスクにURLの内容があるため、回線を切断した後に電話料金やプロバイダ料金を気にせずゆっくり見ることができる。



- ・ インターネットアクセスマネージャのオートパイロットは通常のWWWブラウザと同様に指定のURL(サーバ)からデータをダウンロードできない場合があります。これは、サーバがダウンしているときやサーバに多数のアクセスが集中している場合やURLがもうなくなっている場合などに起こります。

「オートパイロット結果」が不正の場合は、WWWブラウザでアクセスを試みてください。WWWブラウザで正しくアクセスできないURLはオートパイロットでも正しくアクセス(ダウンロード)できません。

- ・ インターネットアクセスマネージャのオートパイロットの巡回可能範囲は、次のとおりです。

一般的なHTMLファイル、ftpファイル、背景、ShockWave、BGM

上記以外のJava、クリックマップ、RealAudio、CGI、IDとパスワードが必要なURLなどは対応していませんのでご注意ください。

より技術的に説明すると、インターネットアクセスマネージャのオートパイロットで認識する<タグ>は、次のとおりです。



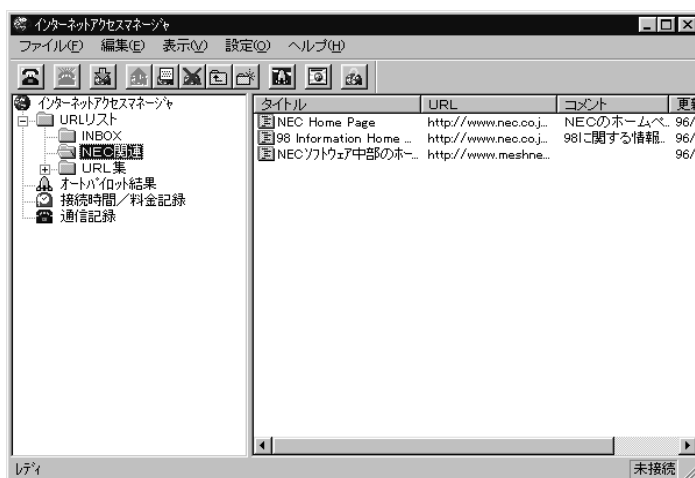
No	タグ	意味
1	<BODY . . > BACKGROUND=" URL "	背景図
2	<FRAME > SRC=" URL "	書類の指定
3	<A HREF=" URL ">	ハイパーリンク
4	<IMG SRC=" URL ">	インライン・イメージ
5	LOWSRCE=" URL "	解像度の異なる画像の読み込み
6	GYNSRC=" URL "	インラインビデオまたはVRML
7	<BGSOUND SRC=" URL ". . >	バックグラウンド・サウンド
8	<FIG SRC=" URL ". . >	回り込みインライン・イメージ
9	<EMBED SRC=" URL ". . >	Shockwave等

- ・ サーバ側のデータ構造によっては、ダウンロードが完全にできなかった場合でも、正常にダウンロードできたことを示す青のロケットが表示される場合があります。あらかじめご了承ください。より技術的に説明すると、次のとおりです。  
サーバによっては、格納されているデータ(GIFファイル等)のサイズを通知してくるものと通知してこないものがあります。サイズを通知してこないデータに関しては、一定時間データが送られてこなかった場合を、そのデータの終わりとして検出していますが、本当にデータの終わりなのか、サーバが混雑していて一定時間データが送られてこなかったのかの判断ができない場合があります。
- ・ オートパイロット結果を見る際にダウンロードされていないリンク先をクリックすると、実際のWebにアクセスします(回線が接続されていない場合は回線接続のダイアログボックスが表示されます)。
- ・ URLの内容(サーバのデータ)によってはサーバ側と連携をとりながら、データを表示させるものもあります。オートパイロット結果として、こういったデータをWWWブラウザで見ると、Win95ダイヤルアップネットワークの回線接続ダイアログボックスが表示されたり、“サーバが見つかりません”といった類のメッセージが出る場合があります。この場合には、必要であれば回線接続を行ってみてください。
- ・ フレーム機能を利用したURLの内容(サーバのデータ)をダウンロードする場合は、通常のサーバとはデータ構造が異なるため、1階層レベルまで巡回することをお勧めします。

## オートパイロットの基本的な操作方法

インターネットアクセスマネージャの「URLリスト」に初めから登録してあるURLを例にして実際にオートパイロットの基本的な操作を説明します。

- 1 インターネットアクセスマネージャを起動させます。  
ツリービューの「URLリスト」フォルダをダブルクリックした後、「NEC関連」フォルダをクリックしてください。「NEC関連」フォルダの中には、3つのURL情報が登録されています。

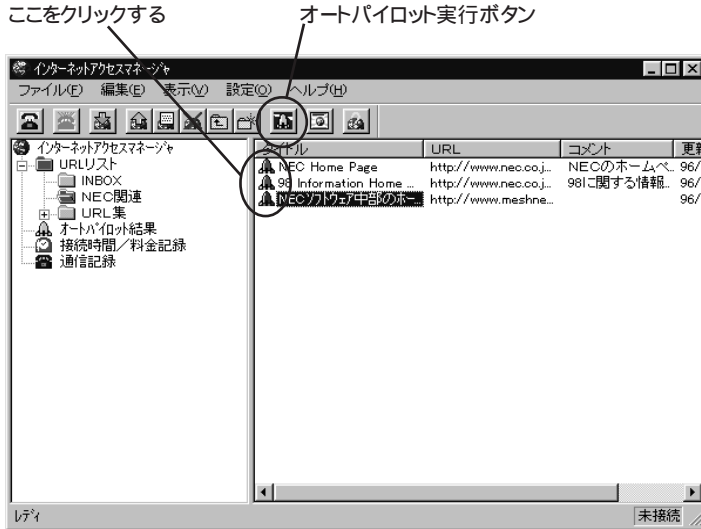


- 2 オートパイロットの巡回先として登録します。  
リストビューの先頭にある「ファイル」のマークをクリックします。オートパイロットの巡回先を示す赤色の「ロケット」のマークに変わることが分かります。

これでオートパイロットの巡回先としての登録は完了です。

- ・ 同じように「URLリスト」に登録してある全てのURL情報に対してワンクリックで巡回先に指定することができます。
- ・ もう一度クリックすると「ファイル」のマークに戻って巡回先から外れます。

他の2つのURLも同様に「ファイル」マークをクリックして赤色の「ロケット」マークに変更します。



### 3 オートパイロットを実行します。

[オートパイロット実行]ボタンをクリックします。[オートパイロット(巡回先確認)]ダイアログボックスが表示されます。巡回先の一覧を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。



巡回先の一覧でチェックボックスのチェックを外すと、今回のみチェックを外したURLは巡回しません(URLの内容をダウンロードしません)。

オートパイロット巡回先から外れるわけではないので、次回以降のオートパイロット実行時には再度巡回先の一覧として表示されます。



Part 3

## 4 回線を接続してオートパイロットを実行します。

[ オートパイロット(巡回中) ]ダイアログボックスが表示されます。

オートパイロットが終了すると設定ダイアログボックスのオートパイロットタブの [ オートパイロット終了と同時に ] の設定に従って、動作を行います。既定値は“回線を切断する”です。



巡回中のダイアログボックスに表示される読み込みバイト数は、既に最新のファイルが、ローカルディスク上にある場合、“0”と表示されます。

例：・ 同じファイルを再度巡回した場合

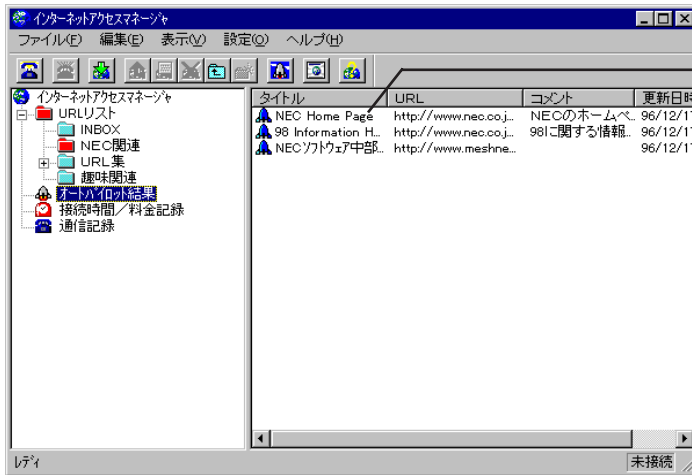
- ・ 同じドメイン内で同一ファイルを複数の箇所からリンクしている構造のサーバ(URL)を複数回層指定した場合

## 5 [ お知らせ ]の画面が表示されますので、[ OK ]ボタンをクリックしてください。





- 6** オートパイロットでダウンロードしたURLの内容をみます。  
ツリービューの オートパイロット結果 アイコンをクリックします。  
ローカルディスクにダウンロードされたURLの一覧がリストビューに表示されます。



ここをダブルクリックする

- 7** リストビューに表示されているURLをダブルクリックしてみてください。  
実際のWebサーバにあるURLの内容と同じ内容が表示されます。  
このときWWWブラウザの アドレス 入力テキストボックスには“ A: ¥ ”と表示されており、ローカルディスクにダウンロードしたデータを表示していることがわかります。



“ A: ¥ ”と表示

## 8 再度「オートパイロット結果」のフォルダを見てください。

ダウンロードの結果(正常にダウンロードできたか否か)および、1度でもWWWブラウザで表示を行ったか(未読/既読)によって、レビューの各URLの先頭にあるマークが異なります。

アイコン	内 容
青の🚀	正常にダウンロードが完了したURL <未読のURL > 前回と比べて内容が更新されたURL
グレーの🚀	上記の青の🚀をWWWブラウザで1度でも表示を行ったURL <既読のURL >
?付きの🚀	内容の一部が欠落したURL サーバが混雑している等の理由で、一部のデータがダウンロードできなかったURL
X付きの🚀	サーバ側と通信が行えず、指定したURLのデータが全くダウンロードできなかったURL

一度見たオートパイロットの結果でも再度オートパイロットを実行してURL内容が更新されると、グレーの🚀ロケットマークから青の🚀ロケットマークに変更されます。



## 自動的にホームページを取得する.....

「オートパイロット」では、指定された時間に指定されたURLやインターネット上にある版やシェアウェアなどのいろいろなソフトウェアを自動的に巡回してデータをローカルディスクにダウンロードします。これによって次の効果があります。

- ・ ゆっくりとホームページを見ることができる
- ・ 回線が空いている時にアクセスをするため、接続時間も短く電話料金やプロバイダ料金の節約になる
- ・ 時差アクセスによって、インターネット全体のトラフィックを分散させることができる



- ・ 「オートパイロットを利用する」の注意事項を参照してください。
- ・ 本機能が動作する時刻はWindows95のシステム時計の時刻に依存しています。[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[日付と時刻]で現在の時刻が正しく設定されているか、今一度確認してください。
- ・ 時間指定で動作する他のプログラムを使用している場合は、指定の時間が重ならないように注意してください。
- ・ パスワードは必ず保存してください。保存しないと、パスワード入力画面で処理が止まります。

自動的にホームページを取得する方法は以下の2通りがあります。

- 1** インターネットアクセスマネージャにて時間指定を行う。  
(指定された時間にインターネットアクセスマネージャが起動されている必要があります)
- 2** 98Timerと組み合わせて、マシンの電源OFF状態から電源ON オートパイロット実行 電源OFFまで自動的に行う。

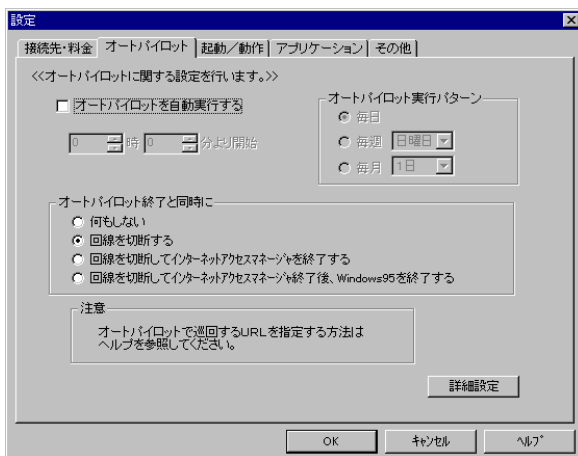
次の2つの項目は「オートパイロットを利用する」の「オートパイロットの基本的な操作方法」を参考にして設定・操作してください。

- オートパイロットの巡回先(指定された時間にダウンロードしたいURL)の設定の仕方
- オートパイロットの結果の見方

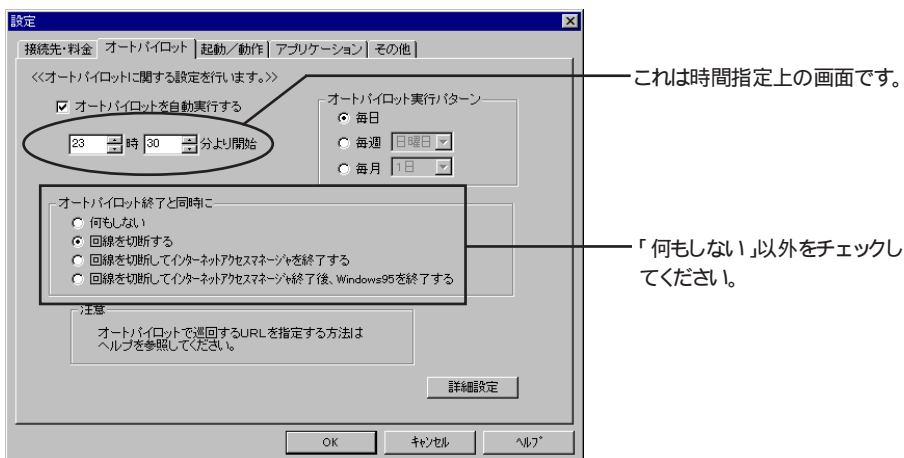
ここでは、既にオートパイロットの巡回先が設定されているものとして説明を行います。

## インターネットアクセスマネージャにて時間指定を行う

- 1 オートパイロットを実行する時間を指定します。  
インターネットアクセスマネージャのメニューから [ 設定 ] - [ オートパイロット ] タブをクリックします。



- 2 [ オートパイロットを自動実行する ] チェックボックスをチェックして、自動実行させる時間を指定します。この場合、24時間形式( 0:00 ~ 23:59 )で設定できます。さらに、[ オートパイロット実行パターン ] で週に1回、月に1回といった設定も可能です。必要な場合はそれぞれの指定を行ってください。設定が終わったら [ OK ] ボタンをクリックしてください。







本機能を使用する場合は[設定]-[オートパイロット]タブでオートパイロット終了と同時に[ ]で[何もしない]以外をチェックしてください。[何もしない]をチェックすると、オートパイロット実行後も回線を接続したままの状態となり、電話料金やプロバイダ料金が課金されます。

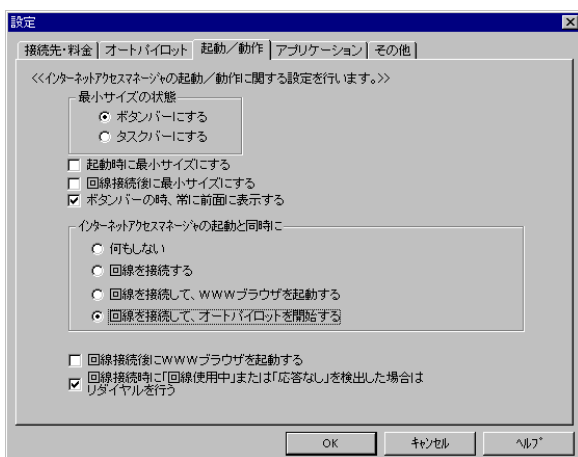
- 3** 以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットが実行されて、指定されたURLを自動的に巡回してデータをローカルディスクにダウンロードします。ダウンロードが終わったらオートパイロット結果を見てください。

## 98Timer との組み合わせによる自動電源ON/OFF

- 1** [98Timer]で、電源をONにする時刻と実行ファイルに[インターネット]を選択します。
- 2** インターネットアクセスマネージャのメニューから[設定]を選択し、[設定]ダイアログボックスの[オートパイロット]タブをクリックします。[オートパイロット終了と同時に]で、[回線を切断してインターネットアクセスマネージャ終了後、Windowsを終了する]を選択します。



- 3** [設定] ダイアログボックスの [起動/動作] タブをクリックします。[インターネットアクセスマネージャの起動と同時に] [F] 回線を接続して、オートパイロットを開始する」を選択します。



- 4** 以上で設定は終了です。本機の電源をOFFにしてください。指定した時間になると自動的に電源がONになり、オートパイロットが実行された後、電源がOFFになります。



・ [インターネットアクセスマネージャの起動と同時に] [F] 回線を接続して、オートパイロットを開始する」を設定し、かつ、[オートパイロット終了と同時に] [F] 回線を切断してインターネットアクセスマネージャを終了する」の設定をした場合に、オートパイロット結果を確認する際は以下の通りに操作してください。

- 1 インターネットアクセスマネージャが起動し、オートパイロットの自動実行が開始されるまでの間にダイアログボックスが表示されオートパイロットが実行されるまで30秒間カウントダウンを行います。ここで [中止] ボタンをクリックします。
  - 2 その後、「オートパイロットの基本的な操作方法」以降を参考にしてダウンロードしたURLの内容を見ます。
- ・ 夜間自動実行を行う場合は、必ずパスワードを保存してください。保存しないと処理が途中で止まってしまう、オートパイロット実行と電源OFFができません。
  - ・ 上記の自動実行の設定が済んだら、事前に一度、一連の「自動実行動作 (電源ON、インターネットアクセスマネージャの起動、回線の接続、オートパイロットの実行)」ができるかどうかを必ず確認してください。[オートパイロット実行中] の画面が表示されればOKです。確認を終了するとき [中止] ボタンをクリックします。



- ・ オートパイロットで何時何分に回線接続して何時何分に回線切断したのか、ダウンロードは正常にできたのか否かを確認するには「通信結果 フォルダ」および「オートパイロット結果 フォルダ」をご覧ください。
- ・ 夜間自動実行を行う場合は夜間に自動的に本機の電源がONになりますので、安全に使用するために、本機に添付のマニュアルの使用上の注意事項を必ず一通りお読みください。

## オートパイロット結果を削除する.....

オートパイロットでダウンロードした結果を削除するには、次の2つの方法があります。

- 1** 「オートパイロット結果」フォルダをクリックしてリストビューにURL情報を表示させ、削除したいURL情報を右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を削除」を選択します。この場合、指定されたURL情報の0階層目のデータのみをすべて削除します(2階層、3階層、.....は他のURL情報が使用している場合や他のURL情報がリンクされている場合があるため削除しません)。
- 2** ツリービューで「オートパイロット結果」フォルダを右クリックして、表示されたメニューから「オートパイロット結果を空にする」を選択します。  
この場合、今までダウンロードしたデータをすべてディレクトリごと削除します。

## 自動的にファイルを取得する.....

「オートパイロット」では、インターネット上にある 版やシェアウェアなどのいろいろなソフトウェアを自動的に(指定された時間)に指定されたファイルを自動的にローカルディスクにダウンロードしてくれます。

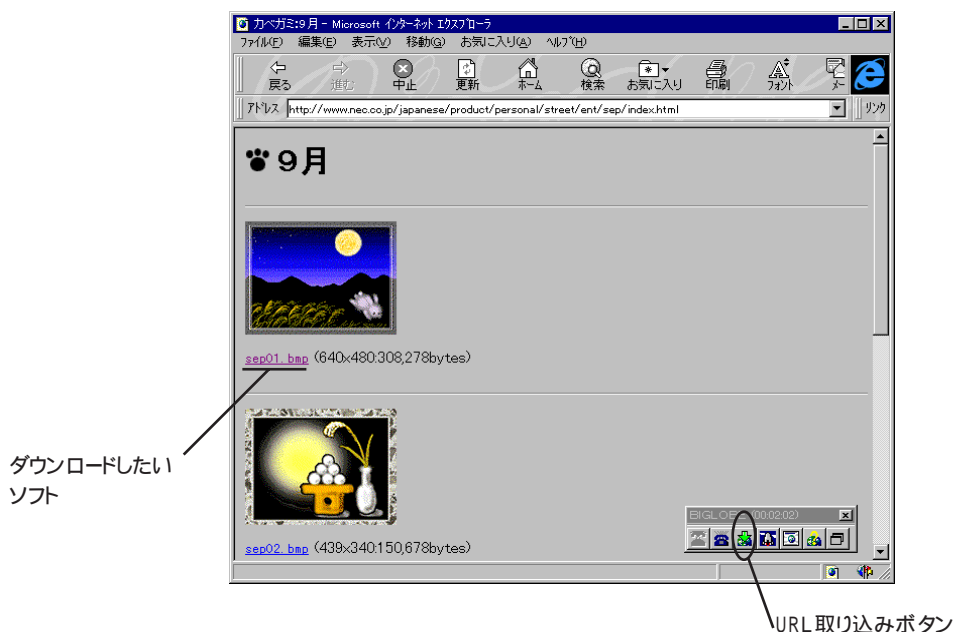


- ・ 「自動的にホームページを取得する」の注意事項をご覧ください。
- ・ 指定された時間であってもサーバ側の状態(アクセスが集中している等)によっては、ダウンロードできない場合もありますので、ご了承ください。

以下に具体的な例を提示しますので、同じような操作でファイルをダウンロードしてください。

# 1 ダウンロードしたいソフトのURLをURLリストに登録します。

WWWブラウザを起動して、ダウンロードしたいソフトの格納されているページを表示します。



# 2 [ URL取り込み ] ボタンをクリックします。

# 3 インターネットアクセスマネージャを最大画面にします。取り込んだURLを右クリックして、ポップアップメニューの[ オートパイロット指定 / コメント編集 ] を選択します。

# 4 ここで、URLを以下の通り変更します。

- ・登録されているアドレスの最後にある“ index.html ”を削除して、ダウンロードするファイル名：“ sep01.bmp ”を入力します。
- ・[ オートパイロットの巡回先として登録する ] チェックボックスをチェックします。
- ・入力が済んだら [ OK ] ボタンをクリックします。





- 5 「オートパイロットを利用する」の手順を参考にオートパイロットを実行する時間の設定を行います。
- 6 以上で設定は完了です。指定された時間がきたら自動的にオートパイロットを実行して、指定されたファイルを自動的にローカルディスクにダウンロードします。
- 7 指定されたファイルはインターネットアクセスマネージャがインストールされているディレクトリに、URLのアドレスと同様のディレクトリ構造で格納されています。



上記の例のダウンロードしたファイルの格納場所は、次のとおりです。

A: ¥IAM¥www.nec.co.jp¥japanese¥product¥personal¥street¥ent¥sep¥sep01.bmp

## アクセスポイントに電話をかける.....

「オートダイヤル」では、あらかじめ指定されたアクセスポイントにつながるまで何度でも電話をかけ直します。



電話回線の仕様で、1つの接続先(アクセスポイント)に対して、最初に電話をかけてから3分間に3回しかかけられません。3回かけてもなお話し中であれば、次に電話をかけるのは3分後になります。

## アクセスポイントを設定する

- 1 アクセスポイントを確認します。  
メニューから **設定** をクリックして **接続先・料金** タブにアクセスポイントが登録されていることを確認します。電話をかけるアクセスポイントのみをチェックします。

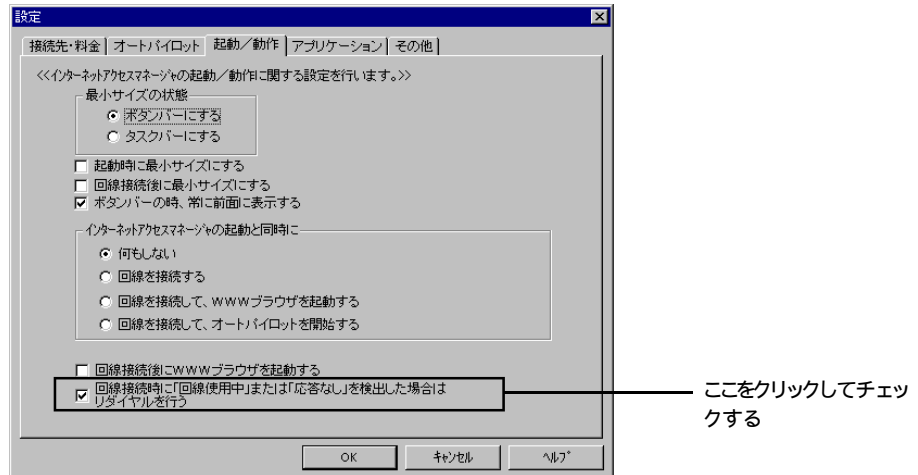


3  
 使用しない

## 2 リダイヤルを行う設定になっているか確認します。

[ 起動 / 動作 ] のタブをクリックし、[ 回線接続時に「回線使用中」または「応答なし」を検出した場合はリダイヤルを行う ] チェックボックスにチェックマークがついていることを確認します。既定値ではチェックされています。

確認したら [ OK ] ボタンをクリックします。



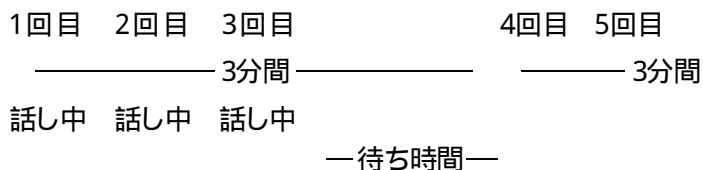
## 3 以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に電話をかけ直します。

### 電話をかけるタイミング

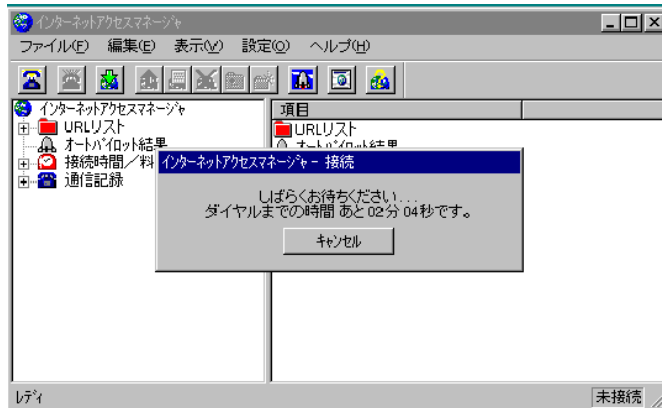
最初に電話をかけてから3分間の間は3回しかかけ直すことができません。

4回目は最初に電話をかけた時から3分後にかけ直します。

#### 回線接続実行



3回目にかけてから「話し中」を検出して、次に電話をかけるまでの間(待ち時間)、[ 接続 ] ダイアログボックスが表示されます。



## 自動的にアクセスポイントを変更する.....

アクセスポイントがビジーなので、次に近いアクセスポイントにかけ直す。または、固定制プロバイダが話し中なので、従量制プロバイダにかけ直す。というようにアクセスポイントのかけ直しは、大変手間のかかる作業です。これを自動的に行うには「オートダイヤル」が便利です。

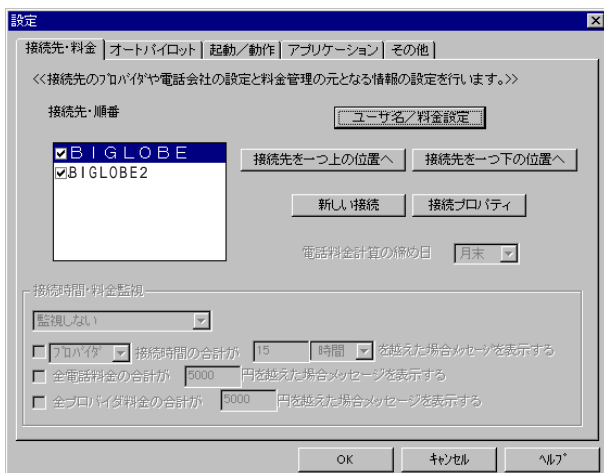


電話回線の仕様で、1つの接続先(アクセスポイント)に対して、最初に電話をかけてから3分間に3回しかかけられません。3回かけてもなお話し中であれば、次にそのアクセスポイントに電話をかけるのは3分後になります。

## アクセスポイントを設定する

- 1 アクセスポイントと電話をかける順番を確認します。  
メニューから [ 設定 ] をクリックして [ 接続先・料金 ] タブにアクセスポイントが登録されていることを確認します。  
電話をかけるアクセスポイントを上から順番に並び替えてチェックを付けてください。画面上に設定されているアクセスポイントで、チェックボックスが付いているものを上から順番にかけていきます。
  - ・ 電話をかけたくないアクセスポイントは、チェックを外してください。
  - ・ 順番を並び替えたい場合は、該当のアクセスポイントをクリックして反転表示にした後、[ 接続先を1つ上の位置へ ] ボタンもしくは [ 接続先を1つ下の位置へ ] ボタンを使用します。

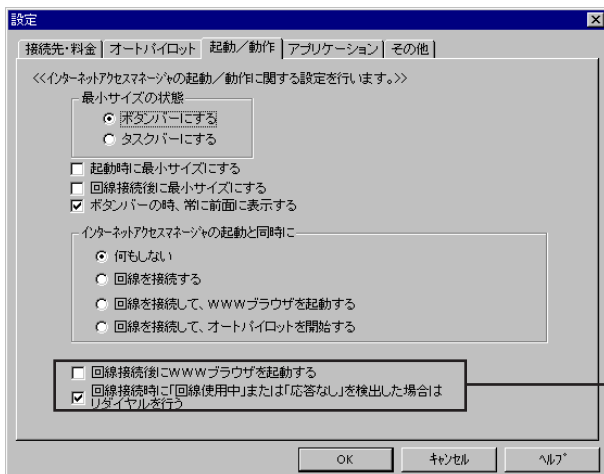
下記の例では、BIGLOBE、BIGLOBE2の順番に電話をかけます。



## 2 リダイヤルを行う設定になっているか確認します。

[ 起動 / 動作 ] タブをクリックし、[ 回線接続時に「回線使用中」または「応答なし」を検出した場合はリダイヤルを行う ] チェックボックスにチェックがついていることを確認します。既定値ではチェックされています。

確認したら [ OK ] ボタンをクリックします。



チェックがついていることを確認する





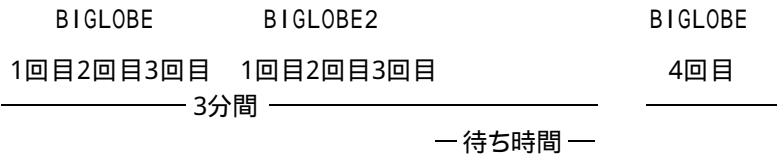
**3** 以上で設定は完了です。回線接続を行って、話し中の場合は自動的に次のアクセスポイントに電話をかけます。さらに、設定されているアクセスポイントが全て話し中の場合は、再度最初から順番に電話をかけ直します。



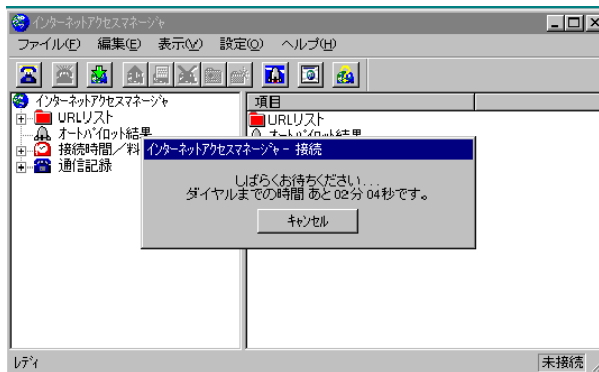
最初に電話をかけてから3分間の間は1つのアクセスポイントに3回しかかけ直すことができません。4回目は最初に電話をかけた時から3分後にかけ直します。

手順1の設定例の場合、以下のように電話をかけます。

回線接続実行



1回目にかけてから「話し中」を検出して次に同じアクセスポイントに電話をかけるまでの間(待ち時間)、「接続」ダイアログボックスが表示されます。



Part 3  
ネットに使う

# 通信記録(ログファイル)を見る.....

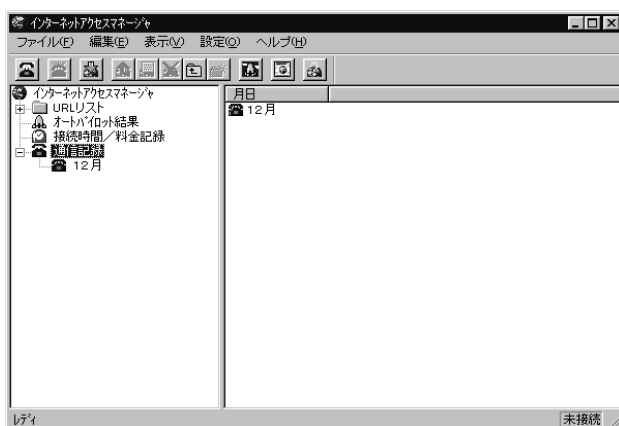
「通信記録」では、過去にアクセスした接続開始時間、終了時間の記録(ログ)をとってあり、一目で確認できます。



記録の保存期間は最長12ヶ月です。保存期間を過ぎた記録は削除されます。

## ログファイル(通信記録)を見る

- 1 ツリービューで「通信記録」フォルダをダブルクリックします。



- 2 月ごとにログが管理されているので、ツリービューの各月をクリックすると、リストビューに接続ごとの接続開始時間、終了時間が表示されます。



<リストビュー>  
の《通信時間》に  
見方が書いてあり  
ます

記録は一番新しいものがリストビューの一番上に表示されます。

### < ツリービュー >

項	設定方法
《月》	接続を行った日の通信記録を、月単位(1日～末日)で表示します。その月に行われた接続の記録を、1回の接続ごとに表示します。

### < リストビュー >

項	設定方法
《日付》	接続を行った日付を表示します。
《接続》	接続した接続先名を表示します。オートパイロットを実行した場合は、“オートパイロット”と表示します。
《開始時間》	プロバイダに接続し、ログインが完了した時間を表示します。オートパイロット実行後は、“ ”が表示されます。
《終了時間》	回線を切断した時間を表示します。接続中にオートパイロットが行われた場合は、“ ”が表示されます。
《通信時間》	<p>《開始時間》から《終了時間》までの時間を表示します。オートパイロットの場合は、オートパイロットにかかった時間を表示します。手順2の例では、</p> <p>15:27:44にBIGLOBEに接続し、</p> <p>15:27:45にオートパイロットを開始</p> <p>15:29:47にオートパイロットが成功(オートパイロット実行時間は2分2秒)</p> <p>15:29:46(オートパイロット終了と同時に)回線切断</p> <p>されたことを表します。</p>
《動作》	接続の動作結果を表示します。以下の種類があります。

(1) 回線接続関連 \*《接続》がオートパイロット以外の場合

No.	動作結果	意味
1	接続開始	回線を接続したことを意味します。回線接続後にオートパイロットを実行した場合にこの状態が表示されます。このとき終了時間は” ”の表示になります。さらに、回線接続中もこの表示になります。
2	正常	正常に回線接続ができていた状態から回線を切断したことを意味します。
3	回線使用中	回線が使用中であることを意味します。相手先が混雑(ビジー)していたことを示します。
4	回線でエラー発生	モデムの電源が入っていない時などに表示されます。回線上で何らかの障害が発生したことを意味します。
5	ログイン失敗	ID/パスワードなどが誤っていてサーバにログインできなかったことを意味します。
6	リモートから切断	サーバ側から切断されたことを意味します。
7	応答なし	サーバからの応答がない時(サーバが混雑している時など)に表示されます。
8	メモリ不足	メモリ不足で処理が継続できなかったことを意味します。
9	不明	上記以外の何らかの異常が発生したことを意味します。

(2) オートパイロット関連 \*《接続》がオートパイロットの場合

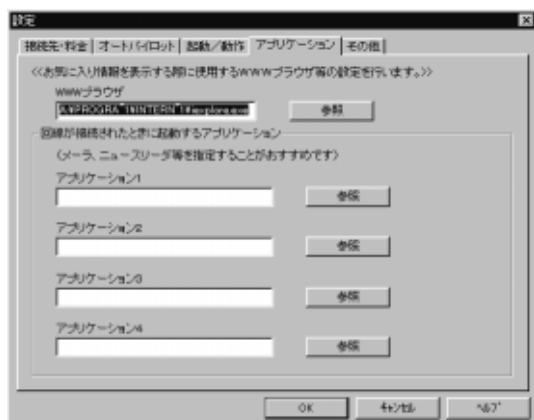
No.	動作結果	意味
1	成功	オートパイロットの実行が全て正常に完了したことを意味します。
2	一部不正	巡回したURLの中で一部のデータがダウンロードできなかったことを意味します。複数のURLを指定した場合で、その中の1つでもURLに不具合があった場合も、この表示が出ます。
3	中断	ユーザ操作により中断されたことを意味します。
4	タイムアウト	目的のサーバからの応答が一定時間なく、タイムアウトしたことを意味します。
5	アドレス不正	存在しないアドレスを指定されたことを意味します。
6	コネクション失敗	Webサーバ側の理由により通信ができなかったことを意味します。
7	更新なし	巡回したURLが現在、ハードディスク上にあるデータから更新されていないことを意味します。
8	HD容量不足	インターネットアクセスマネージャのインストール先ドライブの空き容量が少ないため、オートパイロットを中断したことを意味します。
9	読み込み不可	Webサーバの応答ステータスがエラーもしくは、通信エラーのため、読み込めなかったことを意味します。
10	実行中	オートパイロット実行中にサーバ側から切断される等の異常が発生して、オートパイロットを実行中にインターネットアクセスマネージャを終了したことを意味します。

## 回線接続直後にメールやニュースを読み込む.....

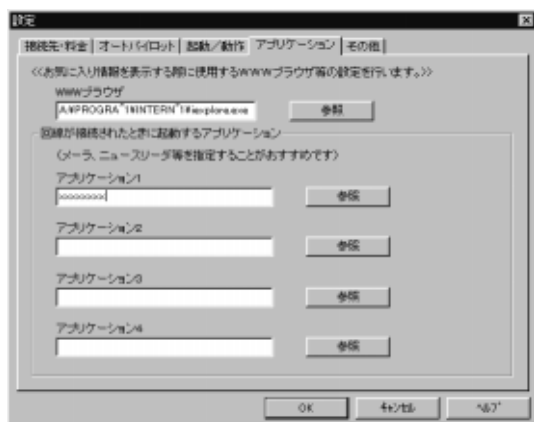
「アプリケーション」では、インターネットアクセスマネージャが回線接続と同時に、あらかじめ指定されたアプリケーション(電子メールリーダーやネットニュースリーダーなど)を起動します。このためわざわざアプリケーションを立ち上げる必要はありません。いつも使用するメールやニュースリーダーを登録しておくで便利です。

### 1 アプリケーションの設定を行います。

メニューから [設定] を選択し、[設定] ダイアログボックスの [アプリケーション] タブをクリックします。



- 2 “回線が接続されたときに起動するアプリケーション”の箇所に起動したいアプリケーションの格納場所を参照ボタンを使って設定します。  
設定が終わった後OKボタンをクリックしてください。



以上で設定は完了です。回線接続をしてみてください。指定されたアプリケーションが自動的に起動します。





## 付 録

# ジェットサーファーに ついて

ジェットサーファーは、インターネットにアクセスする際にホームページからリンクが張られている先の情報をまとめて取ってきて、あなたが必要とする情報のあるページを素早く検索してくれる大変便利なソフトウェアです。ここではジェットサーファーの基本的な操作について説明しています。

# ホームページを調べる ～ジェットサーファー～

ジェットサーファー(Ver1.0)には、以下の特徴があります。

## < 本製品の特徴 >

ジェットサーファーは、インターネットにアクセスする際にホームページからリンクが張られている先のページの情報をまとめて取ってきて、欲しい情報のあるページを素早く探し出すことができるソフトウェアです。これによりブラウザで欲しい情報があるページへ直接アクセスすることができます。

ジェットサーファーの機能は、以下の通りです。

### ホームページの分析・表示

ホームページからリンクされている情報を素早く表示することができます。任意のホームページからリンクされている先にある複数のページのタイトル、文章の内容、使われているメディアファイル(画像・動画・音声ファイルなど)の情報をまとめて取ってきて、それぞれを個別のウィンドウに分割して一覧表示することができます。

### 文字列検索

文字列検索機能を使って、欲しい情報を簡単に探し出せます。文字列を指定してホームページの分析を行うと、文字列にマッチした語句を含むページを素早く探し出すことができます。また、一度分析した結果に対しても、文字列を指定して検索をすることができます。

### 分析結果のページをブラウザへ表示

ジェットサーファーで分析・表示した結果のタイトルをクリックして簡単にブラウザに表示させることができます。これによりブラウザを使ってリンクをたどって行かなくても深い階層にあるページを素早く見ることができます。

### 分析結果からファイルのダウンロード

ジェットサーファーで分析・表示した結果のファイルをクリックして簡単に該当ファイルのみをダウンロードすることができます。

### お気に入り登録

一度分析した情報をお気に入り情報として名前を付けて登録しておくことができます。これによっていつでも好きなときにお気に入りの分析結果を見ることができます。



### 更新情報表示

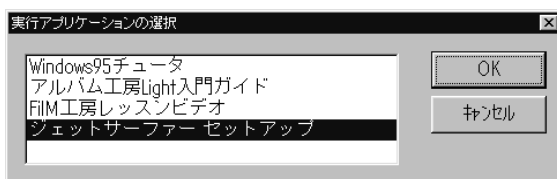
以前に分析した情報の中で、更新されているタイトルが分かるように表示します。ジェットサーファ-の「お気に入り」に登録した情報を表示した後、再度分析を行うと情報が更新されたページのタイトルアイコンの色を変更して表示します。これにより変更されたページのみを効率よく見ることができます。

## ジェットサーファ-をインストールする.....

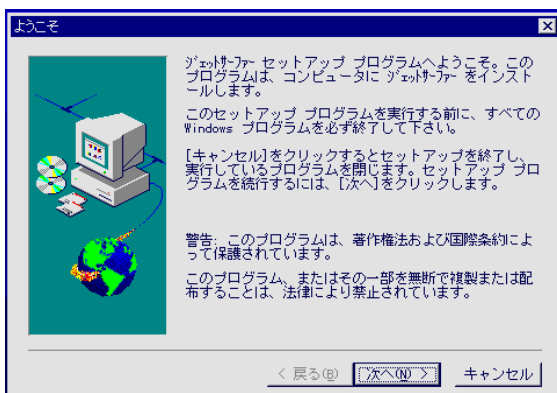
ここでは「インストールの手順」、「インストール後に必要な確認作業」、「アンインストールの方法」について説明します。

### インストールの手順

- 1** 電源をONにします。
- 2** チュートリアルCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。  
自動的にCD-ROMにアクセスして、しばらくすると「実行アプリケーションの選択」の画面が表示されます。  
[ジェットサーファ- セットアップ]を選択し、[OK]をクリックします。



- 3** メッセージが表示されるので、確認をして、「次へ」ボタンをクリックします。



- 4** ジェットサーファのインストール先を設定します。画面に表示されているドライブ、ディレクトリを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックして変更します。(特に変更する必要はありません)

インストール先を設定したら、「次へ」ボタンをクリックします。



- 5** 以下の画面になり、ファイルのコピーが開始されます。



- 6** インストールが終了すると「READMEファイルを読みますか?」というダイアログボックスが表示されます。

「はい」をクリックしてREADMEの内容を必ずお読みください。



READMEには重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

- 7** 以下の画面が表示されれば、インストールは完了です。  
「OK」をクリックしてインストールを終了してください。



## インストール後に必要な確認作業

### 1 通信環境の設定

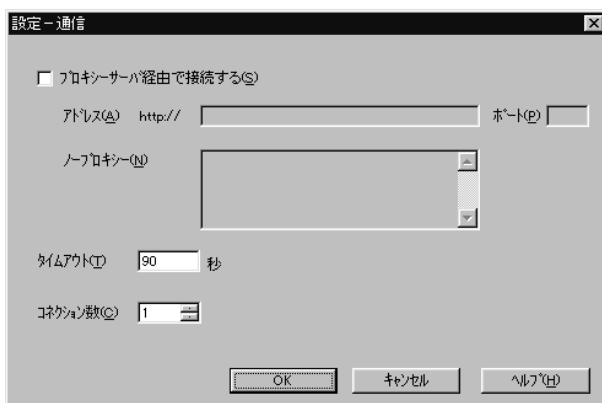
専用線環境等でプロキシサーバをご利用になっている場合は、ジェットサーファアのメニューから「設定」-「通信設定」を選択して、プロキシサーバの設定を行ってください。

なお、OSに標準で登録されているWWWブラウザにプロキシサーバの設定がしてある場合、インストーラがこれを読み込み、ジェットサーファアの「通信設定」に自動的に設定を行います。この場合、設定されている値が正しいかを確認してください。

\* なお、プロキシサーバをご利用になっていない場合は本項目の設定は不要です。

「設定」-「通信」のダイアログボックス

(下図はプロキシサーバに何も設定されていません)



## アンインストールの方法

一度インストールしたジェットサーファーをディスクから削除(アンインストール)する場合には以下の手順で行います。

### 1 アプリケーションの追加と削除を選択

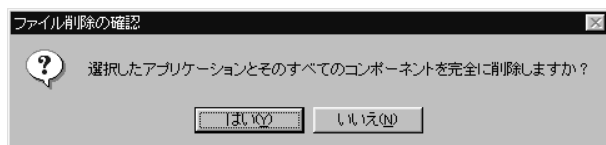
「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」から「アプリケーションの追加と削除」を選択します。以下のような画面になります。



### 2 ジェットサーファーを選択

一覧の中から「ジェットサーファー」を選択して「追加と削除」ボタンをクリックします。

以下のメッセージが表示されるので「はい」をクリックします。



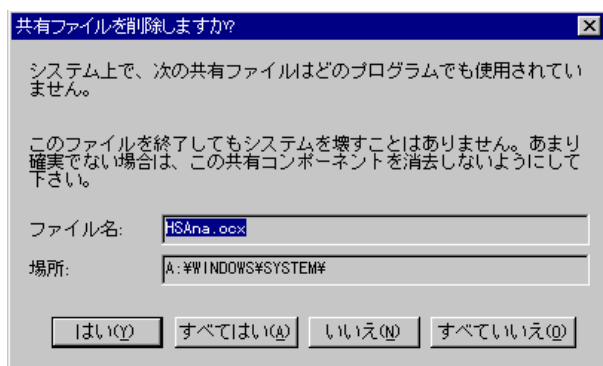
### 3 共有ファイル削除の確認

“共有ファイルを削除しますか?”というメッセージが表示されます。

ここで、拡張子が「.ocx」のファイルは、ジェットサーファー固有のファイルであるため削除しても特に問題はありません。

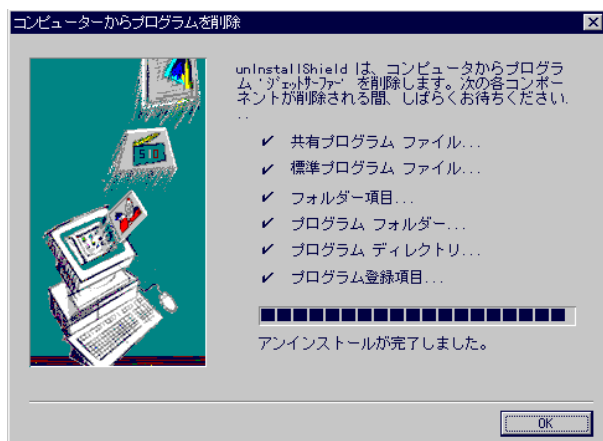
しかし、拡張子が「.dll」のファイルは、システムで共有しているファイルであるため、削除すると他のアプリケーションで不具合が発生する可能性がありますのでご注意ください。

(良く分からない場合は「すべていいえ」をクリックしてください。拡張子が「.ocx」のファイルがシステムに残りますが、特に問題はありません。)



### 4 アンインストールの完了

以下の画面になればアンインストールは終了です。「OK」をクリックしてアンインストールを終了してください。



アンインストールはインストールしたファイルの削除のみを行います。したがって、ジェットサーファーを使用して作成された「お気に入り」等の情報やファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、OSのエクスプローラで、ジェットサーファーをインストールしたディレクトリごと削除してください。

# ジェットサーファーをご使用になる前に.....

ここでは、ジェットサーファーの基本的な使い方について説明します。

ここに記載されていないメニュー、ダイアログボックスの設定方法などの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。特に、オンラインヘルプの「はじめに」-「注意事項」は各機能を使用する上で必要な注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ずお読みください。



ダイヤルアップIP接続をご使用の方で回線未接続の方は、接続を行ってから分析を実行してください。

ジェットサーファーの特徴は欲しい情報がどこにあるかを早く探すことができることです。しかし最初から分析範囲や階層数を広くしてしまうと、本当に欲しい情報以外の情報も分析してしまい余計な時間がかかってしまいます。

そこで、以下のような分析範囲を絞った使い方をお勧めします。

<使用手順例>

- 1** まず起点となるURLをドメイン外 / 0 ~ 1階層で分析する
- 2** 分析結果の中でめばしいタイトル( URL )をドメイン内 / 1 ~ 2階層で分析する
- 3** 2を何度か繰り返しある程度タイトルを絞り込む
- 4** 必要であればドメイン内で階層数を2 ~ 3に増やす



ジェットサーファーの中でよく使われる“分析”という言葉は、指定されたURLを起点として設定された条件の範囲内をアクセスして、以下の情報を取り出して、それぞれをわかりやすくまとめて画面に表示するという意味です。

- ・張られているリンク(ハイパーリンク)の文字列
- ・含まれているファイル(GIFファイルやAVIファイルなど)の名称、タイムスタンプなど
- ・ページに書かれている文章の内容(テキスト情報)
- ・検索文字列(キーワード)を設定している場合、マッチした語句を含むページのタイトル

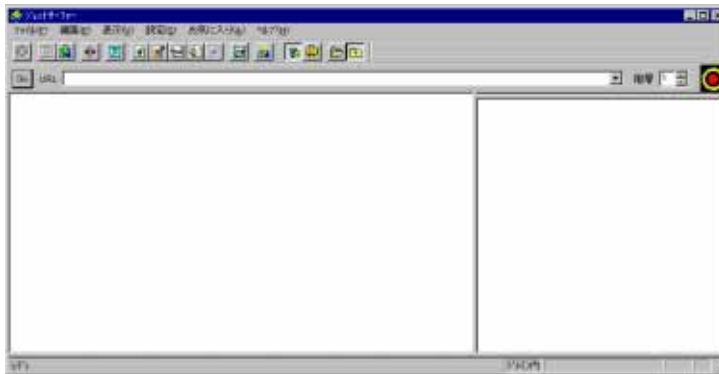
ジェットサーファーを理解していただくために、基本的な操作の流れを説明します。

# ホームページを分析して結果を表示する.....

ジェットサーファーは、最初の分析ではホームページのリンク構造とテキスト内容を表示するだけなので、画像などを表示する通常使用しているブラウザとは異なり、素早くページの内容が表示できます。このため、階層の深いページも素早く簡単にたどり着くことができ、目的のページ内容の概要が素早く理解できます。

**1** ジェットサーファーを起動します。次の方法で起動してください。

- ・ [ スタート ]メニュー - [ プログラム ] - [ ジェットサーファー ] [ ジェットサーファー ] をクリック



**2** 分析設定入力バーのURLコンボボックスに例として `http://www.nec.co.jp/` と入力します(NECのホームページのアドレスです)。

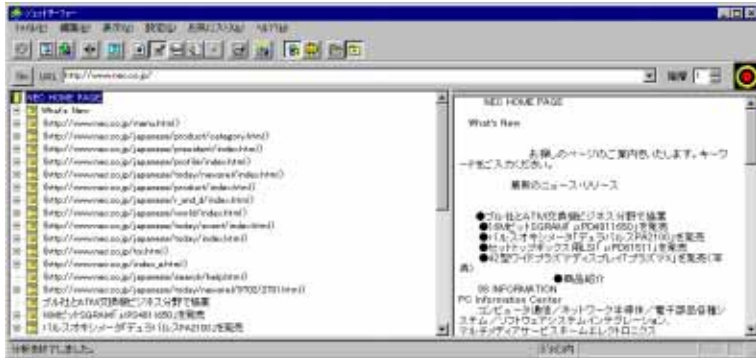


**3** 次に分析設定入力バーにある [ Go ] ボタンをクリックします。

ツリービューにホームページの構造 ( ハイパーリンクの語句 ) テキストブラウザに文章の内容が表示されます。



すでにブラウザに目的のページを表示していれば、[ ファイル ]メニューの [ ブラウザからの取り込み ] で表示することもできます。



**4** ボタンをクリックすると分析したすべての階層が、 ボタンをクリックするとツリービューにはページのタイトルが表示されます。これらを表示することによって、ホームページにどんな情報があるのか、またはどんな構成でできているのかがという概要をつかむことができます。

ツリービュー、テキストブラウザおよびタイトル表示や階層表示の方法の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。













ツリービューに表示されるアイコンには、以下の種類があります。

<アイコンの種類>

-  : ツリービューの一番上に表示される起点URL
-  : 正常に分析した結果のリンク
-  : 通信時に何らかのエラーが発生して正常に分析できなかったリンク
-  : 指定された階層分の最下位層にあたるリンク先
-  : 前回分析時から更新されたリンク先
-  : アクセスするためにユーザ名 / パスワードが必要なリンク先ユーザ名 / パスワードを入力しなければ、これ以下の階層は分析できません。

<アイコンの色>

黄色のアイコン: 通常のリンク先

水色のアイコン: 設定した検索文字列とマッチする語句を含むリンク先

詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。



ダイヤルアップIP接続でお使いの方へ

本製品からの回線接続はご利用になっているブラウザと同じ動作をします。つまり回線未接続の状態、ブラウザからインターネット上のURLにアクセスした時に接続ダイアログボックスが表示される場合は、本製品でも同様に分析を実行した時に接続ダイアログボックスが表示されます。分析を実行したときに接続ダイアログボックスが表示されない場合は、先に回線接続を行ってください。

分析にかかる時間とディスク容量について

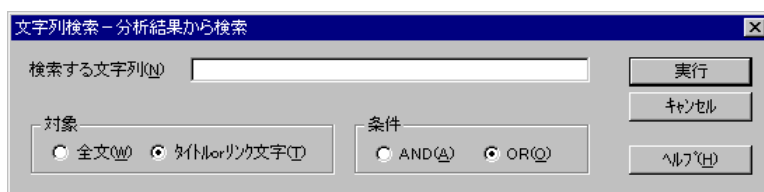
ホームページに張られているリンクは予想以上に数があります。階層指定を増やす場合は時間とディスク容量 1に余裕を持って分析を行ってください。さらに、分析範囲でドメイン外の設定を行う場合は予想しないURLまでリンクが張られている場合があり、分析にかかる時間およびディスク容量(1)がさらに増加する可能性があります。ドメイン外を設定する場合には、時間とディスク容量には十分に余裕をもって分析を行ってください。

1 ジェットサーファ―は分析を行うために、通信によって入手したファイル(htmlファイル)をディスクに一時保管します。ジェットサーファ―を終了すればこれらのファイルは削除されます。

# 文字列を検索したページをブラウザに表示する...

ジェットサーファードでは、ホームページ内の目的のキーワードまたは情報が分かっている場合、文字列検索をすることで、簡単に目的の内容があると思われるページにたどり着くことができます。

- 1 [編集]メニュー-[文字列検索]-[分析結果から検索]をクリックします。  
[文字列検索 - 分析結果から検索]ダイアログボックスが表示されます。



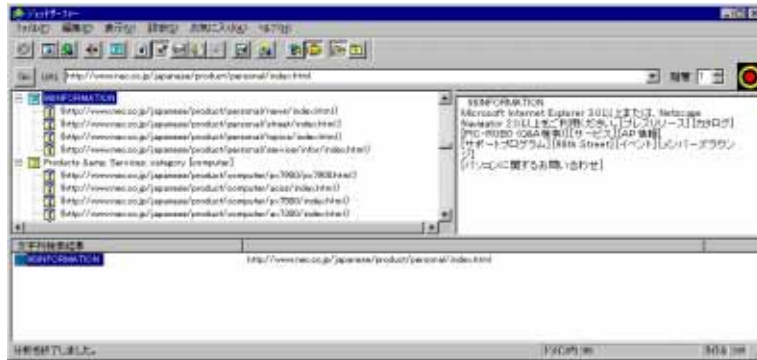
- 2 [検索する文字列]テキストボックスに例として“98”と入力します。
- 3 [実行]ボタンをクリックします。  
[文字列検索結果]ウィンドウに検索結果が表示されます。




- 4 [文字列検索結果]ウィンドウに表示された検索結果の一つをクリックして選択します。  
テキストブラウザに“98”を含んだテキスト内容が表示されます。



最下位層に当たるリンク( ?マーク )についてはリンクの語句のみをダウンロードしているため、ページの内容までは表示できません(テキストブラウザには“このページは指定された階層より下にあるため表示できません”と表示されます)。



**5** 以下のいずれかの方法でブラウザを表示します。


- ・ [ファイル]メニューの[ブラウザに表示]をクリック
- ・ マウスの右ボタンメニューから[ブラウザに表示]をクリック
- ・ ツールバーのボタンをクリック

通常使用しているブラウザが起動して、目的のページが表示されます。



リストビューのファイルの内容もツリービューと同様に以下の方法で、ブラウザに表示することができます。


該当するリストビューのファイルをクリックして、以下のいずれかの操作を行ってください。

- ・ [ファイル]メニューの[ブラウザに表示]をクリック
- ・ ツールバーのボタンをクリック
- ・ リストビューの右ボタンメニューから[ブラウザに表示]をクリック

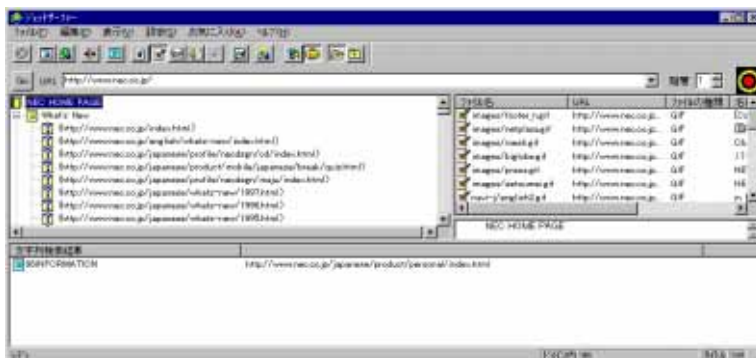
## 分析したページからファイルをダウンロードする...

ジェットサーファでは、ホームページの中から特定の種類のファイル(例としてAVI, MIDIなど)だけを取り出したい場合、ページに含まれている目的のファイルを一覧表示し、自分のコンピュータの中からは取り出して保存する(ダウンロード)ことができます。

**1** ツリービューから目的のページをクリックします。

**2** 目的のファイルの種類ボタンをクリックします。例として画像ファイルボタン()をクリックします。

選択したページの中にある画像ファイルがリストビュー内に表示されます。

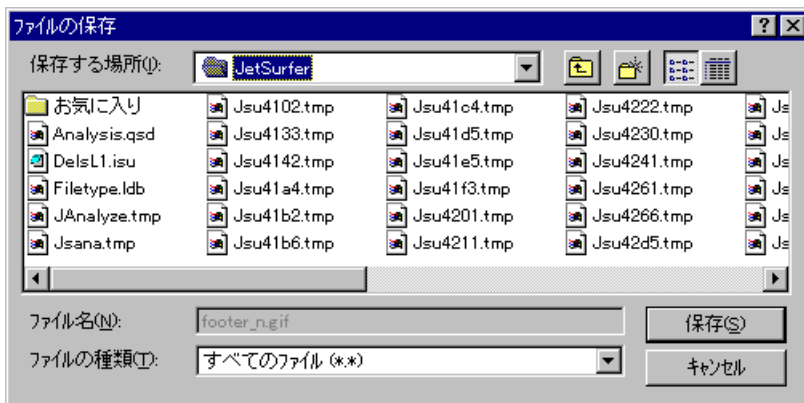


**3** リストビューから、ダウンロードしたいファイルをクリックします。  
 複数のファイルを指定する場合は、**[SHIFT]**キーを押しながらファイルをクリックします。

**4** 以下のいずれかの方法でダウンロードします。

- ・ [ファイル]メニューの[ファイルの保存]をクリック
- ・ マウスの右ボタンメニューから[ファイルの保存]をクリック

[ファイルの保存]ダイアログボックスが表示されます。



**5** ファイルを保存するディレクトリを指定します。

**6** [保存]ボタンをクリックすると、ファイルをダウンロードして、指定したディレクトリに保存します。

CEREB  
セレブ